

学校コード F109310101598

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

国際医療福祉大学

医学部

医学科

(必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 事務部 教務課

職名・氏名

カチョウ サトウシユン
課長 佐藤旬

電話番号

0476-20-7703

(夜間)

0476-20-7703

e-mail

narita_gakumu@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医学部

<医学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	31
6. 附帯事項等に対する履行状況等	117
7. その他全般的事項	131

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	(スズキ ヤスヒロ) 鈴木 康裕 (令和4年4月)	任期満了に伴う変更 (4)
学部長	(キタムラ キヨシ) 北村 聖 (平成29年4月)	(カワカミ ユタカ) 河上 裕 (平成31年4月)	自己都合による退職のための変更(元)
学科長等		(ヨシダ モトフミ) 吉田 素文 (平成29年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学部 医学科 学士(医学)	医学関係	6 年	140 人			新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 140 (-) [20]	人 (-) [-]	人 140 (-) [20]	人 (-) [-]	人 140 (-) [20]	人 (-) [-]	人 140 (-) [20]	人 (-) [-]	人 140 (-) [19]	人 (-) [-]	人 140 (-) [20]	人 (-) [-]	1.00倍	倍	
志願者数	3,478 (-) [85]	(-) (-) [-]	3,453 (-) [94]	(-) (-) [-]	4,192 (-) [98]	(-) (-) [-]	4,001 (-) [102]	(-) (-) [-]	3,734 (-) [62]	(-) (-) [-]	4,014 (-) [110]	(-) (-) [-]	1.00倍	-	
受験者数	3,356 (-) [83]	(-) (-) [-]	3,346 (-) [94]	(-) (-) [-]	4,058 (-) [87]	(-) (-) [-]	3,882 (-) [95]	(-) (-) [-]	3,620 (-) [59]	(-) (-) [-]	3,913 (-) [103]	(-) (-) [-]	1.00倍	-	
合格者数	284 (-) [21]	(-) (-) [-]	341 (-) [21]	(-) (-) [-]	375 (-) [20]	(-) (-) [-]	413 (-) [20]	(-) (-) [-]	411 (-) [20]	(-) (-) [-]	427 (-) [24]	(-) (-) [-]	1.00倍	-	
B 入学者数	140 (-) [20]	(-) (-) [-]	140 (-) [20]	(-) (-) [-]	140 (-) [20]	(-) (-) [-]	140 (-) [20]	(-) (-) [-]	140 (-) [19]	(-) (-) [-]	140 (-) [23]	(-) (-) [-]	1.00		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [20] (-)	- [-] (-)	140 [20] (-)	- [-] (-)	145 [20] 5	- [-] (-)	152 [21] (12)	- [-] (-)	148 [19] (8)	- [-] (-)	152 [25] (12)	- [-] (-)	
2年次			140 [20] (-)	- [-] (-)	133 [20] 1	- [-] (-)	132 [19] (4)	- [-] (-)	139 [21] (1)	- [-] (-)	134 [16] (9)	- [-] (-)	
3年次					138 [20] (-)	- [-] (-)	134 [20] (2)	- [-] (-)	136 [19] (5)	- [-] (-)	139 [22] (11)	- [-] (-)	
4年次							136 [18] (-)	- [-] (-)	129 [20] (-)	- [-] (-)	131 [16] (8)	- [-] (-)	
5年次									135 [18] (-)	- [-] (-)	130 [21] (3)	- [-] (-)	
6年次											134 [17] (-)	- [-] (-)	
計	140 [20] (-)	-	280 [40] (-)	-	416 [60] 6	-	554 [78] 18	-	687 [97] 14	-	820 [117] (43)	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	140人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	280人	3人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	3人	0人	他の教育機関への転学(3名)
令和元年度	417人	3人	平成29年度	2人	1人	除籍(死亡)(1名)、[成績不振(1名)]
			平成30年度	1人	1人	[進路変更(1名)]
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	554人	7人	平成29年度	1人	0人	進路変更(1名)
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	3人	0人	進路変更(1名)、体調不良(1名)、一身上の都合(1名)
			令和2年度	3人	0人	進路変更(1名)、成績不振(1名)、一身上の都合(1名)
令和3年度	687人	7人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	1人	0人	体調不良(1名)
			令和元年度	2人	2人	進路変更(1名)、成績不振(1名)
			令和2年度	1人	0人	一身上の都合(1名)
			令和3年度	3人	1人	進路変更(2名)、成績不振(1名)
令和4年度	820人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		20人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{280} = \boxed{1.07} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{417} = \boxed{0.71} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{554} = \boxed{1.26} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{687} = \boxed{1.01} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{820} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 医学科>

(1) -① 授業科目表
【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	死生学	1①	1								兼1
	医学史	1①	1								兼1
	芸術政策論	1①	1								兼1
	日本の近現代史	1①	1								兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2			10	2				
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1			8	2				
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1			8	2				
	法と医療	1①	1								兼1
	社会保障と医療制度	1①	1								兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	1①	1		1	2					兼1
	国際機関論	1①	1		1						兼1
	持続可能な発展	1①	1		1						兼1
	異文化コミュニケーション	1①	1		1						兼1
	国際関係論	1①	1		1						兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1			5		6	2		
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1			4		5	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1			3		5	1		
	数学	1①	1		1						兼1
	生物学	1①	1		1	1					
	化学	1①	1		1						兼1
	物理学	1①	1		1						兼1
	医療生物学	1①	1		1	1					
	医療化学	1①	1		1	1					
	医療物理学・医用工学	1①	1		1	1					
	統計学	1③	1								兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①	2			2	2	3	1		
	英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			2	2	3	1		
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③	1		6	1	1	3			
	英語コミュニケーションB(実践)	1①②③	1		6	1	1	3			
	ドイツ語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1
中国語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①	1		1						兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	死生学	123①	1									兼1
	医学史	123①	1				3					兼1
	芸術政策論	123①	1									兼1
	日本の近現代史	123①	1									兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2				7			1		兼2
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1				7			1		兼2
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1				6			1		兼2
	法と医療	1①	1									兼1
	社会保障と医療制度	1①	1									兼4
	英字新聞で読む社会学・政治学	123③	1		1							兼1
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123①	1		1							兼1
	国際機関論(未開講)	1①	1		1							兼1
	持続可能な発展	1①	1		1							兼1
	異文化コミュニケーション	1①	1		1							兼1
	国際関係論	1①	1		1							兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123①	1		1							兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1				4		1	1		
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1				4		1	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1				4		1			
	数学(未開講)	123①	1					1				兼1
生物学	123①	1		1	1		1					
化学(未開講)	123①	1		1				1				
物理学	123①	1		1							兼1	
医療生物学	1①	1		1		2	1				兼1	
医療化学	1①	1		1		1		1	1			
医療物理学・医用工学	1①	1		1		1						
統計学	1③	1									兼1	
英語Ⅰ(入門)	1①	2			2	2	3	1			兼1	
英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			2	2	3	1			兼1	
英語コミュニケーションA(入門)	1①②③	1		6	1	1	3					
英語コミュニケーションB(実践)	1①②③	1		6	1	1	3					
ドイツ語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	
中国語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①	1		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語 I-A(作文)	1 ①			1							兼1
	日本語 I-B(文法・語彙)	1 ①			1							兼1
	日本語 II-A(作文)	1 ②③			1							兼1
	日本語 II-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1
	日本語 II-C(発表討論)	1 ①			1							兼1
	日本語 II-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1
	日本語 III-A(作文)	1 ②③			1							兼1
	日本語 III-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1
	日本語 III-C(発表・討論)	1 ①			1							兼1
	日本語 III-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼1	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼1	
小計(57科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			1	3	3	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			4	2		2			兼1
	医療面接・身体診察 I(入門)	1 ①②③	1			3	3		1			
	医療面接・身体診察 II(応用)	2 ①②	1			3	3		1			
	基礎医学総論 I(生化学)	1 ②	3			1		1				
	基礎医学総論 II(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1			
	基礎医学総論 III(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論 IV(生理学)	1 ②	2			2						
	基礎医学総論 V(薬理学)	1 ②	2			1		1				
	基礎医学総論 VI(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論 VII(組織学演習)	1 ②	1			3	1		1			兼1
	基礎医学総論 VIII(病理学)	1 ②	1			5		2				
	基礎医学総論 IX(病理学演習)	1 ②	1			5		2				
	発生・出産	1 ②	2			4						
	器官別統合講義 I(循環器系)	1 ③	5			8	2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む) (未開講)	1 ①			1							兼1	
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1	
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1	
	日本語 I-A(作文)	1 ①			1					1		兼4	
	日本語 I-B(文法・語彙)	1 ①			1					1		兼4	
	日本語 II-A(作文)	1 ②③			1					1		兼4	
	日本語 II-B(文法・語彙)	1 ②③			1					1		兼4	
	日本語 II-C(発表討論)	1 ①			1							兼1	
	日本語 II-D(専門日本語) (未開講)	1 ①			1							兼1	
	日本語 III-A(作文)	1 ②③			1							兼1	
	日本語 III-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1	
	日本語 III-C(発表・討論)	1 ①			1							兼1	
	日本語 III-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1	
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼2		
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼2		
日本語 IV-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1		
日本語 IV-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1		
日本語 V-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1		
日本語 V-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1		
小計(63科目)	-												
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②③	8			1		2		1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①②	1			4	2		4	3	2	兼2	
	医療面接・身体診察 I(入門)	1 ①②③	1			3	3		4	2	2	兼1	
	医療面接・身体診察 II(応用)	2 ①②	1			3	3		4	2	2	兼1	
	基礎医学総論 I(生化学)	1 ②	3			1		1		1			
	基礎医学総論 II(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1				
	基礎医学総論 III(免疫学)	1 ②	1			1		1	1	1			
	基礎医学総論 IV(生理学)	1 ②	2			2			2	1			
	基礎医学総論 V(薬理学)	1 ②	2			1		1	2				
	基礎医学総論 VI(組織学)	1 ②	1			2			2				
	基礎医学総論 VII(組織学演習)	1 ②	1			3	1		3	2	1	兼1	
	基礎医学総論 VIII(病理学)	1 ②	1			5		2					
	基礎医学総論 IX(病理学演習)	1 ②	1			5		2		1	3	2	
	発生・出産	1 ②	2			4					1	兼1	
	器官別統合講義 I(循環器系)	1 ③	5			8	2	1		11	3	2	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			11	1	2				兼1
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			10	3	7	1			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			8	1					
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			13		1				
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8		1				
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			5						
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			9	1					
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			5	1	1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			3	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	1			1		兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼8
	関連職種連携実習	4①	1		1	2						
	海外医療体験	1①	1		2	2				6		
小計(28科目)	-	-										
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			4						
	感染症	2②	3			3		1	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			16		1				
	救急と集中治療	2②	1			1	1	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			5		2				
	老年医学	2③	1			3						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2						
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			3						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4		2	2			
	総合臨床医学	3①	11			37	4	4	1			
	臨床診断入門	3②	14			22	2	1				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			8	2					
	総括講義	6②	15			10	1					
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			79	30	24	20			兼8
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			79	29	24	20			兼8	
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			60	13	14	11			兼1	
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			128	39	36	30			兼9	
小計(20科目)	-	-										
合計(105科目)	-	-										
卒業要件及び履修方法												
必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			14	2	1				
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			12	4	5	2			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			10	1					
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			14	2	2	1			
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	2	2	2			兼2
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			7	2	2				兼1
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			13						兼4
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			7		1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	2			1		
	正常人体解剖実習	2③	3			4		2		1		兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1	2		6	2		兼25
	関連職種連携実習	4①	1		1	1						
	海外医療体験(未開講)	1①	1		2	1						
小計(28科目)	-	-										
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			5		1	2			兼2
	感染症	2②	3			8			4			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			20	4					
	救急と集中治療	2③	1			7	1	2	1			
	麻酔	2③	1			5		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6						
	老年医学	2③	1			10						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			2						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2		1	1			
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			2		1	1			
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4		2				
	総合臨床医学	3①	11			36	3					
	臨床診断入門	3②	14			21	1	1				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			20	3	1				
	総括講義	6②	15			38	1	1				
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			104	37	26	37			兼3
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			103	37	26	27			兼3	
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			59	12	18	20				
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			156	48	43	46			兼3	
小計(20科目)	-	-										
合計(111科目)	-	0	0	0	186	54	80	64	5	43		
卒業要件及び履修方法												
必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合教育科目	死生学	1 ①		1						兼1
	医学史	1 ①		1		5	1			兼1
	芸術政策論	1 ①		1						兼1
	日本の近現代史	1 ①		1						兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1			
	法と医療	1 ①	1							兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1							兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	1 ②		1		2				兼1
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1 ①		1						兼1
	国際機関論	1 ①		1						兼2
	持続可能な発展	1 ①		1						兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1						兼1
	国際関係論	1 ①		1						兼2
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1 ②	1			5		4	2	
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2 ①	1			4		4	1	
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3 ①	1			3		4	1	
	数学	1 ①		1						兼1
	生物学	1 ①		1		1				
	化学	1 ①		1				1		
	物理学	1 ①		1						兼1
	医療生物学	1 ①	1			1				
	医療化学	1 ①	1			1				
	医療物理学・医用工学	1 ①	1			1				
	統計学	1 ③	1							兼1
	英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			2	2	4	1	
	英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			2	2	4	1	
	英語コミュニケーションA(入門)	1 ①②③		6		1	1	4		兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1 ①②③		6		1	1	4		兼1
	ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1
	中国語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1
韓国語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ベトナム語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ビルマ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③		1						兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合教育科目	死生学	123 ①								兼1
	医学史	123 ①		1		5	1			兼2
	芸術政策論	123 ①		1						兼1
	日本の近現代史	123 ①		1						兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1			
	法と医療	1 ①	1							兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1							兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	123 ①		1		1				兼2
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123 ①		1						兼1
	国際機関論	1 ①		1						兼2
	持続可能な発展	1 ①		1						兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1						兼1
	国際関係論	1 ①		1						兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123 ①		1						兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1 ②	1			5	1	4	2	
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2 ①	1			5	1	3	1	
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3 ①	1			4	1	4	1	
	数学	123 ①		1						兼1
	生物学	123 ①		1		4				
	化学	123 ①		1				1		
	物理学	123 ①		1						兼1
	医療生物学	1 ①	1			1				
	医療化学	1 ①	1			1			1	
	医療物理学・医用工学	1 ①	1			1				
	統計学	1 ③	1							兼1
	英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			3	2	6	1	
	英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			3	2	6	1	
	英語コミュニケーションA(入門)	1 ①②③		6		2	1	6	1	兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1 ①②③		6		2	1	6	1	兼1
	ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1
中国語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
韓国語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ベトナム語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ビルマ語入門(会話含む)	1 ①		1						兼1	
ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③		1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	中国語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	日本語 I-A(作文)	1 (1)			1							兼4
	日本語 I-B(文法・語彙)	1 (1)			1							兼4
	日本語 II-A(作文)	1 (2,3)			1							兼4
	日本語 II-B(文法・語彙)	1 (2,3)			1							兼4
	日本語 II-C(発表討論)	1 (1)			1							兼4
	日本語 II-D(専門日本語)	1 (1)			1							兼5
	日本語 III-A(作文)	1 (2,3)			1							兼3
	日本語 III-B(文法・語彙)	1 (2,3)			1							兼3
	日本語 III-C(発表・討)	1 (1)			1							兼5
	日本語 III-D(専門日本語)	1 (1)			1							兼4
医療福祉専門漢字	1 (2,3)			1							兼4	
医療福祉専門語彙	1 (2,3)			1							兼5	
小計(58科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 (1,2)	8			1	3	2	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 (1)	1			3	3	1	1			兼1
	医療面接・身体診察 I(入門)	1 (1,2,3)	1			3	2		1			
	医療面接・身体診察 II(応用)	2 (1,2)	1			3	2		1			
	基礎医学総論 I(生化学)	1 (2)	3			1		1				
	基礎医学総論 II(分子生物学)	1 (2)	2			1	1		1			
	基礎医学総論 III(免疫学)	1 (2)	1			1						
	基礎医学総論 IV(生理学)	1 (2)	2			2						
	基礎医学総論 V(薬理学)	1 (2)	2			1		1				
	基礎医学総論 VI(組織学)	1 (2)	1			2						
	基礎医学総論 VII(組織学演習)	1 (2)	1			2	2	1	0			兼1
	基礎医学総論 VIII(病理学)	1 (2)	1			5		2				
	基礎医学総論 IX(病理学演習)	1 (2)	1			5		2				
	発生・出産	1 (2)	2			4						
	器官別統合講義 I(循環器系)	1 (3)	5			8	3	2				
	器官別統合講義 II(呼吸器系)	1 (3)	5			11	2	2				兼1
	器官別統合講義 III(消化器系)	2 (1)	5			9	4	7	1			
器官別統合講義 IV(内分泌代謝系)	2 (1)	4			6	2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	中国語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 (2,3)			1							兼1
	日本語 I-A(作文)	1 (1)			1					1		兼3
	日本語 I-B(文法・語彙)	1 (1)			1					1		兼3
	日本語 II-A(作文)	1 (2,3)			1					1		兼3
	日本語 II-B(文法・語彙)	1 (2,3)			1					1		兼4
	日本語 II-C(発表討論)	1 (1)			1					1		兼3
	日本語 II-D(専門日本語)	1 (1)			1					1		兼4
	日本語 III-A(作文)	1 (2,3)			1					1		兼2
	日本語 III-B(文法・語彙)	1 (2,3)			1					1		兼2
	日本語 III-C(発表・討)	1 (1)			1					1		兼4
	日本語 III-D(専門日本語)	1 (1)			1					1		兼4
医療福祉専門漢字	1 (2,3)			1					1		兼4	
医療福祉専門語彙	1 (2,3)			1					1		兼4	
日本語 IV-C(発表・討)	2 (1)			1							兼1	
日本語 IV-E(読解・作文)	2 (2,3)			1							兼1	
日本語 V-C(発表・討)	2 (1)			1							兼1	
日本語 V-E(読解・作文)	2 (2,3)			1							兼1	
小計(63科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 (1,2)	8				2	3	2	1		
	医療入門・正常解剖演習	1 (1)	1				11	4	1	1		兼1
	医療面接・身体診察 I(入門)	1 (1,2,3)	1				5	3		1		
	医療面接・身体診察 II(応用)	2 (1,2)	1				5	3	1	1		
	基礎医学総論 I(生化学)	1 (2)	3				3		1			
	基礎医学総論 II(分子生物学)	1 (2)	2				1	1	1	1		
	基礎医学総論 III(免疫学)	1 (2)	1				1					
	基礎医学総論 IV(生理学)	1 (2)	2				3			2		
	基礎医学総論 V(薬理学)	1 (2)	2				2					
	基礎医学総論 VI(組織学)	1 (2)	1				2					
	基礎医学総論 VII(組織学演習)	1 (2)	1				2	2	1			兼1
	基礎医学総論 VIII(病理学)	1 (2)	1				5		2			
	基礎医学総論 IX(病理学演習)	1 (2)	1				5		3	2		
	発生・出産	1 (2)	2				4					
	器官別統合講義 I(循環器系)	1 (3)	5				9	4	2			
	器官別統合講義 II(呼吸器系)	1 (3)	5				13	3	2			
	器官別統合講義 III(消化器系)	2 (1)	5				10	4	6	1		
器官別統合講義 IV(内分泌代謝系)	2 (1)	4				9	3	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義V(腎泌尿器系)	2①	3			12	1	1				兼2 兼8
	器官別統合講義VI(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			7	1	1				
	器官別統合講義VII(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			4	1					
	器官別統合講義VIII(脳神経・精神系)	2②	6			7	2					
	器官別統合講義IX(感覚器系)	2②	3			5	1	1				
	器官別統合講義X(血液系)	2②	3			3	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			2	2	1	0			
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						
	関連職種連携実習	4①		1		2						
	海外医療体験	1①			2	2				6		
小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			4						
	感染症	2②	3			3		1	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			16		1				
	救急と集中治療	2③	1			1	1	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			5		2				
	老年医学	2③	1			3						
	社会医学I(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学II(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2						
	社会医学III(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学IV(臨床疫学・EBM)	3①	1			3						
	社会医学V(演習)	3①	2			4		1	3			
	総合臨床医学	3①	11			38	2	5	1			
	臨床診断入門	3②	14			22	2	2				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			8	1					
	総括講義	6②	15			9	1					
	臨床実習I(基礎)	4①②③	40			78	28	24	18			兼8
	臨床実習II(発展)	5①	15			78	27	24	18			兼8
臨床実習III(専門)	5②③	25			54	12	14	11			兼2	
臨床実習IV(実践)	6①	10			123	35	34	28			兼10	
小計(20科目)	-											
合計(106科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義V(腎泌尿器系)	2①	3			14	3	2	1			兼2 兼8
	器官別統合講義VI(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	1	1				
	器官別統合講義VII(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			6	2	2	2			
	器官別統合講義VIII(脳神経・精神系)	2②	6			19	2	1				
	器官別統合講義IX(感覚器系)	2②	3			9	1	1				
	器官別統合講義X(血液系)	2②	3			4	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	3	1				
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						
	関連職種連携実習	4①		1		2						
	海外医療体験	1①			2	2				7		
小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			8	1					
	感染症	2②	3			4	1	2	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			23	3	1				
	救急と集中治療	2③	1			5	3	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6		1				
	老年医学	2③	1			10						
	社会医学I(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学II(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			1						
	社会医学III(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学IV(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学V(演習)	3①	2			3		1	2			
	総合臨床医学	3①	11			40	2	5	1			
	臨床診断入門	3②	14			23	2	2				
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			9	1					
	総括講義	6②	15			8	1					
	臨床実習I(基礎)	4①②③	40			86	37	28	30			兼5
	臨床実習II(発展)	5①	15			88	36	28	30			兼5
臨床実習III(専門)	5②③	25			62	14	18	19			兼5	
臨床実習IV(実践)	6①	10			136	47	43	47			兼5	
小計(20科目)	-											
合計(111科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合教育科目	死生学	123①		1						兼1
	医学史	123①		1		4	1			兼2
	芸術政策論	123①		1						兼1
	日本の近現代史	123①		1						兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2			8	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1			7	1			
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1			7	1			
	法と医療	1①	1							兼1
	社会保障と医療制度	1①	1							兼1
	英字新聞で読む社会学・政治学	123①		1		1				兼2
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123①		1						兼1
	国際機関論	1①		1						兼2
	持続可能な発展	1①		1						兼1
	異文化コミュニケーション	1①		1						兼1
	国際関係論	1①		1						兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123①		1						兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1			5	1	2	1	
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1			5		1	1	兼1
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1			4	1	2	1	兼1
	数学	123①		1						兼1
	生物学	123①		1		4				
	化学	123①		1				1		
	物理学	123①		1						兼1
	医療生物学	1①	1			1				兼1
	医療化学	1①	1			1		1		
	医療物理学・医用工学	1①	1			1				
	統計学	1③	1							兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①	2			3	2	5	1	
	英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			3	2	5	1	
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③		6		2	1	5	1	兼1
英語コミュニケーションB(実践)	1①②③		6		2	1	5	1	兼1	
ドイツ語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
中国語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①		1						兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合教育科目	死生学	123①		1						兼1
	医学史	123①		1			3			兼3
	芸術政策論	123①		1						兼1
	日本の近現代史	123①		1						兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2			8			1	
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1			7			1	1
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1			7			1	1
	法と医療	1①	1							兼1
	社会保障と医療制度	1①	1							兼1
	英字新聞で読む社会学・政治学	123①		1		1				兼1
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123①		1						兼1
	国際機関論	1①		1						兼1
	持続可能な発展	1①		1						兼1
	異文化コミュニケーション	1①		1						兼1
	国際関係論	1①		1						兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123①		1						兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1			5		2	1	
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1			4		1	1	兼1
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1			3		2	1	兼1
	数学	123①		1						兼1
	生物学	123①		1		2				
	化学	123①		1					1	
	物理学	123①		1						兼1
	医療生物学	1①	1							兼1
	医療化学	1①	1			1			1	
	医療物理学・医用工学	1①	1			1				
	統計学	1③	1							兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①	2			3	1	5	3	
	英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			3	1	5	3	
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③		6		2	1	5	3	兼1
英語コミュニケーションB(実践)	1①②③		6		2	1	5	3	兼1	
ドイツ語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
中国語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①		1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①		1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1				1			兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1				1			兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1				1			兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1				1			兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①②			1				1			兼3
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①②			1				1			兼4
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1				1			兼2
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1				1			兼2
	日本語Ⅲ-C(発表・討)	1 ①②			1				1			兼4
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①②			1				1			兼4
	医療福祉専門漢字	1 ②③			1				1			兼4
	医療福祉専門語彙	1 ②③			1				1			兼4
	日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1	
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼3	
小計(63科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			2	2	2	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			9	4	1	1			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			5	2		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			5	2	1	1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			2		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1	1	1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			3						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			1		1	1			
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			2	2	1				兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			5		3	2			
	発生・出産	1 ②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			11	4	2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1							兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1							兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1							兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①②			1							兼3
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①②			1							兼4
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1							兼2
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼2
	日本語Ⅲ-C(発表・討)	1 ①②			1							兼4
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①②			1							兼4
	医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼3
	医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼4
	日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼1	
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1							兼1	
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1							兼3	
小計(63科目)	-											
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			2	2	2	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①②	1			10	4	1	1			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			4	1		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			4	1	1	1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			2		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1	1	1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			3						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			2			1	1		
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			3		1	1			兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			6						
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			6		1	3			
	発生・出産	1 ②	2			4		1		1		
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			9	4	2	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			13	3	2					
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			11	4	6	1				
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2②	4			9	3		1				
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			14	3	2	2				
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2②	4			8	1	1					
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			6	3	3					
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			18	2						
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			9	1	1					
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	1						
	正常人体解剖実習	2③	3			3	2	1				兼2	
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼23	
	関連職種連携実習	4①		1		2							
	海外医療体験	1①		2		1			7				
	小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			9						兼1	
	感染症	2②	3			4		2	1				
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			23	4	1	1				
	救急と集中治療	2③	1			6	3	1					
	麻酔	2③	1			4		1					
	予防医学・行動科学	2③	1			6							
	老年医学	2③	1			11							
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			2							
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2		1					
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			1		1					
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2							
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4	1	2	1				
	総合臨床医学	3①	11			44	3	3	1				
	臨床診断入門	3②	14			22	2	2					
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			7	1						
	総括講義	6②	15			8	1						
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			86	33	25	29			兼5	
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			86	33	25	29			兼5		
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			59	14	20	17					
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			136	44	43	44			兼5		
小計(20科目)	-												
合計(111科目)	-												

卒業要件及び履修方法

必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目(専門基礎科目)	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			11	2	1					
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			11	3	3	1				
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2②	4			11	1		1				
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			14	2	1	1				
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2②	4			7	1	1	1				
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			7	2	3					
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6					18					
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			7	1	1					
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	1						
	正常人体解剖実習	2③	3			4			1	1		兼2	
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼23	
	関連職種連携実習	4①		1		2							
	海外医療体験	1①		2		1				9			
	小計(28科目)	-											
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			7	1	1					
	感染症	2②	3			4		1	1				
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			22	4		1				
	救急と集中治療	2③	1			5	3	2	1				
	麻酔	2③	1			2		1					
	予防医学・行動科学	2③	1			6							
	老年医学	2③	1			10							
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			2							
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2			1				
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			2		1	1				
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2							
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4		2	1				
	総合臨床医学	3①	11			37	3	1					
	臨床診断入門	3②	14			19	2	2					
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			7							
	総括講義	6②	15			8	1						
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			90	38	23	23			兼3	
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			90	37	23	23			兼3		
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			54	11	16	11					
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			136	46	37	33			兼3		
小計(20科目)	-												
合計(111科目)	-												

卒業要件及び履修方法

必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	死生学	123①		1							兼1
	医学史	123①		1		3					兼2
	芸術政策論	123①		1							兼1
	日本の近現代史	123①		1							兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1①②③	2			9			1		
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2①②	1			8			1		
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3①	1			8			1		
	法と医療	1①	1								兼1
	社会保障と医療制度	1①	1								兼1
	英字新聞で読む社会学・政治学	123①			1	1					兼1
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	123①			1						兼1
	国際機関論(未開講)	1①		1							兼1
	持続可能な発展	1①		1							兼1
	異文化コミュニケーション	1①		1							兼1
	国際関係論	1①		1							兼1
	経済成長をめぐる世界の諸問題	123①		1							兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1②	1			4		1	1		
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2①	1			4		1	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3①	1			3		1	1		
	数学	123①			1						兼1
	生物学	123①			1	2	1				
	化学	123①			1			1			
	物理学	123①			1						兼1
	医療生物学	1①	1			2	1				
	医療化学	1①	1			1		1			
	医療物理学・医用工学	1①	1			1					
	統計学	1③	1								兼1
	英語Ⅰ(入門)	1①	2			3	1	2	1		
	英語Ⅱ(応用)	1①②③	6			3	1	2	1		
	英語コミュニケーションA(入門)	1①②③			6	2	1	2	1		兼1
	英語コミュニケーションB(実践)	1①②③			6	2	1	2	1		兼1
	ドイツ語入門(会話含む)	1①			1						兼1
中国語入門(会話含む)	1①			1						兼1	
韓国語入門(会話含む)	1①			1						兼1	
フランス語入門(会話含む)	1①			1						兼1	
スペイン語入門(会話含む)	1①			1						兼1	
タイ語入門(会話含む)	1①			1						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	日本語 I -A(作文) (未開講)	1 ①			1						兼3
	日本語 I -B(文法・語彙) (未開講)	1 ①			1						兼3
	日本語 II -A(作文)	1 ②③			1						兼2
	日本語 II -B(文法・語彙)	1 ②③			1						兼2
	日本語 II -C(発表討論)	1 ①			1						兼2
	日本語 II -D(専門日本語)	1 ①			1						兼1
	日本語 III -A(作文)	1 ②③			1						兼1
	日本語 III -B(文法・語彙)	1 ②③			1						兼1
	日本語 III -C(発表・討)	1 ①			1						兼1
	日本語 III -D(専門日本語)	1 ①			1						兼1
	医療福祉専門漢字	1 ②③			1						兼2
	医療福祉専門語彙	1 ②③			1						兼2
	日本語 IV -C(発表・討論)	2 ①			1						兼2
日本語 IV -E(読解・作文)	2 ②③			1						兼2	
日本語 V -C(発表・討論)	2 ①			1						兼2	
日本語 V -E(読解・作文)	2 ②③			1						兼2	
小計(63科目)	-										
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			2	1	1	1		
	医療入門・正常解剖演習	1 ①②	1			10	1	2	2		兼1
	医療面接・身体診察 I (入門)	1 ①②③	1			5	1		1		
	医療面接・身体診察 II (応用)	2 ①②	1			5	1	1	1		
	基礎医学総論 I (生化学)	1 ②	3			2		1			
	基礎医学総論 II (分子生物学)	1 ②	2			1			1		
	基礎医学総論 III (免疫学)	1 ②	1			1	1				
	基礎医学総論 IV (生理学)	1 ②	2			3					
	基礎医学総論 V (薬理学)	1 ②	2			2			1		
	基礎医学総論 VI (組織学)	1 ②	1			2					
	基礎医学総論 VII (組織学演習)	1 ②	1			3		2	1		兼1
	基礎医学総論 VIII (病理学)	1 ②	1			7			1		
	基礎医学総論 IX (病理学演習)	1 ②	1			7		3	3		
	発生・出産	1 ②	2			6	3	1	1		
	器官別統合講義 I (循環器系)	1 ③	5			11	3	2	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目（専門基礎科目）	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			14	2	1				
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			12	4	5	2			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			11	1	1				
	器官別統合講義Ⅴ(泌尿器系)	2①	3			17	2	1	1			
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	1	1	1			
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			7	2	3				
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			18	1					
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			6	1	1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			4		2	1			兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼23
	関連職種連携実習	4①			1	2				1		
	海外医療体験	1①			2	1				6		
	小計(20科目)	-										
専門教育科目（専門科目）	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			9		3	4			
	感染症	1②	3			4			2			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			20	4					
	救急と集中治療	2③	1			7	1	2	1			
	麻酔	2③	1			5		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6						
	老年医学	2③	1			10						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			2						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2			1			
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			2		1	1			
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4		1	1			
	総合臨床医学	3①	11			41	4	2				
	臨床診断入門	3②	14			44	1	3	1			
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			16	2					
	総括講義	6②	15			8	1	1				
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4①②③	40			101	42	27	36			兼3
臨床実習Ⅱ(発展)	5①	15			101	41	27	36			兼3	
臨床実習Ⅲ(専門)	5②③	25			57	10	22	15				
臨床実習Ⅳ(実践)	6①	10			151	50	50	48			兼3	
小計(20科目)	-											
合計(111科目)	-				183	55	63	68			兼54	

卒業要件及び履修方法

必修科目254単位、総合教育科目の選択科目から2単位以上を修得し、256単位以上修得すること。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を考慮して、「医学史」専任教員等の配置を「兼1」から「教授5、准教授1、兼2」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅲ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員等の配置を「教授13、講師1」から「教授12、准教授1、講師1」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の所属の変更により、「英字新聞で読む社会学・政治学」の専任教員等の配置を「教授2、兼1」から「教授1、兼2」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）」の専任教員等の配置に、「講師1」を追加。
- ・教員の負荷軽減等のため、「胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授8、准教授1」に変更。（平成30年6月）

【令和元年度】

- ・担当教員の自己都合等により、「医学史」の専任教員等の配置のうち、「教授5」を「教授4」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置のうち、「講師6」を「講師5」に変更。
- ・教員の自己都合等により「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「感染症」の専任教員等の配置のうち、「准教授1」を「准教授なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「臨床診断入門」の専任教員等の配置のうち、「教授23」を「教授22」に変更。

【令和2年度】

- ・教員の自己都合等により「医学史」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、兼2」から「教授3、准教授なし、兼3」に変更。
- ・教員の自己都合等により「国際医療保健学Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授5、兼なし」を「教授4、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-A（作文）」の専任教員等の配置のうち、「講師1」を「講師なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「医学英語」の専任教員等の配置のうち、「准教授2、助教1」を「准教授1、助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅶ（病理学）」の専任教員等の配置を「教授5、講師2」から「教授6」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））」の専任教員等の配置のうち、「教授8、助教なし」を「教授7、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「感染症」の配当年次を「2②」から「1②」に変更。
- ・教員の自己都合等により「総合臨床医学」の専任教員等の配置を、「教授44、講師3、助教1」から「教授37、講師1、助教なし」に変更。
- ・教員の自己都合等により「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員等の配置のうち、「准教授44、講師43、助教44、兼5」を「准教授46、講師37」に変更。

【令和3年度】

- ・教員の自己都合等により「医学史」の専任教員等の配置のうち「兼3」を「兼2」に変更。
- ・教育の充実のため、「生物学」の専任教員等の配置のうち、「准教授なし」から「准教授1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅱ-C（発表討論）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「日本語Ⅳ-C（発表・討論）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医学英語」の専任教員等の配置のうち、「講師2、助教2」を「講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅷ（病理学）」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅶ（婦人科系（乳腺含む））」の専任教員等の配置のうち、「教授7」を「教授8」に変更。
- ・教員の自己都合等により「腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）」の専任教員等の配置のうち、「教授22、助教1」を「教授20、助教なし」に変更。
- ・教育の充実のため、「総合臨床医学」の専任教員等の配置を「教授37、准教授3、講師1」から「教授44、准教授4、講師2」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

【令和4年度】

- ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「教授10、准教授2」を「教授7、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）」の専任教員の配置のうち、「兼任なし」を「兼2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅡ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授8、准教授2」を「教授7、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療プロフェッショナリズムⅡ（応用）」の専任教員の配置のうち、「兼任なし」を「兼2」に変更。
- ・教員の自己都合等により「医療プロフェッショナリズムⅢ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「教授8、准教授2」を「教授6、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療プロフェッショナリズムⅢ（発展）」の専任教員の配置のうち、「兼任なし」を「兼2」に変更。
- ・教育の充実の為、「社会保障と医療制度」の専任教員の配置のうち、「兼2」を「兼4」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「英字新聞で読む社会学・政治学」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「兼1」に変更。
- ・教育の充実の為、「英字新聞で読む社会学・政治学」の開講学期を「1学期」から「3学期」に変更。
- ・教育の充実の為、「国際医療保健学Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置のうち、「教授3、講師5、助教1」を「教授4、講師1」に変更。
- ・教育の充実の為、「生物学」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育の充実の為、「化学」の専任教員等の配置のうち、「兼1」を「講師1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療生物学」の専任教員の配置のうち、「教授1」を「教授2、准教授1、兼1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療化学」の専任教員の配置のうち、「教授1」を「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英語Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「教授2、准教授2、講師3、助教1」を「教授1、准教授1、講師1、助教4、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英語Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授2、准教授2、講師3、助教1」を「教授1、准教授1、講師1、助教4、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置のうち、「教授1、准教授1、講師3」を「准教授2、講師1、助教5」に変更。
- ・教員の自己都合等により「英語コミュニケーションB（実践）」の専任教員等の配置のうち、「教授1、准教授1、講師3」を「准教授2、講師1、助教5」に変更。
- ・教育の充実の為、「日本語Ⅰ-A（作文）」の専任教員の配置のうち、「兼1」を「講師1、兼4」に変更。
- ・教育の充実の為、「日本語Ⅰ-B（文法・語彙）」の専任教員の配置のうち、「兼1」を「講師1、兼4」に変更。
- ・教育の充実の為、「日本語Ⅱ-A（作文）」の専任教員の配置のうち、「兼1」を「講師1、兼4」に変更。
- ・教育の充実の為、「日本語Ⅱ-B（文法・語彙）」の専任教員の配置のうち、「兼1」を「講師1、兼4」に変更。
- ・カリキュラムの都合により、「医学英語」の開講学期を「1・2学期」から「1・2・3学期」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「日本語Ⅳ-C（発表・討論）」の専任教員の配置のうち、「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「日本語Ⅳ-E（読解・作文）」の専任教員の配置のうち、「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「日本語Ⅴ-C（発表・討論）」の専任教員の配置のうち、「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「日本語Ⅴ-E（読解・作文）」の専任教員の配置のうち、「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「医学英語」の専任教員の配置のうち、「教授1、准教授3、講師3、助教1」を「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置のうち、「教授4、准教授2、助教2、兼1」を「教授16、准教授2、講師4、助教3、助手2、兼2」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「医療面接・身体診察Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「教授3、准教授3、助教1」を「教授4、准教授2、講師2、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「医療面接・身体診察（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授3、准教授3、助教1」を「教授4、准教授2、講師2、兼1」に変更。
- ・教育の充実の為、「基礎医学総論Ⅰ（生化学）」の専任教員の配置のうち、「教授1、講師1」を「教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）」の専任教員等の配置のうち、「教授1、准教授1、助教1」を「教授1、講師1」に変更。
- ・教育の充実の為、「基礎医学総論Ⅲ（免疫学）」の専任教員の配置のうち、「教授1」を「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・教育の充実の為、「基礎医学総論Ⅳ（生理学）」の専任教員の配置のうち、「講師なし」から「講師1」に変更。
- ・教員の自己都合の為、「基礎医学総論Ⅴ（薬理学）」の専任教員の配置のうち、「教授1、講師1」から「教授2」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）」の専任教員の配置のうち、「教授3、准教授1、助教1、兼1」を「教授3、講師2、助教1、兼1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「基礎医学総論Ⅷ（病理学）」の専任教員の配置のうち、「講師2」を「講師なし」に変更。
- ・教育の充実の為、「基礎医学総論Ⅸ（病理学演習）」の専任教員の配置のうち、「教授5、講師2」を「教授5、准教授1、講師3、助教2」に変更。
- ・教育の充実の為、「発生・出産」の専任教員の配置のうち、「教授4」を「教授4、助教1、兼1」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」の専任教員の配置のうち、「教授8、准教授2、講師1」を「教授11、准教授3、講師2、助教2」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）」の専任教員の配置のうち、「教授11、准教授1、講師2、兼1」を「教授14、准教授2、講師1」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅲ（消化器系）」の専任教員の配置のうち、「教授10、准教授3、講師7、助教1」を「教授12、准教授4、講師5、助教2」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員の配置のうち、「教授8」を「教授10」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員の配置のうち、「教授13、講師1」を「教授14、准教授2、講師2、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅶ（婦人科系（乳腺含む））」の専任教員の配置のうち、「教授8、講師1」を「教授8、准教授2、講師2、助教2、兼2」に変更。
- ・教育の充実の為、「器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）」の専任教員の配置のうち、「教授5」を「教授7、准教授2、講師2、兼1」に変更。
- ・教育の充実の為、「正常人体解剖実習」の専任教員の配置のうち、「教授3、准教授1、助教1、兼2」を「教授4、講師2、助教1、兼2」に変更。
- ・教育の充実の為、「関連職種連携ワーク」の専任教員の配置のうち、「教授1、兼8」を「教授2、講師6、助教2、兼23」に変更。
- ・教育の充実の為、「胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）」の専任教員の配置のうち、「教授4」を「教授5、講師1、助教2」に変更。
- ・教育の充実の為、「感染症」の専任教員の配置のうち、「教授3、講師1、助教1」を「教授8、助教4」に変更。
- ・教育の充実の為、「腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）」の専任教員の配置のうち、「教授16、講師1」を「教授20、准教授4」に変更。
- ・教育の充実の為、「救急と集中治療」の専任教員の配置のうち、「教授1、准教授1、講師1」を「教授7、准教授1、講師2、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「麻酔」の専任教員の配置のうち、「教授4」を「教授5」に変更。
- ・教育の充実の為、「社会医学Ⅰ（医療管理学）」の専任教員の配置のうち、「教授1」を「教授2」に変更。
- ・教育の充実の為、「社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）」の専任教員の配置のうち、「教授2」を「教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実の為、「社会医学Ⅲ（法医学）」の専任教員の配置のうち、「教授1、講師1」を「教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）」の専任教員の配置のうち、「教授3」を「教授2」に変更。
- ・教員の自己都合等により、「社会医学Ⅴ（演習）」の専任教員の配置のうち、「助教2」を「助教なし」に変更。
- ・教育の充実の為、「臨床実習Ⅰ（基礎）」の専任教員の配置のうち、「教授79、准教授30、講師24、助教20、兼担8」を「教授104、准教授37、講師26、助教37、兼担3」に変更。
- ・教育の充実の為、「臨床実習Ⅱ（発展）」の専任教員の配置のうち、「教授79、准教授29、講師24、助教20、兼担8」を「教授103、准教授37、講師26、助教27、兼担3」に変更。
- ・教育の充実の為、「臨床実習Ⅲ（専門）」の専任教員の配置のうち、「教授60、准教授13、講師14、助教11、兼担1」を「教授59、准教授12、講師18、助教20」に変更。
- ・教育の充実の為、「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員の配置のうち、「教授156、准教授48、講師43、助教46、兼担3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
60 科目	8 科目	37 科目	105 科目	60 科目 [0]	9 科目 [1]	42 科目 [5]	111 科目 [6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	国際機関論	1	1	総合教育科目	選択	担当教員不在の為未開講。
2	海外医療体験	2	1	専門教育科目	自由	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為未開講。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

国際機関論は選択科目であるが、同分類の他科目が複数開講されており、卒業要件等に影響しない。
また、海外医療体験は自由科目であり同じく卒業要件等に影響しない。
学生には、掲示等で周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{105} = \boxed{1.9}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体
	校舎敷地	258,383 276,538 m ² 262,852	0m ²	0m ²	258,383 276,538 m ² 262,852	校舎敷地に国際医療福祉 大学市川病院を追加 (H30.9.1事業継承)(30) 福岡看護学部を設置者変 更等に伴う変更(3)
	運動場用地	100,751 88,807 m ²	0m ²	0m ²	100,751 88,807 m ²	
	小 計	359,134 377,289 m ² 351,659	0m ²	0m ²	359,134 377,289 m ² 351,659	
	そ の 他	113,975 m ²	0m ²	0m ²	113,975 m ²	
	合 計	473,109 491,264 m ² 724,431	0m ²	0m ²	473,109 491,264 m ² 724,431	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体	
	212,335 223,203 m ² 212,896 191,625 (189,135 178,828 m ²) 157,557	0m ²	0m ²	212,335 223,203 m ² 212,896 191,625 (189,135 178,828 m ²) 157,557	記載ミスのため修正 (30) 福岡薬学部設置に伴う追 加(2) 福岡看護学部を設置者変 更等に伴う変更(3)	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	201 216 205 193 室	179 194 186 162 室	323 327 316 304 室	22 24 23 室 (補助 8 職員 6 人)	9 10 室 (補助 職員 0 人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	医学部医学科			300 室		

(5)	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		〔うち外国書〕		〔うち外国書〕						
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
医学部		20,772 [6,941]	269 [21]	16,300 [14,681]		280	30,867	164	電子ジャーナルは大学全体で共用。その他は医学部 電子ジャーナルの一部は 大学全体で共用。その他は医学部(29) 医学部の学年進行による増加(3)	
		19,888 [6,628]	266 [20]	12,346 [10,791]		280	30,442	108		
		18,266 [6,271]	261 [7]	9,904 [8,431]		0	27,811	72		
		13,500 [3,300]	130 [40]	7,166 [5,725]		0	21,885	72		
				6,608 [5,278]		0	15,589	57		
				6,608 [5,278]		0	8,017	57		
				5,061 [3,823]		72	3,225	54		
		20,772 [6,941]	269 [21]	16,300 [14,681]		280	30,442	108		外国の電子ジャーナルについては継続購読とした。 視聴覚資料は既製品でなく教員作成のe-learningを活用したため購入品は本年度もない。(30) 学年進行に伴う増。(元)
		19,888 [6,628]	266 [20]	12,346 [10,791]		0	30,442	76		
		18,266 [6,271]	261 [7]	9,904 [8,431]		0	21,885	72		
		13,183 [4,749]	219 [4]	7,166 [5,725]		0	21,885	72		
		4,971 [2,792]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	15,589	57		
		3,206 [2,016]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	8,017	57		
		3,900 [900]	80 [20]	5,061 [3,823]		72	3,225	54		
計		20,772 [6,941]	269 [21]	16,300 [14,681]		280	30,867	164	学年進行に伴う増。(2) 学年進行に伴う増。(3)	
		19,888 [6,628]	266 [20]	12,346 [10,791]		280	30,442	76		
		18,266 [6,271]	261 [7]	9,904 [8,431]		0	21,885	72		
		13,183 [4,749]	219 [4]	7,166 [5,725]		0	21,885	72		
		4,971 [2,792]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	15,589	57		
		3,206 [2,016]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	8,017	57		
		3,900 [900]	80 [20]	5,061 [3,823]		72	3,225	54		
		20,772 [6,941]	269 [21]	16,300 [14,681]		280	30,867	164		
		19,888 [6,628]	266 [20]	12,346 [10,791]		280	30,442	76		
		18,266 [6,271]	261 [7]	9,904 [8,431]		0	21,885	72		
		13,183 [4,749]	219 [4]	7,166 [5,725]		0	21,885	72		
		4,971 [2,792]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	15,589	57		
		3,206 [2,016]	100 [4]	6,608 [5,278]		0	8,017	57		
		3,900 [900]	80 [20]	5,061 [3,823]		72	3,225	54		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 福岡看護学部の設置者 変更等に伴う変更 (3)			
	8,081 8,564 m ² 7,756		1,691 1,853 席 1,653		354,777 367,360 冊 340,000					
区 分		内 容					備 考			

(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		7,465 6,675 m ²		弓道場		テニスコート			
(8) 経費の見積り及び 維持方法 の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の経費について寄贈品等の費用分を修正。(30) 図書購入費については、第2年次の電子ジャーナルの選定に時間がかり予定を下回った。(30) 設備購入費については計画通り。(30)
		教員1人当り研究費等	800千円	800千円	図書購入費	934千円 874千円 0千円	87,228千円 100,000千円	100,000千円	
		共同研究費等	40,000千円	50,000千円	設備購入費	573,137千円 514,176千円 540,525千円	1,468,759千円 1,396,315千円	50,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		4,500千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円	2,800千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学					平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号						
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学部	6	140	-	700	-	1.00	1.00	-	平成29年度	-	
医学科	6	140	-	700	学士 (医学)	1.00	1.00	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
保健医療学部	4	535	-	2,160	-	1.02	1.03	-	平成7年度	-	
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	1.03	1.03	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法学)	1.02	1.04	-	平成7年度	同上	
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法学)	1.01	1.02	-	平成7年度	同上	
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚学)	1.02	1.00	-	平成7年度	同上	
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法学)	1.06	1.08	-	平成14年度	同上	
放射線・情報科学科	4	110	-	460	学士 (放射線・情報科学)	1.03	1.04	-	平成7年度	同上	
医療福祉学部	4	140	5	570	-	1.03	1.02	-	平成9年度	-	
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉学) 学士 (医療マネジメント学)	1.03	1.02	-	平成9年度	同上	
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.04	1.05	-	平成18年度	-	
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.04	1.05	-	平成18年度	同上	
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.07	1.08	-	平成18年度	-	
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.08	1.08	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.07	1.08	-	平成18年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.06	1.07	-	平成18年度	同上	
福岡保健医療学部	4	220	-	920	-	1.05	1.01	-	平成17年度	-	
理学療法学科	4	60	-	280	学士 (理学療法学)	1.08	1.08	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.00	1.00	-	平成17年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	0.96	0.80	-	平成19年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.09	1.08	-	平成25年度	同上	
福岡薬学部	6	120	-	240	-	1.06	1.07	-	令和2年度	-	
薬学科	6	120	-	240	学士 (薬学)	1.06	1.07	-	令和2年度	同上	
成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	1.08	-	平成28年度	-	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	1.08	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	

成田保健医療学部	4	290	-	1,060	-	1.07	1.07	-	平成28年度	-	
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.07	1.08	-	平成28年度	同上	
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.07	1.05	-	平成28年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.05	1.02	-	平成28年度	同上	
放射線・情報科 学科	4	50	-	100	学士 (放射線・情報 科学)	1.08	1.10	-	令和2年度	同上	
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.07	1.08	-	平成28年度	同上	
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.03	0.99	-	平成30年度	-	
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.06	1.15	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁 目1-2-6	
医療マネジメン ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マナジ メント学)	1.00	0.83	-	平成30年度	同上	
大学全体	-	700	5	2,720	-	-	-	-	平成7年度	-	

大学の名称	国際医療福祉大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
医療福祉学研究科 修士課程	2	285	-	520	-	0.99	1.05	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	200	-	360	修士 (保健医療学)	1.01	0.96	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1	R4より入学定員 160→200
					修士 (看護学)			-			
					修士 (助産学)			-			
					修士 (言語聴覚学)			-			
					修士 (生体補助医療学)			-			
					修士 (医療福祉教育・管理学)			-			
					修士 (臨床検査学)			-			
					修士 (災害医療学)			-			
					修士 (遺伝カウンセリング学)			-			
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.05	1.18	-	平成13年度	同上	
					修士 (診療情報管理学)			-			
					修士 (医療ビジネス経営学)			-			
					修士 (医療福祉管理学)			-			
					修士 (医療福祉国際協力学)			-			
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			-			
					修士 (自立支援介護学)			-			

					修士 (自立支援 実践マネジメント学)				-			
					修士 (医療福祉 シナリズム学)				-			
					修士 (医療通 訳・国際医 療マネジメント学)				-			
臨床心理学専攻	2	35	-	60	修士 (臨床心理 学)	0.92	1.00	-	平成19年度	同上	R4より入学定員 25→35	
医療福祉学研究科 博士課程	3	80	-	220	-	0.98	0.80	-	平成13年度	-	R4より入学定員 70→80	
保健医療学専攻	3	80	-	220	博士 (保健医療 学)	0.98	0.80	-	平成13年度	同上		
					博士 (看護学)				-			
					博士 (助産学)				-			
					博士 (言語聴覚 学)				-			
					博士 (生体補助 医療学)				-			
					博士 (医療福祉 教育・管理 学)				-			
					博士 (臨床検査 学)				-			
					博士 (医療福祉 経営学)				-			
					博士 (医療福祉 学)				-			
					博士 (医療福祉 学)				-			
					博士 (医療福祉 国際協力 学)				-			
					博士 (介護福祉・ マネジメント 学)				-			
					博士 (臨床心理 学)				-			

					博士 (医療福祉 シヤナリズム 学)			-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	0.00	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	0.00	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.65	0.20	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.65	0.20	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	20	-	30	-	1.48	0.85	-	平成30年度	-	R4より入学定員 10→20
公衆衛生学専攻	2	20	-	30	修士 (公衆衛生 学)	1.48	0.85	-	平成30年度	千葉県成田市公津の 社4丁目3番	
					修士 (医科学)						
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.04	1.05	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.04	1.05	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	415	-	880	-	0.90	0.76	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学部 医学科>

(1)① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】			【令和4年度】								
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等						
専任	北村 聖 (62) 平成29年4月	北村 聖 (62) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月	専任	北村 聖 (63) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月			
専任	天野 隆弘 (73) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (73) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (74) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (74) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (75) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (75) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (76) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (76) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (77) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (77) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (78) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (78) 平成29年4月 医学博士	専任	天野 隆弘 (78) 平成29年4月 医学博士	天野 隆弘 (78) 平成29年4月 医学博士			
専任	吉田 素文 (54) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (55) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (57) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (58) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (59) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専任	吉田 素文 (60) 平成29年4月 博士(医学)	吉田 素文 (60) 平成29年4月 博士(医学)			
専任	赤津 晴子 (55) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (55) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (56) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (56) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (57) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (57) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (58) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (58) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (59) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (59) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (60) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (60) 平成29年4月 MD(米国)	専任	赤津 晴子 (60) 平成29年4月 MD(米国)	赤津 晴子 (60) 平成29年4月 MD(米国)			
専任	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (43) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (43) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (44) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (44) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (44) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (44) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (45) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (45) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専任	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)	岡本 秀彦 (46) 平成29年4月 博士(医学)
専任	飯野(池田)啓子 (54) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (55) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)	飯野(池田)啓子 (56) 平成29年4月 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	後藤 純信 (55) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)	専任	教授	後藤 純信 (56) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)	専任	教授	後藤 純信 (57) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)	専任	教授	後藤 純信 (60) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)
専任	教授	北川 元生 (55) 平成29年4月 医学博士	医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)	専任	教授	北川 元生 (56) 平成29年4月 医学博士	医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)	専任	教授	北川 元生 (57) 平成29年4月 医学博士	医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)	専任	教授	北川 元生 (58) 平成29年4月 医学博士	医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)
専任	教授	小堀 浩幸 (52) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専任	教授	小堀 浩幸 (53) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専任	教授	小堀 浩幸 (54) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専任	教授	小堀 浩幸 (57) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)
専任	教授	森田 林平 (48) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	専任	教授	森田 林平 (49) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 腫瘍学 生化学	専任	教授	森田 林平 (50) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 腫瘍学 生化学	専任	教授	森田 林平 (51) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 腫瘍学 生化学
専任	教授	西村 渉 (49) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	専任	教授	西村 渉 (50) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) 腫瘍学 生化学	専任	教授	西村 渉 (51) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) 腫瘍学 生化学	専任	教授	西村 渉 (54) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) 腫瘍学 生化学 腫瘍学 腫瘍学
専任	教授	小阪 淳 (52) 平成29年4月 博士(理学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖学	専任	教授	小阪 淳 (53) 平成29年4月 博士(理学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖学	専任	教授	小阪 淳 (54) 平成29年4月 博士(理学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖学	専任	教授	小阪 淳 (55) 平成29年4月 博士(理学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖学
専任	教授	森 泰文 (46) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖学	専任	教授	森 泰文 (47) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖学	専任	教授	森 泰文 (48) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖学	専任	教授	森 泰文 (49) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅵ(組織学演習) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖学
専任	教授	富田 裕彦 (55) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	教授	富田 裕彦 (56) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系)	専任	教授	富田 裕彦 (57) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系)	専任	教授	富田 裕彦 (58) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌系)
専任	教授	福澤 龍二 (53) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専任	教授	福澤 龍二 (54) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	教授	福澤 龍二 (55) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	教授	福澤 龍二 (57) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)
専任	教授	潮見 隆之 (44) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習)	専任	教授	潮見 隆之 (45) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	教授	潮見 隆之 (47) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	教授	潮見 隆之 (48) 平成29年4月 博士(医学)	基礎医学総論Ⅳ(病理学) 基礎医学総論Ⅴ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 臨床診断入門

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	柴 信行 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	柴 信行 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専任	柴 信行 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専任	柴 信行 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専任	柴 信行 (61) 平成29年4月 博士(医学)	専任	柴 信行 (62) 平成29年4月 博士(医学)
専任	関部 輝雄 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	関部 輝雄 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	関部 輝雄 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	関部 輝雄 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	関部 輝雄 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	関部 輝雄 (57) 平成29年4月 博士(医学)
専任	竹本 稔 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	竹本 稔 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	竹本 稔 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	竹本 稔 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	竹本 稔 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	竹本 稔 (58) 平成29年4月 博士(医学)
専任	竹田 秀 (49) 平成30年4月 博士(医学)										
専任	栗田 卓也 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専任	栗田 卓也 (61) 平成29年4月 博士(医学)	専任	栗田 卓也 (62) 平成29年4月 博士(医学)	専任	栗田 卓也 (63) 平成29年4月 博士(医学)	専任	栗田 卓也 (64) 平成29年4月 博士(医学)	専任	栗田 卓也 (65) 平成29年4月 博士(医学)
専任	石川 三南 (67) 平成29年4月 医学博士	専任	石川 三南 (68) 平成29年4月 医学博士	専任	石川 三南 (69) 平成29年4月 医学博士	専任	石川 三南 (70) 平成29年4月 医学博士	専任	石川 三南 (71) 平成29年4月 医学博士	専任	石川 三南 (72) 平成29年4月 医学博士
専任	小山 一憲 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専任	小山 一憲 (61) 平成29年4月 博士(医学)	専任	小山 一憲 (62) 平成29年4月 博士(医学)	専任	小山 一憲 (63) 平成29年4月 博士(医学)	専任	小山 一憲 (64) 平成29年4月 博士(医学)	専任	小山 一憲 (65) 平成29年4月 博士(医学)
専任	鷺田 直輝 (45) 平成29年4月 博士(医学)	専任	鷺田 直輝 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専任	鷺田 直輝 (47) 平成29年4月 博士(医学)	専任	鷺田 直輝 (48) 平成29年4月 博士(医学)	専任	鷺田 直輝 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専任	鷺田 直輝 (50) 平成29年4月 博士(医学)
専任	竹中 恒夫 (58) 平成29年4月 医学博士	専任	竹中 恒夫 (59) 平成29年9月 医学博士	専任	竹中 恒夫 (60) 平成29年9月 医学博士	専任	竹中 恒夫 (61) 平成29年9月 医学博士	専任	竹中 恒夫 (62) 平成29年9月 医学博士	専任	竹中 恒夫 (63) 平成29年9月 医学博士
		兼任	竹中 恒夫 平成30年4月 医学博士 腎臓病専門医								
専任	佐藤 敦久 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	佐藤 敦久 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	佐藤 敦久 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専任	佐藤 敦久 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専任	佐藤 敦久 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専任	佐藤 敦久 (61) 平成29年4月 博士(医学)
専任	津島 健司 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専任	津島 健司 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専任	津島 健司 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	津島 健司 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	津島 健司 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	津島 健司 (55) 平成29年4月 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	教授	市丸 直嗣 (48) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)																
専任	教授	河島 雅到 (50) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	河島 雅到 (51) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	河島 雅到 (52) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	河島 雅到 (53) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	河島 雅到 (54) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅵ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)
専任	教授	朝本 俊司 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	朝本 俊司 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)												
専任	教授	石井 賢 (48) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	石井 賢 (49) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	石井 賢 (51) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	石井 賢 (51) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	石井 賢 (53) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)
専任	教授	中村 俊康 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	中村 俊康 (54) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅷ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	教授	中村 俊康 (55) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅷ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	教授	中村 俊康 (56) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅷ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	教授	中村 俊康 (58) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅷ(運動器・皮膚・膠原病)
専任	教授	真島 任史 (57) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)																
専任	教授	高橋 龍治 (51) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	高橋 龍治 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	高橋 龍治 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)								
専任	教授	角田 亘 (50) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	角田 亘 (51) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅸ(内分秘代謝系)	専任	教授	角田 亘 (52) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅸ(内分秘代謝系)	専任	教授	角田 亘 (53) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅸ(内分秘代謝系)	専任	教授	角田 亘 (54) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談) 器官別統合講義Ⅸ(内分秘代謝系)
専任	教授	太田 喜久夫 (59) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	太田 喜久夫 (60) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)												
専任	教授	草野 修輔 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	草野 修輔 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	草野 修輔 (54) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実談)								
専任	教授	田中 宏一 (52) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 発生・出産 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	田中 宏一 (53) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 発生・出産 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	田中 宏一 (54) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 発生・出産 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	田中 宏一 (55) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 発生・出産 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談)	専任	教授	田中 宏一 (56) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 発生・出産 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 総合臨床医学 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実談) 臨床診療入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	教授	新井 健 (49) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	新井 健 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	新井 健 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	新井 健 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	新井 健 (53) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系・皮膚・泌尿器)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系・皮膚・泌尿器)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系・皮膚・泌尿器)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系・皮膚・泌尿器)
専任	教授	中川 雅文 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	中川 雅文 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	中川 雅文 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	中川 雅文 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	中川 雅文 (60) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	原田 竜彦 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	原田 竜彦 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	原田 竜彦 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	原田 竜彦 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	原田 竜彦 (56) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	三浦 弘規 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	三浦 弘規 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	三浦 弘規 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	三浦 弘規 (57) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	三浦 弘規 (58) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	志賀 俊哉 (50) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	志賀 俊哉 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	志賀 俊哉 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	志賀 俊哉 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	志賀 俊哉 (54) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	小黒 恵司 (58) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	小黒 恵司 (59) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	小黒 恵司 (60) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	小黒 恵司 (61) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	小黒 恵司 (62) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	横川 徳造 (55) 平成29年4月 博士(医学)												
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専任	教授	戸矢 和仁 (51) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	戸矢 和仁 (52) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	戸矢 和仁 (53) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	戸矢 和仁 (54) 平成29年4月 博士(医学)	専任	教授	戸矢 和仁 (55) 平成29年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専任	教授	高橋 和郎 (61) 平成29年4月 医学博士	専任	教授	高橋 和郎 (62) 平成29年4月 医学博士	専任	教授	高橋 和郎 (63) 平成29年4月 医学博士	専任	教授	高橋 和郎 (64) 平成29年4月 医学博士	専任	教授	高橋 和郎 (65) 平成29年4月 医学博士
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)臨床産科			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)臨床産科			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)臨床産科
			専任	教授	奥仲 智弥 (50) 平成29年4月 医学博士	専任	教授	奥仲 智弥 (51) 平成29年9月 医学博士	専任	教授	奥仲 智弥 (52) 平成29年9月 医学博士	専任	教授	奥仲 智弥 (53) 平成29年9月 医学博士
					器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
			兼任	講師	奥仲 智弥 (58) 平成29年4月 医学博士									
					器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)									
			専任	教授	山下 裕二 (56) 平成29年7月 博士(医学)	専任	教授	山下 裕二 (59) 平成29年10月 博士(医学)	専任	教授	山下 裕二 (60) 平成29年10月 博士(医学)	専任	教授	山下 裕二 (61) 平成29年10月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
			専任	教授	中尾 隆宏 (50) 平成30年3月 博士(医学)	専任	教授	中尾 隆宏 (51) 平成30年3月 博士(医学)	専任	教授	中尾 隆宏 (52) 平成30年3月 博士(医学)	専任	教授	中尾 隆宏 (53) 平成30年3月 博士(医学)
					予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学
			専任	教授	辻 省次 (66) 平成30年2月 医学博士	専任	教授	辻 省次 (67) 平成30年2月 医学博士	専任	教授	辻 省次 (68) 平成30年2月 医学博士	専任	教授	辻 省次 (69) 平成30年2月 医学博士
					器官別統合講義Ⅱ(脳神経・精神系)			器官別統合講義Ⅱ(脳神経・精神系)			器官別統合講義Ⅱ(脳神経・精神系)			器官別統合講義Ⅱ(脳神経・精神系)

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
				専任 教授	菅野 洋 (62) 平成30年2月 医学博士	専任 教授	菅野 洋 (64) 平成30年2月 医学博士	専任 教授	菅野 洋 (63) 平成30年2月 医学博士
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語) 専任別総合演習Ⅲ(脳神経・精神科)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	唐仁原 全 (61) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	唐仁原 全 (63) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	唐仁原 全 (65) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	加藤 正人 (61) 平成30年1月 医学博士	専任 教授	加藤 正人 (63) 平成30年1月 医学博士	専任 教授	加藤 正人 (65) 平成30年1月 医学博士
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	吉田 雅博 (60) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	吉田 雅博 (61) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	吉田 雅博 (63) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	安心 康彦 (57) 平成30年2月				
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任 教授	須田 康文 (56) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	須田 康文 (57) 平成30年2月 博士(医学)	専任 教授	須田 康文 (59) 平成30年2月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	金澤 文治 (61) 平成30年1月 博士(医学)	専任 教授	金澤 文治 (62) 平成30年1月 博士(医学)	専任 教授	金澤 文治 (63) 平成30年1月 博士(医学)
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 専任別総合演習Ⅲ(産婦人科)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 専任別総合演習Ⅲ(産婦人科)		
				専任 教授	和田 耕治 (43) 平成30年4月 博士(医学)	専任 教授	和田 耕治 (44) 平成30年4月 博士(医学)	専任 教授	和田 耕治 (46) 平成30年4月 博士(医学)
					国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅰ(医療管理) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅴ(演習)		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅰ(医療管理) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅴ(演習)		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅰ(医療管理) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅴ(演習)
		専任 教授	村田 一崇 (55) 平成29年4月 博士(医学)	専任 教授	村田 一崇 (56) 平成29年4月 博士(医学)	専任 教授	村田 一崇 (57) 平成29年4月 博士(医学)		
			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		
				専任 教授	北林 晋 (60) 平成30年7月 博士(医学)	専任 教授	北林 晋 (61) 平成30年7月 博士(医学)		
			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		
				専任 教授	山内 重史 (61) 平成30年7月 医学博士	専任 教授	山内 重史 (62) 平成30年7月 医学博士	専任 教授	山内 重史 (63) 平成30年7月 医学博士
			専任別総合演習Ⅳ(内分科代替系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		専任別総合演習Ⅳ(内分科代替系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		専任別総合演習Ⅳ(内分科代替系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		専任別総合演習Ⅳ(内分科代替系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	島 清彦 (64) 平成30年1月 医学博士	専任 教授	島 清彦 (65) 平成30年1月 医学博士	専任 教授	島 清彦 (66) 平成30年1月 医学博士
			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任 教授	小林 幸夫 (60) 平成29年10月 医学博士	専任 教授	小林 幸夫 (61) 平成29年10月 医学博士	専任 教授	小林 幸夫 (62) 平成29年10月 医学博士
			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(内臓) 臨床実習Ⅳ(英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大平 寛典 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	大平 寛典 (46) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	大平 寛典 (47) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	大平 寛典 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
専	准教授	似鳥 修弘 (43) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	似鳥 修弘 (44) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	似鳥 修弘 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	似鳥 修弘 (48) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
専	准教授	林 和 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	林 和 (51) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	林 和 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	林 和 (55) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	加藤 啓二郎 (44) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	准教授	松本 英司 (48) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	松本 英司 (49) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	松本 英司 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	松本 英司 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)
専	准教授	栗田 英治 (46) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	栗田 英治 (46) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)								
専	准教授	中村 聡 (52) 平成29年4月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	中村 聡 (53) 平成29年4月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)								
専	准教授	石川 雅之 (49) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	石川 雅之 (49) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)								
専	准教授	長島 正樹 (41) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	長島 正樹 (41) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系・皮膚・膠原病)	専	准教授	長島 正樹 (44) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系・皮膚・膠原病)	専	准教授	長島 正樹 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅹ(感覚器系・皮膚・膠原病)
専	准教授	柿沼 敏行 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	柿沼 敏行 (46) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	柿沼 敏行 (47) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	柿沼 敏行 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	鈴木 伸嘉 (42) 平成29年4月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
				専	准教授	高橋 優家 (46) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	高橋 優家 (47) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	高橋 優家 (48) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	多田 雄一郎 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	多田 雄一郎 (51) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	多田 雄一郎 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	多田 雄一郎 (55) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	奥田 逸子 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	奥田 逸子 (52) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	奥田 逸子 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	奥田 逸子 (57) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
専	准教授	矢郷 香 (55) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	矢郷 香 (56) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	矢郷 香 (57) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	矢郷 香 (60) 平成29年4月 博士(医学)	器官別統合講義Ⅹ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	准教授	林 省吾 (41) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症状と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	専任	准教授	林 省吾 (42) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症状と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史	専任	准教授	林 省吾 (43) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症状と臨床推論(小グループケーススタディ演習)								
専任	准教授	足立 雅之 (44) 平成29年4月 博士(医学)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症状と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	足立 雅之 (44) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	足立 雅之 (44) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)								
専任	准教授	内藤 雄一郎 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)																
				専任	教授	福田 浩二 (48) 平成29年7月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	福田 浩二 (50) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	福田 浩二 (51) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				
				専任	准教授	鳥島 利奈 (41) 平成29年9月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	鳥島 利奈 (42) 平成29年8月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)								
				専任	准教授	遠藤 史郎 (45) 平成29年7月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	遠藤 史郎 (46) 平成29年10月	産婦人科 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)								
				兼任	教授	望月 太一 (54) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	専任	准教授	望月 太一 (55) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	専任	准教授	望月 太一 (56) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	専任	准教授	望月 太一 (57) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
				専任	准教授	小野塚 瑞樹 (40) 平成29年9月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	小野塚 瑞樹 (40) 平成29年11月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	准教授	小野塚 瑞樹 (51) 平成29年11月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	専任	准教授	小野塚 瑞樹 (52) 平成29年11月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)
				専任	准教授	山根 雅樹 (61) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	山根 雅樹 (62) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	山根 雅樹 (63) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	山根 雅樹 (64) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	准教授	一瀬 雅典 (57) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	一瀬 雅典 (58) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	一瀬 雅典 (59) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	一瀬 雅典 (60) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	准教授	笹生 豊 (57) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	笹生 豊 (57) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	笹生 豊 (57) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	准教授	笹生 豊 (60) 平成30年2月 医学博士	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				専任	准教授	和田 南文 (58) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	和田 南文 (58) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任	准教授	藤井 正一 (54) 平成30年2月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)								
				専任	准教授	中川 俊介 (54) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	中川 俊介 (57) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	中川 俊介 (58) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任	准教授	白井 博之 (53) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	白井 博之 (53) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	白井 博之 (57) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任	准教授	Ngatu Nlandu Roger (51) 平成30年4月 博士(医学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅴ(英語)	専任	准教授	Ngatu Nlandu Roger (52) 平成30年4月 博士(医学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅴ(英語)				
				専任	准教授	本舎 成彦 (50) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	本舎 成彦 (51) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	本舎 成彦 (52) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任	准教授	矢崎 淳 (45) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	矢崎 淳 (45) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任	准教授	高岡 栄一郎 (41) 平成30年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	高岡 栄一郎 (42) 平成30年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 器官別統合診療Ⅴ(腎臓学専攻) 腎臓・皮膚(放射線治療・緩和)	専任	准教授	高岡 栄一郎 (43) 平成30年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 器官別統合診療Ⅴ(腎臓学専攻) 腎臓・皮膚(放射線治療・緩和)
				専任	准教授	門田 行史 (40) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	門田 行史 (41) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任	准教授	門田 行史 (42) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任	准教授	斎藤 俊輔 (43) 平成30年7月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)								
専	講師	船尾 陽生 (40) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	講師	船尾 陽生 (41) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 器官別統合診療Ⅵ(循環器・皮膚・膠原病)	専	准教授	船尾 陽生 (42) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 器官別統合診療Ⅵ(循環器・皮膚・膠原病)	専	准教授	船尾 陽生 (43) 平成29年4月 博士(医学)	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 器官別統合診療Ⅵ(循環器・皮膚・膠原病)
				専	准教授	岡田 智恵 (48) 平成31年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	岡田 智恵 (49) 平成31年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	岡田 智恵 (50) 平成31年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語) 発生・出産
				専	准教授	相澤 義泰 (46) 平成31年4月 博士(医学)	器官別統合診療Ⅰ(循環器専攻) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	相澤 義泰 (47) 平成31年4月 博士(医学)	器官別統合診療Ⅰ(循環器専攻) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	相澤 義泰 (48) 平成31年4月 博士(医学)	器官別統合診療Ⅰ(循環器専攻) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専	准教授	菅野 渉 (37) 平成31年1月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	菅野 渉 (38) 平成31年1月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専	准教授	菅野 渉 (40) 平成31年1月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	Purevdorj B Olkhannud (38) 平成29年4月 M.P.H. (米国)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学	専任	講師	Purevdorj B Olkhannud (38) 平成29年4月 M.P.H. (米国)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学	専任	講師	Purevdorj B Olkhannud (38) 平成29年4月 M.P.H. (米国)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学	専任	講師	Purevdorj B Olkhannud (38) 平成29年4月 M.P.H. (米国)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展) 予防医学・行動科学
専任	講師	Ariuntuul Garidkhau (48) 平成30年4月 博士(歯学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)	専任	講師	Ariuntuul Garidkhau (48) 平成30年4月 博士(歯学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)	専任	講師	Ariuntuul Garidkhau (48) 平成30年4月 博士(歯学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)	専任	講師	Ariuntuul Garidkhau (48) 平成30年4月 博士(歯学)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)
専任	講師	Nguyen Duy Phong (48) 平成29年4月 PhD in Epidemiology and Infectious Diseases (ロシア)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)												
専任	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 平成29年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)	専任	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 令和2年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)	専任	講師	Hsiao-Lin Huang (45) 平成30年4月 Doctor's degree:Philosophy (台湾)	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 国際医療保健学Ⅲ(発展)				
専任	講師	Aung Thiha (39) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専任	講師	Aung Thiha (39) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専任	講師	Aung Thiha (40) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専任	講師	Aung Thiha (41) 令和2年4月 M med SC(Pathology) (ミャンマー)	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)
専任	講師	Myint Thazin Aung (39) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	感染症	専任	講師	Myint Thazin Aung (39) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	感染症	専任	講師	Myint Thazin Aung (40) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	感染症	専任	講師	Myint Thazin Aung (41) 令和2年4月 Master of Medical Science for Microbiology (ミャンマー)	感染症
専任	講師	小林 元 (45) 平成29年4月 博士(理学)	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅶ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門	専任	講師	小林 元 (45) 平成29年4月 博士(理学)	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅶ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門	専任	講師	小林 元 (46) 平成29年4月 博士(理学)	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅶ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	専任	講師	小林 元 (47) 平成29年4月 博士(理学)	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 器官別統合講義Ⅶ(感覚器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 医療面接・身体診察Ⅱ(応用)
専任	講師	Florescu Mihail Cosmin(36) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語	専任	講師	Florescu Mihail Cosmin(36) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語	専任	講師	Florescu Mihail Cosmin(37) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語	専任	講師	Florescu Mihail Cosmin(38) 平成29年4月 M.A. in Applied Linguistics (オーストラリア)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語
専任	講師	Butterfield, Jeffrie Leigh(36) 平成29年4月 修士 (コミュニケーション学)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践) 医学英語												
専任	講師	森村 壮志 (36) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	講師	森村 壮志 (37) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	講師	森村 壮志 (38) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	専任	講師	森村 壮志 (39) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	講師	川島 宏稔 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (37) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (38) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	川島 宏稔 (41) 令和2年4月 博士(医学)			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	講師	上原 孝紀 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	上原 孝紀 (41) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	長谷川 康 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (39) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (40) 平成31年4月 博士(医学)	専	講師	長谷川 康 (41) 令和2年4月 博士(医学)						
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)						
			兼任	講師	長谷川 康 (39) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	長谷川 康 (40) 平成29年4月 博士(医学)	兼任	講師	長谷川 康 (41) 平成29年4月 博士(医学)						
					器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)						
専	講師	平野 佑樹 (37) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (37) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (38) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	平野 佑樹 (41) 令和2年4月 博士(医学)
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
						兼任	講師	平野 佑樹 (38) 平成30年4月 博士(医学)	兼任	講師	平野 佑樹 (39) 平成30年4月 博士(医学)						
					器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系)						
専	講師	眞柳 修平 (35) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	眞柳 修平 (35) 平成30年4月 博士(医学)												
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)												
専	講師	菊池 弘人 (34) 平成30年4月 博士(医学)	専	講師	菊池 弘人 (34) 令和2年4月 博士(医学)												
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)												
専	講師	中島 崇裕 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (41) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	中島 崇裕 (42) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	鈴木 秀海 (40) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (40) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (41) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	鈴木 秀海 (42) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	若宮 富浩 (36) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (36) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (37) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (38) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (39) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	若宮 富浩 (41) 令和2年4月 博士(医学)
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系・精神系)			
専	講師	Gao Feng 高峰(33) 平成29年4月 PhD(香港)	専	講師	Gao Feng 高峰(33) 令和2年4月 PhD(香港)												
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	講師	辰巳 智章 (46) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (46) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (47) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	辰巳 智章 (48) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	講師	宮川 麻衣子 (35) 平成29年4月 博士(医学)															
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)															
専	講師	吉村 豪兼 (35) 平成29年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (35) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (36) 令和2年4月 博士(医学)	専	講師	吉村 豪兼 (37) 令和2年4月 博士(医学)						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	講師	吉原 一文 (51) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅳ(実践)												
専任	講師	古川 智一 (45) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅳ(実践)												
専任	講師	柳原 雅裕 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	柳原 雅裕 (50) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	柳原 雅裕 (51) 平成29年10月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専任	講師	緒方 敦之 (38) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
				専任	講師	吉岡 史隆 (37) 平成29年7月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)								
専任	講師	河村 陽一郎 (35) 平成29年4月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	河村 陽一郎 (35) 令和2年4月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	河村 陽一郎 (36) 令和2年4月	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				
				専任	講師	市来 智子 (44) 平成29年8月 博士(医学)	専任別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	市来 智子 (44) 平成29年8月 博士(医学)	専任別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	市来 智子 (45) 平成29年8月 博士(医学)	専任別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	福島 司 (41) 平成30年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	福島 司 (42) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	福島 司 (43) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	細谷 幸司 (47) 平成30年4月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	細谷 幸司 (48) 平成30年8月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	細谷 幸司 (50) 平成30年8月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	吉岡 広隆 (42) 平成29年4月 博士(生命科学)	医学生入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅲ(組織学実習) 正常人体解剖実習	専任	講師	吉岡 広隆 (43) 平成29年4月 博士(生命科学)	医学生入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅲ(組織学実習) 正常人体解剖実習	専任	講師	吉岡 広隆 (44) 平成29年4月 博士(生命科学)	医学生入門・正常解剖学 基礎医学総論Ⅲ(組織学実習) 正常人体解剖実習
				専任	講師	地引 政利 (56) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	地引 政利 (56) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	地引 政利 (57) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	黒木 聖子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	黒木 聖子 (51) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	黒木 聖子 (52) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	服部 知洋 (48) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	服部 知洋 (50) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	服部 知洋 (51) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	小川 朋子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	小川 朋子 (50) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	小川 朋子 (51) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
				専任	講師	安藤 貴年 (46) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	安藤 貴年 (47) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任	講師	安藤 貴年 (48) 平成30年2月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
職名	担当授業科目名	職名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	
専任			専任	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月 学士(医学)	専任	渡辺 浩史 (48) 平成30年2月 学士(医学)	専任	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月 学士(医学)	専任	渡辺 浩史 (50) 平成30年2月 学士(医学)	専任	渡辺 浩史 (48) 平成30年2月 学士(医学)	
				臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専任	別所 雅彦 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専任	別所 雅彦 (46) 平成30年2月 博士(医学)	専任	別所 雅彦 (47) 平成30年2月 博士(医学)	専任	別所 雅彦 (48) 平成30年2月 博士(医学)	専任	別所 雅彦 (49) 平成30年2月 博士(医学)	
				臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専任	古山 桂太郎 (44) 平成30年2月 博士(医学)	専任	古山 桂太郎 (45) 平成30年2月 博士(医学)	専任	古山 桂太郎 (46) 平成30年2月 博士(医学)	専任	古山 桂太郎 (47) 平成30年2月 博士(医学)	専任	古山 桂太郎 (48) 平成30年2月 博士(医学)	
				臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専任	Muzembo Basilia Andre (45) 平成30年4月 博士(医学)	専任	Muzembo Basilia Andre (45) 平成30年4月 博士(医学)	専任	Muzembo Basilia Andre (46) 平成30年4月 博士(医学)					
				国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅴ(演習)		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅴ(演習)		国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(英語) 社会医学Ⅴ(演習)					
			専任	坪井 優 (42) 平成30年2月 博士(医学)	専任	坪井 優 (43) 平成30年2月 博士(医学)	専任	坪井 優 (44) 平成30年2月 博士(医学)					
				臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)					
			専任	MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES (39) 平成30年4月									
				英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠA(入門) 英語コミュニケーションⅡB(実践)									
			専任	Munkhtuya Tumurkhuu (40) 平成30年3月 博士(医学)	専任	Munkhtuya Tumurkhuu (41) 平成30年3月 博士(医学)	専任	Munkhtuya Tumurkhuu (42) 平成30年3月 博士(医学)					
				基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)					
			専任	Edenetsogt Dungubat (42) 平成30年3月 医学博士	専任	Edenetsogt Dungubat (43) 平成30年3月 医学博士	専任	Edenetsogt Dungubat (44) 平成30年3月 医学博士	専任	Edenetsogt Dungubat (45) 平成30年3月 医学博士	専任	Edenetsogt Dungubat (46) 平成30年3月 医学博士	
				基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)		基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)		基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)		基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)		基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)	
			専任	田中 真生 (42) 平成30年4月 博士(医学)	専任	田中 真生 (43) 平成30年4月 博士(医学)	専任	田中 真生 (44) 平成30年4月 博士(医学)	専任	田中 真生 (45) 平成30年4月 博士(医学)	専任	田中 真生 (46) 平成30年4月 博士(医学)	
				臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実践)	
			専任	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (43) 平成30年3月	専任	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (44) 平成30年3月	専任	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL (45) 平成30年3月					
				修士(比較文化)		修士(比較文化)		修士(比較文化)					
				英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠA(入門) 英語コミュニケーションⅡB(実践)		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠA(入門) 英語コミュニケーションⅡB(実践)		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠA(入門) 英語コミュニケーションⅡB(実践)					
			専任	Kazi Solim Anwar (82) 平成30年4月 M.Phil	専任	Kazi Solim Anwar (83) 平成30年4月 M.Phil	専任	Kazi Solim Anwar (84) 平成30年4月 M.Phil					
				感染症		感染症		感染症					
			兼任	稲田 朋晃 (42) 平成29年4月 博士(学術)	兼任	稲田 朋晃 (43) 平成30年2月 博士(学術)							
				日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(聴解・読解) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(聴解・読解) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙		日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(聴解・読解) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(聴解・読解) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙		日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(聴解・読解) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(聴解・読解) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙					
専任	竹島 圭一郎 (36) 平成29年4月 学士(医学)	専任	竹島 圭一郎 (37) 平成29年4月 学士(医学)	専任	竹島 圭一郎 (38) 平成29年4月 学士(医学)	専任	竹島 圭一郎 (39) 平成29年4月 学士(医学)	専任	竹島 圭一郎 (40) 平成29年4月 学士(医学)	専任	竹島 圭一郎 (41) 平成29年4月 学士(医学)		
	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		
				臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合診療Ⅲ(運動器・皮膚・膠原病)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合診療Ⅲ(運動器・皮膚・膠原病)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合診療Ⅲ(運動器・皮膚・膠原病)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合診療Ⅲ(運動器・皮膚・膠原病)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合診療Ⅲ(運動器・皮膚・膠原病)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任			専任			専任		中川 良 (42) 令和2年4月 学士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		通山 晋夫 (41) 令和2年4月 博士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		黒住 敏 (37) 令和2年4月 学士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		黒住 敏 (38) 令和2年4月 学士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		Lkhagvauren Battuvahin (43) 令和2年7月 博士(医学)	専任			専任		
								総合臨床医学 総括講義						
専任			専任			専任		通藤 裕郎 (43) 令和2年7月 学士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		島田 瑠子 (36) 令和2年7月 博士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績) 修習別総合講義Ⅲ(消化器系)						
専任			専任			専任		林 雄一郎 (47) 令和2年9月 学士(医学)	専任			専任		
								基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)						
専任			専任			専任		内山 雅人 (45) 令和2年9月 学士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		吉澤 彩実 (44) 令和2年9月 博士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績) 修習別総合講義Ⅰ(循環器系)						
専任			専任			専任		橋村 いちげ (44) 令和2年9月 博士(医学)	専任			専任		
								胎児・小児の成長と疾患(胎児と臨床) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(免疫) 臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		乙成 洋 (40) 令和2年9月 博士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅳ(実績)						
専任			専任			専任		藤井(西村) 希子 (37) 令和2年9月 博士(医学)	専任			専任		
								基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)						
専任			専任			専任		久根 仁 (50) 令和3年1月 博士(医学)	専任			専任		
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)						

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
								専任	田部 勇助 (48) 令和3年1月 博士(医学)	専任	田部 勇助 (48) 令和3年1月 博士(医学)
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅲ(基礎) 臨床実習Ⅳ(基礎)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅲ(基礎) 臨床実習Ⅳ(基礎) 器官別統合講義Ⅲ(呼吸器・精神系)
								専任	渡部 佳弘 (44) 令和3年1月 博士(医学)	専任	渡部 佳弘 (45) 令和3年1月 博士(医学)
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)
								専任	吉田 純子 (43) 令和3年1月 博士(医学)	専任	吉田 純子 (44) 令和3年1月 博士(医学)
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)
								専任	加藤 文彦 (38) 令和3年1月 博士(医学)	専任	加藤 文彦 (40) 令和3年1月 博士(医学)
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)
								専任	黒部 展広 (38) 令和3年1月 博士(医学)	専任	黒部 展広 (39) 令和3年1月 博士(医学)
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)
								専任	永吉(宗強) 陽子 (35) 令和3年1月 学士(医学)	専任	永吉(宗強) 陽子 (37) 令和3年1月 学士(医学)
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)
								専任	宮原 秀伸 (42) 令和3年4月 博士(医学)	専任	宮原 秀伸 (43) 令和3年4月 博士(医学)
									医療入門・正常解剖実習 基礎医学総論Ⅲ(細胞学実習) 正常人体解剖実習		医療入門・正常解剖実習 基礎医学総論Ⅲ(細胞学実習) 正常人体解剖実習
								専任	山藤 真治 (40) 令和3年4月 博士(医学)		
									総合臨床実習 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)		
								専任	富永 宗保典 (38) 令和3年4月 博士(医学)	専任	富永 宗保典 (37) 令和3年4月 博士(医学)
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実績)
										専任	三沢 彰 (40) 令和3年7月 博士(生命科学)
											生化学 基礎生化学 基礎医学総論Ⅲ(免疫学)
								専任	上田 亮平 (36) 令和3年7月 博士(医学)	専任	上田 亮平 (36) 令和3年7月 博士(医学)
											基礎医学総論Ⅳ(生化学) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿系)

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
				山田 裕 (45) 平成29年7月 学士(医学)	専任 助教		山田 裕 (45) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		山田 裕 (45) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		山田 裕 (45) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				高野 貴広 (34) 平成29年9月 学士(医学)	専任 助教		高野 貴広 (35) 平成29年8月 学士(医学)	専任 助教		高野 貴広 (37) 平成29年8月 学士(医学)	専任 助教		高野 貴広 (38) 平成29年8月 学士(医学)	専任 助教
				Hasan Arif Ul (40) 平成29年4月 博士(医学)	専任 助教		Hasan Arif Ul (42) 平成29年4月 博士(医学)	専任 助教		Hasan Arif Ul (43) 平成29年4月 博士(医学)	専任 助教		Hasan Arif Ul (44) 平成29年4月 博士(医学)	専任 助教
				Rahman Md Aezur (33) 平成29年4月	専任 助教		Rahman Md Aezur (34) 平成29年4月	専任 助教						
兼任 講師	吉永 隆 (41) 平成29年4月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任 講師	吉永 隆 (41) 平成29年4月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任 助教	吉永 隆 (42) 平成30年2月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専任 助教	吉永 隆 (43) 平成30年2月 学士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
				中島 理康 (32) 平成30年7月 学士(医学)	専任 助教		中島 理康 (33) 平成30年7月 学士(医学)	専任 助教						
				木村 聖典 (52) 平成30年2月	専任 助教									
				佐野 美智子 (48) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専任 助教		佐野 美智子 (50) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専任 助教		佐野 美智子 (51) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専任 助教		佐野 美智子 (52) 平成30年2月 修士(応用日本語学)	専任 助教
				上原 健紀子 (45) 平成30年2月 修士(医学)	専任 助教		上原 健紀子 (45) 平成30年2月 修士(医学)	専任 助教		上原 健紀子 (47) 平成30年2月 修士(医学)	専任 助教		上原 健紀子 (47) 平成30年2月 修士(医学)	専任 助教
				福留 潤 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		福留 潤 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		福留 潤 (43) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		福留 潤 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				村上 文祥 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		村上 文祥 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		村上 文祥 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		村上 文祥 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				杉崎 麗史 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		杉崎 麗史 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		杉崎 麗史 (43) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		杉崎 麗史 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				小川 明子 (38) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		小川 明子 (40) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		小川 明子 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		小川 明子 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				梅田 理美子 (40) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		梅田 理美子 (41) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		梅田 理美子 (42) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		梅田 理美子 (44) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教
				関 広幸 (38) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		関 広幸 (37) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教		関 広幸 (38) 平成30年2月 学士(医学)	専任 助教			

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
				専任・兼任	高橋 晋 (34) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	高橋 晋 (37) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	高橋 晋 (38) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任・兼任	齊藤 大智 (34) 平成30年2月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任・兼任	上田 竜六 (36) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	上田 竜六 (37) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	上田 竜六 (38) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任・兼任	櫻 利昌 (34) 平成30年2月 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任・兼任	福良 宣広 (35) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	福良 宣広 (36) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	福良 宣広 (37) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任・兼任	高橋(筑島) 芽子 (35) 平成30年2月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任・兼任	柘植 俊介 (35) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	柘植 俊介 (36) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	柘植 俊介 (37) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
				専任・兼任	三浦 俊介 (33) 平成30年2月 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)				
				専任・兼任	今井 健一 (32) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	専任・兼任	今井 健一 (33) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)		
				専任・兼任	中丸 淳平 (32) 平成30年2月				
				専任・兼任	山崎 薫子 (31) 平成30年2月 MPH 海外医療体験	専任・兼任	山崎 薫子 (32) 平成30年2月 MPH 海外医療体験	専任・兼任	山崎 薫子 (33) 平成30年2月 MPH 海外医療体験
				専任・兼任	特招 晋 (30) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語)	専任・兼任	特招 晋 (31) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語)	専任・兼任	特招 晋 (32) 平成30年2月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語)
				専任・兼任	Derimes Ganbat (33) 平成30年3月 博士(病理学) 基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)	専任・兼任	Derimes Ganbat (34) 平成30年3月 博士(病理学) 基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)	専任・兼任	Derimes Ganbat (35) 平成30年3月 博士(病理学) 基礎医学総論Ⅲ(病理学演習)
				専任・兼任	Byambasteeren Jambeljav (37) 平成30年4月 医学士 専任別総合職Ⅳ(内分派代副系)	専任・兼任	Byambasteeren Jambeljav (38) 平成30年4月 医学士 専任別総合職Ⅳ(内分派代副系)	専任・兼任	Byambasteeren Jambeljav (39) 平成30年4月 医学士 専任別総合職Ⅳ(内分派代副系)
				専任・兼任	武藤(森村) 真由子 (32) 平成30年3月 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名												
					高橋 裕一郎 (36) 平成30年9月 博士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(病態) 臨床実習Ⅳ(実績)						
					森塚 太郎 (34) 令和元年7月 学士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)					専 助教	森塚 太郎 (36) 令和元年7月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)
					岡 綾子 (33) 令和元年7月 学士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)					専 助教	岡 綾子 (34) 令和元年7月 学士(医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)
					石井 名美子 (35) 令和元年9月 博士(医学)		専 助教	社会医学Ⅲ(法医学)					専 助教	石井 名美子 (37) 令和元年9月 博士(医学) 社会医学Ⅲ(法医学)
					小林 真麻 (33) 令和元年9月 学士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実績)						
					山田 晋之介 (40) 令和2年1月 博士(理学)		専 助教	医療入門・正常解剖学 正常人体解剖学 基礎医学総論Ⅲ(組織学実習)					専 助教	山田 晋之介 (41) 令和2年1月 博士(理学) 医療入門・正常解剖学 正常人体解剖学 基礎医学総論Ⅲ(組織学実習)
					Jambaldorj Jamiyansuren(40) 令和2年4月 博士(医学)		専 助教	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)					専 助教	Jambaldorj Jamiyansuren(42) 令和2年4月 博士(医学) 基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) 基礎化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学) 基礎医学総論Ⅲ(病理学実習)
					佐藤 愛子 (37) 令和2年4月 博士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(病態) 臨床実習Ⅳ(実績)					専 助教	佐藤 愛子 (38) 令和2年4月 博士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(病態) 臨床実習Ⅳ(実績)
					Sayama Lkhavadorji(35) 令和2年4月 博士(医学)		専 助教	基礎医学総論Ⅲ(病理学実習)					専 助教	Sayama Lkhavadorji(37) 令和2年4月 博士(医学) 基礎医学総論Ⅲ(病理学実習)
					Mary Reine Angell Abad(30) 令和2年4月 Doctor of Medicine(MD)		専 助教	医療入門・正常解剖学 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医学英語 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 海外医療体験 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠ(入門) 英語コミュニケーションⅡ(発展)					専 助教	Mary Reine Angell Abad(31) 令和2年4月 Doctor of Medicine(MD) 医療入門・正常解剖学 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医学英語 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 海外医療体験 英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーションⅠ(入門) 英語コミュニケーションⅡ(発展)
					平塚 康幸 (30) 令和2年4月 学士(医学)		専 助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(病態) 臨床実習Ⅳ(実績)					専 助教	平塚 康幸 (30) 令和2年4月 学士(医学) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(病態) 臨床実習Ⅳ(実績)

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	職名	担当授業科目名	職名	職名	職名	担当授業科目名	職名	職名	職名	担当授業科目名
						専任	木下 拓 (36) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		専任	木下 拓 (36) 令和2年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専任	竹下 玄一郎 (36) 令和2年4月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		専任	竹下 玄一郎 (36) 令和2年4月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
						専任	竹達 清高 (34) 令和2年4月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)		専任	竹達 清高 (36) 令和2年4月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 胎児・小児の成長と疾患(産科と臨床)
						専任	Katrina Fanjul (28) 令和2年4月 Master of Pharmacy (薬学修士)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 英語コミュニケーション ⅠA(入門) 英語コミュニケーション ⅠB(実践) 海外医療体験				
										専任	杉本 一将 (42) 令和2年7月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
										専任	塚田 淳樹 (37) 令和2年7月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
										専任	木内 進 (35) 令和2年7月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
										専任	門間 雄斗 (34) 令和2年7月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
										専任	田島 寛之 (33) 令和2年7月 修士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)
										専任	井桁 龍平 (32) 令和2年7月 修士(医学)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
													綱 有貴 (32) 令和2年7月 学士(医学)	綱 有貴 (32) 令和2年7月 学士(医学)
													臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 関連職種連携実習	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 関連職種連携実習
													YANG, MENGHAN (30) 令和2年7月 修士(臨床医学)	YANG, MENGHAN (30) 令和2年7月 修士(臨床医学)
													基礎医学総論Ⅲ(病態学) 基礎医学総論Ⅳ(病態学演習)	基礎医学総論Ⅲ(病態学) 基礎医学総論Ⅳ(病態学演習)
													曾川 卓也 (37) 令和2年9月 博士(医学)	曾川 卓也 (38) 令和2年9月 博士(医学)
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語) 総合別統合講義Ⅲ(消化器系)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語) 総合別統合講義Ⅲ(消化器系)
													伊藤(福田) 由依 (34) 令和2年9月 学士(医学)	伊藤(福田) 由依 (35) 令和2年9月 学士(医学)
													幼児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	幼児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
													大迫 龍嗣 (32) 令和2年9月 学士(医学)	大迫 龍嗣 (33) 令和2年9月 学士(医学)
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語)
													井坂 由典 (31) 令和2年9月 学士(医学)	
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	
													内藤 千絵 (31) 令和2年9月 学士(医学)	
													幼児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	
													佐藤 公一 (31) 令和2年9月 博士(医学)	佐藤 公一 (32) 令和2年9月 博士(医学)
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
													高納寺 英里 (42) 令和3年1月 博士(医学)	高納寺 英里 (43) 令和3年1月 博士(医学)
													臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 臨床と臨床(放射線治療・緩和)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 臨床と臨床(放射線治療・緩和)
													瀧澤 玲央 (42) 令和3年1月 学士(医学)	瀧澤 玲央 (43) 令和3年1月 学士(医学)
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)
													金井 雅香 (41) 令和3年1月 博士(医学)	金井 雅香 (42) 令和3年1月 博士(医学)
													臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語)
													木村 貴郎 (37) 令和3年1月 博士(医学)	
													臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(英語) 臨床実習Ⅳ(英語)	
													中村 賢 (37) 令和3年1月 博士(医学)	中村 賢 (38) 令和3年1月 博士(医学)
													臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 総合別統合講義Ⅲ(透析療法・皮膚・膠原病)	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(英語) 総合別統合講義Ⅲ(透析療法・皮膚・膠原病)
													福岡 希衣 (36) 令和3年1月 博士(医学)	福岡 希衣 (36) 令和3年1月 博士(医学)
													社会実習Ⅲ(法医学) 社会実習Ⅴ(演習)	社会実習Ⅲ(法医学) 社会実習Ⅴ(演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				岡 智一郎 (35) 令和4年4月 博士 (医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実履)		
																		小林 進彦 (33) 令和4年1月 博士 (医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実履)		
																		御田 綾子 (43) 令和4年1月 学士 (医学) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実履)		
																		藤原 康 (35) 令和4年1月 学士 (医学) 臨床実習Ⅲ(基礎) 臨床実習Ⅳ(実履) 臨床実習Ⅴ(実履)		
兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (68) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (70) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (71) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (72) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (72) 平成29年4月 修士(公衆衛生学)
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度				社会保障と医療制度		
兼任	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼任	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼任	教授	中村 秀一 (69) 平成29年4月												
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度												
兼任	教授	坪倉 繁美 (64) 令和2年4月 修士(政治学)	兼任	教授	坪倉 繁美 (64) 令和2年4月 修士(政治学)	兼任	教授	坪倉 繁美 (65) 令和2年4月 修士(政治学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	久保 晃 (56) 令和2年4月 博士(医学)	兼任	教授	久保 晃 (56) 令和2年4月 博士(医学)	兼任	教授	久保 晃 (57) 令和2年4月 博士(医学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	谷口 敬道 (51) 令和2年4月 博士(工学)	兼任	教授	谷口 敬道 (51) 令和2年4月 博士(工学)	兼任	教授	谷口 敬道 (52) 令和2年4月 博士(工学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	坪上 恭彦 (58) 令和2年4月 修士(教育学)	兼任	教授	坪上 恭彦 (58) 令和2年4月 修士(教育学)	兼任	教授	坪上 恭彦 (59) 令和2年4月 修士(教育学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	新井田 孝裕 (58) 令和2年4月 博士(医学)	兼任	教授	新井田 孝裕 (58) 令和2年4月 博士(医学)	兼任	教授	新井田 孝裕 (59) 令和2年4月 博士(医学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	勝俣 健一郎 (60) 令和2年4月	兼任	教授	勝俣 健一郎 (60) 令和2年4月	兼任	教授	勝俣 健一郎 (67) 令和2年4月												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	小林 雅彦 (59) 令和2年4月 修士(社会福祉学)	兼任	教授	小林 雅彦 (59) 令和2年4月 修士(社会福祉学)	兼任	教授	小林 雅彦 (60) 令和2年4月 修士(社会福祉学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	渡邊 敏子 (63) 令和2年4月 博士(薬学)	兼任	教授	渡邊 敏子 (63) 令和2年4月 博士(薬学)	兼任	教授	渡邊 敏子 (64) 令和2年4月 博士(薬学)												
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク												
兼任	教授	福増 誠一 (61) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (61) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (62) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (63) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (64) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (65) 平成29年4月 博士(経済学)	兼任	教授	福増 誠一 (66) 平成29年4月 博士(経済学)
		数学 統計学			数学 統計学			数学 統計学			数学 統計学			数学 統計学				数学 統計学		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	宮嶋 宏行 (47) 平成29年4月 博士(工学)	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (48) 平成29年4月 博士(工学)	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (49) 平成29年4月 博士(工学)	物理学	兼任	教授	宮嶋 宏行 (51) 平成29年4月 博士(工学)	物理学
				兼任	教授	高島 晴雄 (71) 平成29年4月 博士(医学)	医学史	兼任	教授	高島 晴雄 (72) 平成29年4月 博士(医学)	医学史	兼任	教授	高島 晴雄 (73) 平成29年4月 博士(医学)	医学史
				兼任	教授	高島 晴雄 (74) 平成29年4月 博士(医学)	医学史	兼任	教授	高島 晴雄 (75) 平成29年4月 博士(医学)	医学史	兼任	教授	高島 晴雄 (76) 平成29年4月 博士(医学)	医学史
兼任	教授	松野 義晴 (51) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習	兼任	教授	松野 義晴 (52) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習	兼任	教授	松野 義晴 (53) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習	兼任	教授	松野 義晴 (54) 平成29年4月 博士(医学)	医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅶ(組織学演習) 正常人体解剖実習 医療生物学
兼任	教授	高見澤 聡 (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	高見澤 聡 (54) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	高見澤 聡 (55) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	高見澤 聡 (56) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (53) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (54) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (55) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	延山 誠一(HYEON SEONGIL)(玄誠一) (56) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	橋本 雅章 (60) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	橋本 雅章 (61) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	橋本 雅章 (62) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	兼任	教授	橋本 雅章 (63) 平成29年4月 博士(医学)	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	教授	三宅 克也 (53) 平成29年4月 博士(医学)	正常人体解剖実習	兼任	教授	三宅 克也 (54) 平成29年4月 博士(医学)	正常人体解剖実習	兼任	教授	三宅 克也 (55) 平成29年4月 博士(医学)	正常人体解剖実習	兼任	教授	三宅 克也 (56) 平成29年4月 博士(医学)	正常人体解剖実習
兼任	講師	村上 大介 (60) 平成29年4月 教養学士	国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学	兼任	教授	村上 大介 (61) 平成29年4月 教養学士	国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学	兼任	教授	村上 大介 (62) 平成29年4月 教養学士	国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学	兼任	教授	村上 大介 (63) 平成29年4月 教養学士	国際関係論 英字新聞で読む社会学・政治学
								兼任	教授	城岡 寿江 (67) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク	兼任	教授	城岡 寿江 (68) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク
								兼任	教授	内田 豊也 (50) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク	兼任	教授	内田 豊也 (51) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク
								兼任	教授	西田 裕介 (45) 平成31年4月 博士(保健医療学)	関連職種連携ワーク	兼任	教授	西田 裕介 (44) 平成31年4月 博士(保健医療学)	関連職種連携ワーク
								兼任	教授	倉智 雅子 (50) 平成31年4月 博士(言語病理学)	関連職種連携ワーク	兼任	教授	倉智 雅子 (51) 平成31年4月 博士(言語病理学)	関連職種連携ワーク
								兼任	教授	竹内 啓昂 (56) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク	兼任	教授	竹内 啓昂 (57) 平成31年4月 博士(医学)	関連職種連携ワーク
				兼任	教授	等々力 勝 (68) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論	兼任	教授	等々力 勝 (69) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論	兼任	教授	等々力 勝 (70) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論
				兼任	教授	等々力 勝 (71) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論	兼任	教授	等々力 勝 (72) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論	兼任	教授	等々力 勝 (73) 平成29年4月 修士(行政・国際関係)	国際機関論

専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	木村 伊重 (85) 平成29年4月 麻酔学士	教授	兼任	木村 伊重 (84) 平成29年4月 麻酔学士	教授	兼任	木村 伊重 (85) 平成29年4月 麻酔学士	教授	兼任	木村 伊重 (86) 平成29年4月 麻酔学士	教授	兼任	木村 伊重 (88) 平成29年4月 麻酔学士	教授
				現代日本専攻・政治・経済・社会・文化を理解する選修-			現代日本専攻・政治・経済・社会・文化を理解する選修-			現代日本専攻・政治・経済・社会・文化を理解する選修-			現代日本専攻・政治・経済・社会・文化を理解する選修-	
兼任	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	小川 俊夫 (52) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	小川 俊夫 (50) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	小川 俊夫 (51) 平成29年4月 博士(医学)	准教授
		国際機関論			国際機関論			国際機関論			国際機関論			国際機関論
兼任	清宮 正徳 (53) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	清宮 正徳 (52) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	清宮 正徳 (57) 平成31年4月 博士(医学)	准教授	兼任	清宮 正徳 (58) 平成31年4月 博士(医学)	准教授	兼任	清宮 正徳 (59) 平成31年4月 博士(医学)	准教授
		化学					関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク	
兼任	福井 謙 (45) 平成29年4月 博士(学術)	准教授	兼任	福井 謙 (46) 平成29年4月 博士(学術)	准教授	兼任	福井 謙 (47) 平成29年4月 博士(学術)	准教授	兼任	福井 謙 (48) 平成29年4月 博士(学術)	准教授	兼任	福井 謙 (50) 平成29年4月 博士(学術)	准教授
		日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史			日本の近現代史
兼任	大橋 成孝 (45) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	大橋 成孝 (46) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	大橋 成孝 (47) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	大橋 成孝 (48) 平成29年4月 博士(医学)	准教授	兼任	大橋 成孝 (49) 平成29年4月 博士(医学)	准教授
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	保川 愼行 (43) 平成29年4月	講師	兼任	保川 愼行 (43) 平成29年4月	講師	兼任			兼任			兼任		
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									
兼任	YANG SUNGHOON 梁 成勳(46) 平成29年4月 学士(医学)	講師	兼任	YANG SUNGHOON 梁 成勳(47) 平成29年4月 学士(医学)	講師	兼任	YANG SUNGHOON 梁 成勳(48) 平成29年4月 学士(医学)	講師	兼任	YANG SUNGHOON 梁 成勳(49) 平成29年4月 学士(医学)	講師	兼任	YANG SUNGHOON 梁 成勳(50) 平成29年4月 学士(医学)	講師
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)
兼任	坂本 真史 (44) 平成30年4月 博士(法務専門職)	准教授	兼任	坂本 真史 (45) 平成30年4月 博士(法務専門職)	准教授	兼任	坂本 真史 (46) 平成30年4月 博士(法務専門職)	准教授	兼任	坂本 真史 (47) 平成30年4月 博士(法務専門職)	准教授	兼任	坂本 真史 (48) 平成30年4月 博士(法務専門職)	准教授
		法と医療			法と医療			法と医療			法と医療			法と医療
兼任	實吉 佐知子 (50) 平成31年4月 学士(教養学)	准教授	兼任	實吉 佐知子 (50) 平成31年4月 学士(教養学)	准教授	兼任	實吉 佐知子 (50) 平成31年4月 学士(教養学)	准教授	兼任	實吉 佐知子 (50) 平成31年4月 学士(教養学)	准教授	兼任	實吉 佐知子 (50) 平成31年4月 学士(教養学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	稲田 美樹 (52) 平成31年4月 修士(教育学)	准教授	兼任	稲田 美樹 (53) 平成31年4月 修士(教育学)	准教授	兼任	稲田 美樹 (54) 平成31年4月 修士(教育学)	准教授	兼任	稲田 美樹 (55) 平成31年4月 修士(教育学)	准教授	兼任	稲田 美樹 (56) 平成31年4月 修士(教育学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	森井 智枝 (82) 平成31年4月 修士(保健医療学)	准教授	兼任	森井 智枝 (83) 平成31年4月 修士(保健医療学)	准教授	兼任	森井 智枝 (84) 平成31年4月 修士(保健医療学)	准教授	兼任	森井 智枝 (85) 平成31年4月 修士(保健医療学)	准教授	兼任	森井 智枝 (86) 平成31年4月 修士(保健医療学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	石山 寿子 (50) 平成31年4月 博士(歯学)	准教授	兼任	石山 寿子 (51) 平成31年4月 博士(歯学)	准教授	兼任	石山 寿子 (52) 平成31年4月 博士(歯学)	准教授	兼任	石山 寿子 (53) 平成31年4月 博士(歯学)	准教授	兼任	石山 寿子 (54) 平成31年4月 博士(歯学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	新瀬 由紀子 (47) 平成31年4月 博士(社会学)	准教授	兼任	新瀬 由紀子 (48) 平成31年4月 博士(社会学)	准教授	兼任	新瀬 由紀子 (49) 平成31年4月 博士(社会学)	准教授	兼任	新瀬 由紀子 (50) 平成31年4月 博士(社会学)	准教授	兼任	新瀬 由紀子 (51) 平成31年4月 博士(社会学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	井上 由里 (54) 平成31年4月 博士(保健学)	准教授	兼任	井上 由里 (55) 平成31年4月 博士(保健学)	准教授	兼任	井上 由里 (56) 平成31年4月 博士(保健学)	准教授	兼任	井上 由里 (57) 平成31年4月 博士(保健学)	准教授	兼任	井上 由里 (58) 平成31年4月 博士(保健学)	准教授
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
兼任	佐藤 寛子 (44) 平成29年4月 博士(フランス研究学)	講師	兼任	佐藤 寛子 (45) 平成29年4月 博士(フランス研究学)	講師	兼任	佐藤 寛子 (46) 平成29年4月 博士(フランス研究学)	講師	兼任	佐藤 寛子 (47) 平成29年4月 博士(フランス研究学)	講師	兼任	佐藤 寛子 (48) 平成29年4月 博士(フランス研究学)	講師
		フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)			フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)			フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)			フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)			フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	茅野 正雄 (50) 平成29年4月 修士(応用言語学)	兼任	講師	茅野 正雄 (51) 平成29年4月 修士(応用言語学)	兼任	講師	茅野 正雄 (52) 平成29年4月 修士(応用言語学)	兼任	講師	茅野 正雄 (53) 平成29年4月 修士(応用言語学)	兼任	講師	茅野 正雄 (54) 平成29年4月 修士(応用言語学)
		日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙
			兼任	講師	品川 立登さ (45) 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	品川 立登さ (46) 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	品川 立登さ (47) 平成29年4月 修士(文学)	兼任	講師	品川 立登さ (48) 平成29年4月 修士(文学)
					日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語 I-A(作文) 日本語 I-B(文法・語彙) 日本語 II-A(作文) 日本語 II-B(文法・語彙) 日本語 II-C(発表討論) 日本語 II-D(専門日本語) 日本語 III-A(作文) 日本語 III-B(文法・語彙) 日本語 III-C(発表・討論) 日本語 III-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙
兼任	教授	戸松 義晴 (63) 平成29年4月 修士(神学)	兼任	教授	戸松 義晴 (63) 平成29年4月 修士(神学)	兼任	教授	戸松 義晴 (64) 平成29年4月 修士(神学)	兼任	教授	戸松 義晴 (65) 平成29年4月 修士(神学)	兼任	教授	戸松 義晴 (66) 平成29年4月 修士(神学)
		死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション			死生学 異文化コミュニケーション
						兼任	講師	平野 大輔 (37) 平成31年4月 博士(保健医療学)	兼任	講師	平野 大輔 (38) 平成31年4月 博士(保健医療学)	兼任	講師	平野 大輔 (39) 平成31年4月 博士(保健医療学)
								関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
						兼任	講師	五味 幸寛 (37) 平成31年4月 博士(障害科学)	兼任	講師	五味 幸寛 (38) 平成31年4月 博士(障害科学)	兼任	講師	五味 幸寛 (39) 平成31年4月 博士(障害科学)
								関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク
						兼任	講師	後田 真由美 (41) 平成31年4月	兼任	講師	後田 真由美 (42) 平成31年4月	兼任	講師	後田 真由美 (43) 平成31年4月
								関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
兼任	講師	清水 英里 (44) 平成29年4月 ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)															
			兼任	講師	小川 希子 (46) 平成29年4月 修士(学術) ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)	兼任	講師	小川 希子 (47) 平成29年4月 修士(学術) ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)	兼任	講師	小川 希子 (48) 平成29年4月 修士(学術) ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)	兼任	講師	小川 希子 (49) 平成29年4月 修士(学術) ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)	兼任	講師	小川 希子 (49) 平成29年4月 修士(学術) ベトナム語入門(金 含む) ベトナム語応用(金 含む)
			兼任	講師	Vivak Paul Pinto(65) 平成29年4月 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)												
			兼任	講師	Christopher Thompson Litten (33) 平成29年4月 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)												
			兼任	講師	Buk Erio Garson (32) 平成29年4月 MA 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)	兼任	講師	Buk Erio Garson (33) 平成29年4月 MA 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)	兼任	講師	Buk Erio Garson (34) 平成29年4月 MA 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)	兼任	講師	Buk Erio Garson (35) 平成29年4月 MA 英語コミュニケーション A(入門) 英語コミュニケーション B(奨励)			
						兼任	准教授	光山(福井) 奈保子 (50) 平成30年4月 博士(学術) 経済成長をめぐる世界 の問題	兼任	准教授	光山(福井) 奈保子 (51) 平成30年4月 博士(学術) 経済成長をめぐる世界 の問題	兼任	准教授	光山(福井) 奈保子 (52) 平成30年4月 博士(学術) 経済成長をめぐる世界 の問題	兼任	准教授	光山(福井) 奈保子 (53) 平成30年4月 博士(学術) 経済成長をめぐる世界 の問題

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の過半数**を記入してください。
・ 専任(専門職大学院等は専、兼、兼(甲)、兼(乙))、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度の表は適宜削除し、詰めてください。)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・現勤務先における業務都合のため、矢島大介教授の就任時期が平成29年4月より平成29年10月に遅延。
- ・加藤康幸教授の就任時期が平成30年4月から平成29年9月に前倒し。
- ・自己都合により、上野俊昭教授が退職。「器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系)」は河島雅到教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。「総括講義」の担当を桂研一郎教授に変更。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、梶井真里子教授が就任辞退。担当は大和田倫孝教授に変更予定。(開講前年度の平成31年度に教員審査を受審予定。)
- ・現勤務先における業務都合のため、北川道弘教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、佐伯直勝教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西澤俊宏教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹田秀教授が就任辞退。「器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)」は全泰和准教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹中恒夫教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、石黒洋教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡田唯男教授が就任辞退。当該実習科目2科目は教授3、講師1、助教1の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、淵本康史教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、丸丸直嗣教授が就任辞退。後任に小野澤瑞樹准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村俊康教授の就任時期が平成29年4月より平成33年4月に遅延。
- ・自己都合により、真鳥任史教授が就任辞退。担当は高橋謙治教授に変更。平成29年1月教員審査済み。
- ・河村和弘教授の就任時期が平成31年4月から平成30年4月に前倒し。
- ・自己都合により、松田義雄教授が就任辞退。当該実習科目3科目は教授4、准教授2、助教2の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、臼井智彦教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、布山裕一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宇佐美真一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅵ(感覚器系)」、「老年医学」、「総合臨床医学」及び「臨床診断入門」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、今西順久教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・自己都合により、小坂正明教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、石崎憲教授の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、堀武生教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、横川徳造教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、Imran Raza Jawaid准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年5月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、長邊裕貴准教授が就任辞退。後任に村田一素教授を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、長友祐司准教授が就任辞退。後任に福田浩二教授を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、全泰和准教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉田知彦准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大和田千桂子准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅹ(血液系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、林信太郎准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年8月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉内裕絵准教授が就任辞退。後任に山田祐講師を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、橋本佐准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鳥岡慶准教授が就任辞退。後任に吉岡大輔講師を充てる。平成28年12月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、木原真紀准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、茂木英明准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、北尻真一郎准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮垣朝光准教授が就任辞退。後任に森村壮士講師を充てる。「総合臨床医学」の担当については今後教員審査受審予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、大原博敏准教授の就任時期が平成33年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村京太准教授が就任辞退。後任に馬場靖子准教授を充てる。平成28年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、加藤容二郎准教授が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、鈴木伸雅准教授が就任辞退。
- ・現勤務先の業務都合により、足立雅之准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。また、一部科目について担当者変更し、「総合臨床医学」についてはオムニバス担当6回分を海老沼教授が担当する。平成30年度中に教員審査受審予定。「医療プロフェッショナルズⅠ(入門)」、「医療プロフェッショナルズⅡ(応用)」、「医療プロフェッショナルズⅢ(発展)」、「医療面接・身体診察Ⅰ(入門)」、「医療面接・身体診察Ⅱ(応用)」及び「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の6科目は、いずれもグループ学習を行う共同授業科目であり、医学教育統括センター所属教員でカバーすることで対応する。よって後任の補充は特に行わなくても教育上の支障はないと考える。
- ・志賀隆准教授の就任時期が平成30年4月から平成29年7月に前倒し、このため、「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は専任教員として担当する。
- ・自己都合のため、内藤雄一郎准教授が就任辞退。後任に鳥島利奈准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・川岸久太郎准教授が平成29年4月着任。平成28年10月教員審査済み。
- ・遠藤史郎准教授が平成29年7月着任。平成29年3月教員審査済み。
- ・井上寧講師が職位変更で准教授に。平成28年11月教員審査済み。
- ・教育効果を考慮し、化学に湯澤聰講師を追加。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Do Nguyen-Van講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Hitar Hitar Soe講師が就任辞退。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、後任の補充は不要と考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、Purevdorj B. Olkhanud講師の就任時期が平成29年4月より平成29年9月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Hsiao-Lin Huang講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・自己都合により、Butterfield JeffrieLeigh講師が就任辞退。後任に井之川陸美講師及び早坂祐介講師を充てる。いずれも平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、椎井真吾講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西山信大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大西俊一郎講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村怜講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、松瀬大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、澤本良子講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、木村大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、川島宏詮講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、上原孝紀講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、長谷川康講師の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅲ(消化器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、菊池弘人講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中島崇裕講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木秀海講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、若宮富浩講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高峰講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、辰巳智章講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮川麻衣子講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村豪謙講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鳥海正博講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高橋渉講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。「器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、Chiung-WenKuo講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、手塚修一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合のため、川又電講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・自己都合のため、増淵達夫講師が就任辞退。医学部の教育に対しては病院勤務医師の兼任准教授として携わる。
- ・現勤務先における業務都合のため、酒井元講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「総合臨床医学」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉原一文講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、古川智一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、榎原雅治講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、緒方敦之講師が就任辞退。後任に吉岡隆講師を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、河村陽一郎講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、福島司講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、菅田陽太講師が就任辞退。後任に吉岡陽講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Tseesod Ariunaa助教の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。

- ・現勤務先における業務都合のため、Pham Duy Tai助教の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木健一助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高柳晋助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、細田豊助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡本宗史助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、劉軒助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中山政憲助教の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、埜真輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、河原井麗正助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、木内智喜助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、梶田大樹助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、桑原大輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Thet Pe Win助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、瀬川知助教が就任辞退。後任に市来智子講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、金子真也助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、西尾信哉助教の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。「基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、徳永聡助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、都隆助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木亮太助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木愛助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、?蕊助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・鈴木知子助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・葛西貴広助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・Hasan Arif Ul助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・Rahman Md Asadur助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・医学史の授業内容を精神科医の立場から補強するため、兼任で鹿島晴雄教授が担当。
- ・教育効果を考慮し、「国際機関論」を兼任で等々力講任教授が担当。
- ・清宮正徳准教授(兼任)の負担軽減のため、「化学」の担当に湯澤聰講師に交代。
- ・茅野正雄講師(兼任)の負担軽減のため、稲田朋児講師(兼任)、品川なぎさ講師(兼任)、山元一晃講師(兼任)、加藤林太郎講師(兼任)が日本語科目を追加。
- ・「現代日本～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～」を科目として追加したことにより、兼任で木村伊量特任教授が担当。
- ・現勤務先における業務都合のため、Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim兼任講師の就任辞退。後任に東風谷太一兼任講師を充てる。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡野賢二兼任講師の担当科目の一部を、大澤幸子兼任講師が担当する。
- ・清水英里兼任講師が自己都合により就任辞退。後任に小川有子兼任講師を充てる。
- ・村上大介兼任講師が本学在籍となったため、職位等を変更。
- ・英語教員の負担軽減のため、英語コミュニケーションA・Bの担当教員に、VivekPaul兼任講師、Christopher Thompson Litten兼任講師、BuckEric兼任講師を追加。

【平成30年度】

- 自己都合により宮本幸一教授が退職。
- 勤務先との調整により、山崎力教授の就任が前倒しとなり、平成30年4月となった。
- 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部専任教員となるため、川上和久教授が異動。なお、担当する「英字新聞で読む社会学・政治学」は兼任として対応する。
- 現勤務先との調整により、西澤俊宏教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- 現勤務先との調整により、竹中恒夫教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- 自己都合により朝本俊司教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 現勤務先との調整により、中村俊康教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年10月となった。
- 現勤務先との調整により、布山裕一教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年10月となった。
- 現勤務先の業務都合により、今西順久教授の就任時期が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
- 現勤務先との調整により、石崎憲教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- 現勤務先との調整により、奥仲哲弥教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- 平成30年3月、中尾睦宏教授就任。平成29年12月教員審査済。
- 平成30年2月、辻省次教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、菅野洋教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、唐仁原全教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、吉田雅博教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年1月、加藤正人教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、安心院 康彦教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、須田康文教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年1月、金澤文治教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年4月、和田雅治教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成29年10月、福田浩二准教授就任。平成29年8月教員審査済。
- 平成30年7月、北林耐教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- 平成30年7月、山内恵史教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- 平成30年1月、畠清彦教授就任。平成29年6月教員審査済。
- 平成29年10月、小林幸夫教授就任。平成29年6月教員審査済。
- 平成29年10月、北嘉昭教授就任。平成29年6月教員審査済。
- 平成29年10月、有山洋教授就任。平成29年6月教員審査済。
- 平成29年10月、石原聡一郎教授就任。平成29年6月教員審査済。
- 平成30年4月、岡本英輝教授就任。平成29年9月教員審査済。
- 自己都合により白石尚基教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 自己都合により児玉桂一教授が辞退。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 現勤務先の都合により、全泰和准教授の着任時期が平成30年4月から平成31年3月に遅延した。器官別統合講義IV（内分泌代謝系）は兼任として講義する。
- 自己都合により、林信太郎准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 現勤務先の都合により、鶴田雅士准教授の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- 自己都合により、井岡崇准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 自己都合により、栗田英治准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 自己都合により、石川雅之准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 自己都合により、門田行史准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- 自己都合により、Than Soe Lin講師が退職。担当科目は担当教員が充実しており、また共同授業のため、充分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- 現勤務先との調整により、Hsio-Lin Huang講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
- 平成30年2月、山根建樹准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、一瀬雅典准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、笹生豊准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、和田雅文准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、藤井正一准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、中川俊介准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、白井博之准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年4月、Ngatu Nlandu Roger 准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、本告成淳准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、矢嶋淳准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年4月、高岡栄一郎准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年2月、門田行史准教授就任。平成29年10月教員審査済。
- 平成30年7月、齋藤俊輔准教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- 平成30年7月、松岡亮介助教就任。平成30年3月教員審査申請中。

- ・現勤務先の都合により、Ariuntuul Garidkhuu講師の就任が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
 - ・現勤務先の都合により、平野佑樹講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
 - ・現勤務先の都合により、眞柳修平講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
 - ・現勤務先の都合により、菊池弘人講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
 - ・現勤務先との調整により、鳥海雅博講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
 - ・現勤務先の都合により、高橋渉の着任時期が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅲ（消化器系）は兼任として講義する。
 - ・自己都合により、吉岡史隆講師が退職。当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
 - ・現勤務先の都合により、福島司講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
 - ・現勤務先の都合により、細谷幸司講師の就任が平成30年4月から平成30年8月に遅延した。
 - ・現勤務先の都合により、森清人助教の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
 - ・平成30年2月、増淵達夫講師が兼担から専任として再就任。平成29年4月教員審査済。
 - ・平成30年2月、地引政利講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、黒木聖子講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、服部知洋講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、小川朋子講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、安積貴年講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、渡辺浩史講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、別所雅彦講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、古山桂太郎講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年4月、Muzembo Basilia Andre講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、坪井優講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年2月、福田朋晃講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年4月、MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年3月、Munkhtuya Tumurkhuu講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年3月、Edenetsogt Dungalbat講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年4月、田中真生講師就任。平成29年10月教員審査済。
 - ・平成30年3月、DEHAVEN, SHAWN MICHAEL講師就任。平成29年12月教員審査済。
 - ・平成30年3月、Kazi Selim Anwar講師就任。平成29年12月教員審査済。
- ・自己都合により、山口つ子助教が就任辞退。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されてるので後任措置はとらない。
- ・自己都合により、Pham Duy Tai助教が就任辞退により、後任に佐野美智子助教に交代。平成29年10月教員審査済。
- ・自己都合により、諫見有紀助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、河合徹助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、姜紅助教の就任年月がH30年4月からH31年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、岡本宗史助教の就任年月がH30年4月からH32年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、山田純子助教が就任年月がH29年4月からH32年4月に遅延。
- ・勤務先との調整の結果、西尾信哉助教の着任がH32年4月からH31年4月に前倒しとなった。
- ・自己都合により、柳裕代助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・平成30年7月、佐藤可野助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、中島理奈助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年2月、木村聖美助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上原燈紀子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、福留潤助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、村上文祥助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、杉崎顕史助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、小川明子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、梅田和敬助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、関広幸助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋西助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、齊藤大樹助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上田竜大助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、榮利昌助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、佐野美智子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、吉永隆助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、機員宜広助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋（笠島）冴子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、柘植俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、三浦俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、今井俊一助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、中太淳平助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、山崎薫子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、柿沼薫助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Darimaa Ganbat助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、Byambatsuren Jambaljay助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、武藤（森村）真由子助教就任。平成29年12月教員審査済。
- ・現職場の都合により、高峰講師が就任辞退。交代として平成30年3月、楊徳剛助教就任。平成29年12月教員審査済。

【令和元年度】

- ・自己都合により、北村聖教授が退職。
- ・自己都合により、小堀浩幸教授が退職。平成30年9月に就任した村瀬真一教授が小堀教授の科目を担当する。平成30年6月教員審査済み。
- ・自己都合により、山田哲司教授が退職。担当科目は担当教員が充実しており、また共同授業のため、充分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、西澤俊宏教授の就任時期が前倒しとなり、平成30年10月となった。
- ・自己都合により、粟田卓也教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、荒川孝教授が退職。大東貴志教授が荒川教授の科目を担当する。(科目審査済み)
- ・自己都合により、太田喜久夫教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・現勤務先の都合により、今西順久教授の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義区(感覚器系)、腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)は兼任として講義する。
- ・現勤務先の業務都合により、石崎憲教授の就任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。
- ・自己都合により、安心院康彦教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、石原聡一郎教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・平成30年7月、馬場靖子教授就任。平成30年3月教員審査済。(平成28年12月に教員審査を受け准教授として平成29年4月に就任済。)
- ・平成30年6月、村瀬真一教授就任。平成30年9月教員審査済。
- ・平成30年6月、中江洋教授就任。平成30年9月教員審査済。
- ・平成31年4月、種本雅之教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、種本雅之教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年2月、岡田智志教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成31年4月、多田裕司教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年2月、末永昭彦教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・平成30年9月、中嶋秀樹講師就任。平成30年6月教員審査済。
- ・自己都合によりBrian SanjayHeist准教授が辞退。担当科目は共同授業のため、充分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・自己都合によりMCLAUGHLIN MATTHEW JAMES講師が辞退。担当科目は共同授業のため、充分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、全泰和准教授の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義IV(内分泌代謝系)は兼任として講義する。
- ・自己都合により、吉岡大輔講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・現勤務先の業務都合により、佐藤一進准教授の就任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。
- ・自己都合により、中村聡准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・自己都合により、鳥巢利奈准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、遠藤史郎准教授が退職。平成30年4月に就任したKazi Selim Anwar講師が科目を担当する。平成29年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、藤井正一准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により、齋藤俊輔准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・平成31年1月、船尾陽生准教授就任。平成30年10月教員審査済。(平成28年12月に教員審査を受け講師として平成29年4月に就任済。)
- ・平成31年1月、中山政憲講師就任。平成30年10月教員審査済。(平成28年12月に教員審査を受け助教として平成29年4月に就任済。)
- ・平成31年1月、竹島憲一准教授就任。平成30年10月教員審査済。(平成28年12月に教員審査を受け助教として平成29年4月に就任済。)
- ・平成31年4月、相澤義泰准教授就任。平成30年12月教員審査済。
- ・平成31年1月、留野渉准教授就任。平成30年10月教員審査済。
- ・自己都合によりPurevdorj B. Oikhanud講師が就任辞退。平成30年4月に就任した中尾睦宏教授が科目を担当する。平成29年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、Hsiao-Lin Huang講師が退職。平成30年4月に就任したNgatu Nlandu Roger准教授、平成30年3月にMuzembo Basilia Andre講師が科目を担当する。2名は平成29年10月教員審査済み。
- ・自己都合により吉村怜講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・自己都合により松瀬大講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・現勤務先の都合により、長谷川康講師の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅲ(消化器系)は兼任として講義する。
 - ・自己都合により谷口隆志講師が退職。担当科目は盲谷誠教授が担当する。
 - ・自己都合によりChiung-Wen Kuo講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、榊原雅裕講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、河村陽一郎講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、平成29年に就任辞退した手塚修一講師が、平成31年4月再就任した。
 - ・平成31年1月、高木祐介講師就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年1月、大橋(木下)陽子講師就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年4月、大倉直樹講師就任。平成30年12月教員審査済。
 - ・平成31年1月、半田聡講師就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年1月、高橋(宍戸)英穂美講師就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・自己都合により、Tseesodroitsoo Ariunaa講師が就任辞退。平成30年4月に就任したNgatu Nlandu Roger准教授、平成30年3月にMuzembo Basilia Andre講師が後任を担当する。2名は平成29年10月教員審査済み。
 - ・現勤務先との調整により、河原井麗正助教の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
 - ・現勤務先との調整により、木内智善助教の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
-
- ・自己都合により劉軒助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、岩堀浩也助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、平馬誠之助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・現勤務先の都合により、西尾信哉助教の着任時期が平成31年4月から令和2年4月に遅延した。基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)は平成30年3月に就任したMunkhtuya Tumurkhuu講師が講義する。
- 平成29年10月教員審査済み。
- ・自己都合により徳永聡助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により黒木愛助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、Rahman Md Asadur助教が退職。
 - ・自己都合により、木村聖美助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、齊藤大樹助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、榮利昌助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、高橋(笠島)芽子助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、三浦俊介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、中太淳平助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 - ・自己都合により、武藤(森村)真由子助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
-
- ・平成31年4月、向井秀幸助教就任。平成30年12月教員審査済。
 - ・平成31年4月、伊藤文人助教就任。平成30年12月教員審査済。
 - ・平成31年1月、加藤孝征助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成30年9月、鎌田稔子助教就任。平成30年6月教員審査済。
 - ・平成31年4月、山本謙太郎助教就任。平成30年12月教員審査済。
 - ・平成31年1月、松倉満助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年4月、森田知孝助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年1月、須藤大輔助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成30年9月、大村和也助教就任。平成30年6月教員審査済。
 - ・平成31年1月、福井慶介助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成31年1月、齋藤傑助教就任。平成30年10月教員審査済。
 - ・平成30年9月、高松 裕一郎助教就任。平成30年6月教員審査済。

【令和2年度】

- 自己都合により飯野(池田)啓子教授が退職。担当科目のうち生物学・医療生物学・基礎医学総論Ⅳ(生理学)は岡本秀彦教授、兼担松野義晴教授が担当する。他の科目については共同授業であり、多数の教員が配置されているため、十分にカバーが可能である。後任者は現在公募中。
- 自己都合により森田林平教授が退職。担当科目は河上裕教授、岡本秀彦教授、兼任百島祐貴講師が担当する。
- 自己都合によりNwe Nwe Oo教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能である。後任者は、7月に就任予定。
- 自己都合により石川和信教授が退職。担当科目のうち、臨床診断入門は吉田素文教授に担当変更、その他の担当科目は共同授業のため十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 自己都合により北川道弘教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により川上和久教授が退職。担当科目は高須賀茂文教授、村上大介教授が担当する。
- 自己都合により仲村輝也教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により松本拓也教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により高橋謙治教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により草野修輔教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により水野晴大教授が退職。担当科目のうち胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)は7月に後任者が就任予定である。その他の担当科目は共同授業のため十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により高野雅彦教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により宇佐美真一教授が就任辞退。担当科目はいずれも多数の教員が配置された共同授業と実習であり、配置済みの教員と追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により蒔田達史教授が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により村田一素教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により北林耐教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により有山淳教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により岡本英輝教授が退職。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されているので十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 令和元年7月、石川雄一教授就任。平成31年3月教員審査済。
- 令和元年7月、藤本一真教授就任。平成31年3月教員審査済。
- 令和元年7月、山中寿教授就任。平成31年3月教員審査済。
- 令和元年7月、山田芳嗣教授就任。平成31年3月教員審査済。
- 令和元年7月、河上裕教授就任。平成31年3月教員審査済。
- 令和元年9月、井上博之教授就任。令和元年6月教員審査済。
- 令和2年4月、下川宏明教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年2月、笠原英子教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年4月、河合弘二教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年3月、先崎秀明教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年4月、杉村宏一郎教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年4月、末廣栄一教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年4月、井上高光教授就任。令和元年10月教員審査済。
- 令和2年4月、森直樹教授就任。令和元年12月教員審査済。
- 令和2年10月、Miyat Thandar教授就任。令和元年12月教員審査済。
- 令和2年4月、丸茂丈史教授就任。令和元年12月教員審査済。
- 令和2年4月、黨康夫教授就任。令和元年12月教員審査済。
- 令和2年4月、寺田二郎教授就任。令和元年12月教員審査済。
- 自己都合により全泰和准教授が就任辞退。器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)は兼任として講義し、実習科目は、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により茂木英明准教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により北原真一郎准教授が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により林省吾准教授が退職。担当科目はいずれも共同科目または実習であり、配置済みの教員と、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により足立雅之准教授が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により和田崇文准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合によりNgatu Nlandu Roger准教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 自己都合により矢嶋淳准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。

- ・令和元年9月、寺田芳樹准教授就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和2年4月、渡部（中世古）玲子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、加藤（杉山）倫子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、片岡史夫准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、高橋美和子准教授就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、山下健太郎准教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、高本偉碩准教授就任。令和元年12月教員審査済。
- ・自己都合によりDo Nguyen-Van講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合によりAung Thiha講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合によりMiynt Thazin Aung講師が就任辞退。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により宮田直輝講師が退職。器官別統合講義Ⅲ（消化器系）は兼任として講義し、実習科目は、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により西山信大講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により市村康典講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により上原孝紀講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により長谷川康講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により中島崇裕講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により鈴木秀海講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により辰巳智章講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により吉村豪兼講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高橋涉講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により亀掛川喜美子講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により酒井元講師が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により稲島司講師が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により稲田朋児講師が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により高木祐介講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高橋（穴戸）菜穂美講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・令和元年7月、石田隆講師就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和2年4月、山下力講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、井原基公講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年1月、千葉拓世講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、田島拓講師就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、伴由布子講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、中川良講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、遠山哲夫講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、黒住献講師就任。令和元年12月教員審査済。
- ・自己都合により鈴木健一助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高柳晋助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により鋪野紀好助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により岡本宗史助教が就任辞退。担当科目は多数の教員が配置された共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により埴真輔助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により堀田大樹助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により桑原大輔助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合によりThet Pe Win助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により佐竹 洋之助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により山田純子助教が就任辞退。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により小川裕介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により西尾信哉助教が就任辞退。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により吉永隆助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により中島理奈助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により今井俊一助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により橋徳剛助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により向井秀幸助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。また、実習科目については、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により松倉滿助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により森田知孝助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により齋藤傑助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により高松裕一郎助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・令和元年7月、赤塚太郎助教就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年7月、岡愛子助教就任。平成31年3月教員審査済。
- ・令和元年9月、石井名実子助教就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和元年9月、小林真麻助教就任。令和元年6月教員審査済。
- ・令和2年1月、山田晋之介助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Jambaldorj Jamiyansuren助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、佐藤愛子助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Sayama Lkhagvadorji助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、Mary Raina Angeli Abad助教就任。令和元年10月教員審査済。
- ・令和2年4月、平澤康孝助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、木下拓助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、竹蓋清高助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、竹下友一郎助教就任。令和元年12月教員審査済。
- ・令和2年4月、Katrina Fanjul助教就任。令和元年12月教員審査済。

【令和3年度】

- 自己都合により渡邊治雄教授が退職。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されているため、十分にカバーが可能である。
- 自己都合により佐伯直勝教授が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 定年により石川三衛教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により石島洋教授が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により加藤厚教授が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により石川成美教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により布山裕一教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 定年により縄野繁教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により重政朝彦教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により黒根巳教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により園友隆二教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 定年により西山誠教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により金澤丈治教授が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により北高昭教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 入国遅延のため、Miyat Thandar教授の就任時期が令和2年10月より令和3年6月に遅延。

- 令和2年7月、旗義仁教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、館野馨教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、坂本昌也教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、野見山崇教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、柴友明教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、大西かよ子教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年9月、矢永勝彦教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、林真一郎教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、伊藤鉄英教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、井上和明教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、藤本善英教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、篠田昌宏教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、真鍋晋教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、石井直弘教授就任。令和2年5月教員審査済。

- 令和3年1月、國弘伸教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、高梨秀一郎教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、土橋洋教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、江幡重人教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、河野達郎教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、大澤陽介教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、上田和教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、前田剛志教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年4月、中村昌太郎教授就任。令和2年12月教員審査済。
- 令和3年4月、宮下徹也教授就任。令和2年12月教員審査済。
- 令和3年4月、國松聡教授就任。令和2年12月教員審査済。
- 令和3年4月、矢田浩崇教授就任。令和2年12月教員審査済。

- 契約満了によりImran Raza Jawai准教授が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により左村和宏准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により本告成淳准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により高橋美和子准教授が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 令和2年7月、中山崇准教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、上原平准教授就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年9月、田中達也准教授就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和3年1月、渡邊和佳子准教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、後関利明准教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、和田啓伸准教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、相澤健太郎准教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、道脇悠平准教授就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年4月、大茂茂樹准教授就任。令和2年12月教員審査済。

- 自己都合により林真理子講師が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 定年により井之川登美講師が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 契約満了によりMartin, Barnabas Jon講師が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により島海正博講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合によりMuzembo Basilia Andre講師が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 自己都合により坪井優講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 契約満了によりMunkhtuya Tumurkhuu講師が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 契約満了によりDEHAVEN, SHAWN MICHAEL講師が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 定年によりKazi Selim Anwar講師が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により山下力講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により中川良講師が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- 自己都合により市来智子講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- 令和2年7月、Lkhagvasuren Battuvshin講師就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、遠藤拓郎講師就任。令和2年3月教員審査済。
- 令和2年7月、島田理子講師就任。令和2年3月教員審査済。

- 令和2年9月、林雄一郎講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、内山宗人講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、吉澤彰宏講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、梶村いちげ講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、乙成淳講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和2年9月、藤井(西村)瑤子講師就任。令和2年5月教員審査済。
- 令和3年1月、久保仁講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、田部井勇助講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、渡部佳弘講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、吉田純子講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、加藤文彦講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、黒部匡広講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年1月、永吉(赤須)陽子講師就任。令和2年9月教員審査済。
- 令和3年4月、宮宗秀伸講師就任。令和2年12月教員審査済。
- 令和3年4月、山添真治講師就任。令和2年12月教員審査済。
- 令和3年4月、富永奈保美講師就任。令和2年12月教員審査済。

- ・契約満了によりKhatiwada Januka助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合によりTamerlan Babayev助教が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・契約満了によりVitalii Lythnev助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により森清人助教が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合によりGu Rui助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により山田祐助教が退職。担当科目は実習、共同授業であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により関広幸助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により上田憲大助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により柘植俊介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・契約満了によりDarimaa Ganbat助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・契約満了によりByambastseren Jambaljav助教が退職。担当科目は共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
- ・自己都合により福井慶介助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・自己都合により小林真麻助教が退職。担当科目は実習であり、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・入国遅延のため、Jambaldorj Jamiyansuren助教の就任時期が令和2年4月より令和3年6月に遅延。
- ・入国遅延のため、Sayamaa Lkhagvadorji助教の就任時期が令和2年4月より令和3年6月に遅延。
- ・自己都合によりKatrina Fanjul助教が退職。担当科目は共同授業のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
- ・令和2年7月、杉本一将助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、塚田洋樹助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、木内達助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、門間雄斗助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、田島寛之助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、井桁龍平助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、梶有貴助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年7月、YANG, MENGHAN助教就任。令和2年3月教員審査済。
- ・令和2年9月、皆川卓也助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和2年9月、伊藤(植田)由依助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和2年9月、大迫鑑顕助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和2年9月、井坂由莉助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和2年9月、内藤千絵助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和2年9月、佐藤公一助教就任。令和2年5月教員審査済。
- ・令和3年1月、萬納寺英里助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年1月、瀧澤玲央助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年1月、金井健吾助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年1月、木村俊郎助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年1月、中村賢助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年1月、清田康弘助教就任。令和2年9月教員審査済。
- ・令和3年4月、Dewa A. P. RasmikaDewi助教就任。令和2年12月教員審査済。
- ・令和3年4月、福岡良磨助教就任。令和2年12月教員審査済。
- ・令和4年4月、Dovile Naruseviciute助教就任。令和2年12月教員審査済。
- ・令和3年4月、Vo Kim Cat tuyen助教就任。令和2年12月教員審査済。

【令和4年度】

自己都合により岡部輝雄教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 定年により小山一憲教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 定年により内海裕也教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 定年により加藤宏之教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 定年により菅野洋教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により旗義仁教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により寺田二郎教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により先崎秀明教授が退職。追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 自己都合により國弘幸伸教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により高本偉准教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により木原真紀准教授が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により碓井真吾講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により黒木聖子講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により半田聡講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により大倉直樹講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により井原公講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により伴由希子講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により乙成淳講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合によりFlorescu Mihail Cosmin講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により遠山哲夫講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により山添真治講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合によりTakada-Latchford Jason Pau講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により佐藤智幸講師が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合によりHasan Arif Ul助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により田中宏一教授が退職。追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 自己都合により河村和弘教授が退職。追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 自己都合によりVo Kim Cat tuyen助教が退職。担当科目は実習科目のため、追加申請し教員審査を受けた教員でカバーする。
 自己都合によりChu, Johnny Tim助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。

自己都合により森清人助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合によりChoomplang Mattdech助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により細田豊助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により山田謙太助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合によりMary Raina Angeli Abad助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により平澤孝助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により木下拓助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により塚田洋樹助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により井坂由利助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により内藤千絵助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により木村俊助助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により河原井 麗正助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により村上 文梓助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。
 自己都合により井坂 栄作助教が退職。担当科目は共同科目のため、十分にカバーが可能であり、後任措置は取らない。

令和3年7月、藤井知行教授就任。令和3年3月教員審査済。
 令和3年9月、大谷俊郎教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、稲垣喜三教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、松野彰教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、安藤哲也教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、山根文孝教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、藤井克則教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、大山健一教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、下地一彰教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、正岡洋平教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、中山徹三准教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和4年1月、小野田恵介教授就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年1月、船橋伸禎教授就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年1月、三木明徳教授就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年1月、岩佐宏晃教授就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年4月、濱田利久教授就任。令和3年12月教員審査済。
 令和3年7月、Ahmed E. Hegab准教授就任。令和3年3月教員審査済。
 令和3年9月、小無田美菜准教授就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年7月、三沢彰講師就任。令和3年3月教員審査済。
 令和3年7月、上田浩平講師就任。令和3年3月教員審査済。
 令和3年9月、椎間優子講師就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、池田尚平講師就任。令和3年5月教員審査済。
 令和4年1月、齋藤友宏講師就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年4月、古館佐起子講師就任。令和3年12月教員審査済。

令和3年9月、田村創助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、藤田成人助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、三木景太助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、Garcia, Evan Arnon助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、Pijanowska Marta助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和3年9月、Chu, Johnny Tim助教就任。令和3年5月教員審査済。
 令和4年1月、小林達彦助教就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年1月、柳田靖子助教就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年1月、藤原廣助教就任。令和3年9月教員審査済。
 令和4年4月、岡晋一郎助教就任。令和3年12月教員審査済。

- (注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
160 名	80 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
156	49	57	45	307	0	186	54	60	64	364	5
(147)	(44)	(49)	(37)	(277)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
186	54	60	64	364	5	186	54	60	64	364	5
[30]	[5]	[3]	[19]	[57]	[5]	[30]	[5]	[3]	[19]	[57]	[5]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	19 名	19 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{364}{307} = \boxed{118.56} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{19}{364} = \boxed{5.21} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1	教授	上野 俊昭	H. 29. 3	必修	器官別統合講義Ⅶ (脳神経・精神系)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	総括講義	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①					
2	教授	桃井 真理子	H. 29. 3	自由	関連職種連携実習	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
3	教授	竹田 秀	H. 29. 3	必修	器官別統合講義Ⅳ (内分泌代謝系)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①					
4	教授	岡田 唯男	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
5	教授	市丸 直嗣	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
6	教授	眞島 任史	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
7	教授	松田 義雄	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①					
8	教授	小坂 正明	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
9	教授	堀 武生	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
10	教授	横川 徳造	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
11	准教授	田邊 裕貴	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
12	准教授	長友 祐司	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
13	准教授	吉内 裕絵	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
14	准教授	鳥飼 慶	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
15	准教授	宮垣 朝光	H. 29. 3	必修	総合臨床医学	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
16	准教授	中村 京太	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
17	准教授	加藤 容二郎	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
18	准教授	鈴木 伸嘉	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
19	准教授	内藤 雄一郎	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため (29)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
20	講師	Htar Htar Soe	H. 29. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため (29)
				必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
21	講師	Nguyen Duy Phong	H. 29. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
22	講師	Butterfield, Jeffrie Leigh	H. 29. 3	必修	英語Ⅰ（入門）	①	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退（29）
				必修	英語Ⅱ（応用）	①	
				自由	英語コミュニケーションA（入門）	①	
				自由	英語コミュニケーションB（実践）	①	
必修	医学英語	①					
23	講師	澤本 良子	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
24	講師	宮川 麻衣子	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
25	講師	手塚 修一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
26	講師	川又 竜	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	③	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	③	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	
27	講師	吉原 一文	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
28	講師	古川 智一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
29	講師	増淵 達夫	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	②	H. 29. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退（29）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	②	
30	講師	緒方 敦之	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
31	助教	菅田 陽太	H. 29. 3	必修	医療入門・正常解剖演習	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
				必修	基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	①	
				必修	正常人体解剖実習	①	
32	助教	郡 隆輔	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：現勤務先における業務都合のため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
33	助教	瀬川 知	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
34	助教	金子 真也	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
35	教授	児玉 桂一	H. 29. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H. 29. 3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため（29）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
36	講師	眞柳 修平	H30. 3	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため（30）
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
37	講師	菊池 弘人	H30. 3	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため（30）
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
38	講師	高峰	H30. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 3 就任辞退：現勤務先の都合のため（30）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
39	講師	CHEN CHIH-YU	H30. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H30. 3 就任辞退：自己都合による就任辞退（30）
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
40	講師	森原 啓文	H30.3	必修	医学英語	①	H30.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
				必修	英語Ⅰ(入門)	①	
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	①	
			必修	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	①		
41	助教	山口 るつ子	H30.3	必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	H30.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
42	助教	Pham Duy Tai	H30.3	自由	海外医療体験	①	H30.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
43	助教	後藤 理人	H30.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.3 就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
44	准教授	Brian Sanjay Heist	H31.3	必修	医学英語	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	①	
45	講師	Purevdorj B. Olkhanud	H31.3	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	国際医療保健学Ⅱ(応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
				必修	予防医学・行動科学	①	
46	講師	吉村 怜	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
47	講師	河村 陽一郎	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
48	講師	松瀬 大	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
49	講師	Chiung-Wen Kuo	H31.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
50	助教	徳永 聡	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
51	助教	黒木 亮太	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
52	助教	黒木 愛	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
53	助教	Tseesodroltsoo Ariunaa	H31.3	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	
54	助教	劉 軒	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
55	教授	北川道弘	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
56	教授	宇佐美真一	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅹ （感覚器系）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	老年医学	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
57	教授	坂田泰彦	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
58	准教授	全泰和	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
59	准教授	茂木英明	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
60	准教授	北尻真一郎	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅱ （分子生物学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
61	准教授	足立雅之	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
62	講師	Do Nguyen-Van	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅷ （病理学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	基礎医学総論Ⅸ （病理学演習）	①	
63	講師	Aung Thiha	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅷ （病理学）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	基礎医学総論Ⅸ （病理学演習）	①	
64	講師	Myint Thazin Aung	R2.3	必修	感染症	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
65	講師	西山信大	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
66	講師	市村康典	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
67	講師	上原孝紀	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
68	講師	長谷川康	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
69	講師	中島崇裕	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
70	講師	鈴木秀海	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
71	講師	辰巳智章	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	
72	講師	吉村豪兼	R2.3	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退（2）
				必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
73	講師	高橋 渉	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅱ (呼吸器系)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	器官別統合講義Ⅲ (消化器系)	①							
				必修	器官別統合講義Ⅴ (腎泌尿器系)	①							
				必修	腫瘍と臨床(放射線 治療・緩和)	①							
				必修	総合臨床医学	①							
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
74	講師	酒井元	R2.3	必修	総合臨床医学	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①							
75	講師	稲島司	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
76	講師	山本健太郎	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
77	助教	鈴木健一	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
78	助教	高柳晋	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
79	助教	鋪野紀好	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
80	助教	岡本宗史	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
				必修	総合臨床医学	①							
81	助教	埴真輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
82	助教	梶田大樹	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
83	助教	桑原大輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
84	助教	Thet Pe Win	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
85	助教	山田純子	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
86	助教	西尾信哉	R2.3	必修	基礎医学総論Ⅱ (分子生物学)	①	R2.3 就任辞退：自己都合による就任辞退(2)						
合計(D)					後任補充状況の集計(E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
86	人	必修	38	科目	必修	32	科目	必修	3	科目	必修	3	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	4	科目	自由	4	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	42	科目	計	36	科目	計	3	科目	計	3	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	朝本 俊司	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
2	准教授	林 信太郎	H29. 9	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 9 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
3	准教授	井岡 崇	H30. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
4	准教授	栗田 英治	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
5	准教授	石川 雅之	H30. 3	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
6	講師	Than Soe Lin	H30. 3	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
				必修	予防医学・行動科学	①	
7	講師	柳 裕代	H30. 3	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
8	助教	諫見 有紀	H29. 10	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H29. 10 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
9	助教	河合 徹	H29. 10	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H29. 10 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
10	講師	吉岡 史隆	H29. 7	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	H29. 7 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
11	教授	白石 尚基	H30. 2	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	H30. 2 自己都合退職したため(30)
				必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
12	教授	川上 和久	H30. 4	自由	英字新聞で読む社会学・政治学	②	H30. 4 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の専任教員に就任のため(30)
				必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	
				必修	社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）	①	
				必修	社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	①	
				必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	
13	教授	宮木 幸一	H30. 3	必修	社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）	①	H30. 3 自己都合退職したため(30)
				必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	
				必修	総括講義	①	
				必修	医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）	①	
				自由	海外医療体験	①	
14	教授	北村 聖	H31. 3	自由	海外医療体験	①	H31. 3 自己都合退職したため(元)
				選択	医学史	①	
				必修	医療入門・正常解剖演習	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
15	教授	小堀 浩幸	H31.3	必修	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	
16	教授	山田 哲司	H30.8	必修	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	①	
				必修	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	
				必修	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
17	教授	安心院 康彦	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
18	教授	石原 聡一郎	H30.9	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.9 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
19	教授	粟田 卓也	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
20	教授	荒川 孝	H31.3	必修	総合臨床医学	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
21	教授	太田 喜久夫	H31.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
22	准教授	鳥巢 利奈	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
23	准教授	遠藤 史郎	H31.3	必修	感染症	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
24	准教授	齋藤 俊輔	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
25	准教授	藤井 正一	H30.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.12 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
26	准教授	中村 聡	H30.10	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.10 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
27	講師	中嶋 秀樹	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
28	講師	吉岡 大輔	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
29	講師	榊原 雅裕	H30.10	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.10 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
30	講師	MCLAUGHLIN MATTHEW JAMES	H31.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
31	講師	Hsiao-Lin Huang	H30.8	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	国際医療保健学Ⅱ(応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
32	講師	谷口 隆志	H30.12	必修	総合臨床医学	①	H30.12 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
33	助教	岩堀 浩也	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
34	助教	平馬 誠之	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
35	助教	木村 聖美	H30.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
36	助教	湊谷 豊	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
37	助教	齊藤 大樹	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
38	助教	高橋(笠島) 冴子	H31.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
39	助教	三浦 俊介	H30.8	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H30.8 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
40	助教	武藤(森村) 真由子	H31.4	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.4 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
41	助教	榮 利昌	H31.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	H31.3 自己都合退職したため(元)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
42	助教	Rahman Md Asadur	H30.12		なし		H30.12 自己都合退職したため(元)
43	助教	中太 淳平	H31.3		なし		H31.3 自己都合退職したため(元)
44	教授	飯野(池田)啓子	R2.3	自由	生物学	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	医療生物学	②	
				必修	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含))	①	
				必修	器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系)	①	
45	教授	森田林平	R元.6	必修	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	①	R元.6 自己都合退職したため(2)
				選択	医学史	②	
				自由	生物学	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
46	教授	Nwe Nwe Oo	R2.3	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	国際医療保健学Ⅱ(応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
47	教授	石川和信	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	
				必修	救急と集中治療	①	
				必修	麻酔	①	
				必修	臨床診断入門	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	①	
48	教授	仲村輝也	R2.4	必修	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	①	R2.4 自己都合退職したため(2)
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	
49	教授	松本拓也	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
50	教授	高橋謙治	R2.1	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.1 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
51	教授	草野修輔	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
52	教授	水野晴夫	R元.12	必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	R元.12 自己都合退職したため(2)
				必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含まず))	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床診断入門	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
53	教授	高野雅彦	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
54	教授	澁田達史	R2.3	必修	総合臨床医学	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	麻酔	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
55	教授	村田一素	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
56	教授	北林耐	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
57	教授	有山淳	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
58	教授	岡本英輝	R元.9	必修	総合臨床医学	①	R元.9 自己都合退職したため(2)
				必修	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
59	准教授	林省吾	R2.3	必修	医療入門・正常解剖演習	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	医療プロフェッショナルナリズムⅠ(入門)	①	
				必修	医療プロフェッショナルナリズムⅡ(応用)	①	
				必修	医療プロフェッショナルナリズムⅢ(発展)	①	
				必修	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	①	
				必修	正常人体解剖実習	①	
				選択	医学史	①	
60	准教授	和田崇文	R元.8	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R元.8 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
61	准教授	Ngatu Nlandu Roger	R2.3	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
				必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	
62	准教授	矢嶋 淳	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
63	講師	宮田直輝	R元.5	必修	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	②	R元.5 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
64	講師	亀掛川喜美子	R2.4	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.4 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
65	講師	稲田朋晃	R2.3	自由	日本語Ⅰ-A(作文)	②	R2.3 自己都合退職したため(2)
				自由	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅱ-A(作文)	②	
				自由	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅱ-C(発表討論)	②	
				自由	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	②	
				自由	日本語Ⅲ-A(作文)	②	
				自由	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	②	
				自由	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	②	
				自由	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	②	
				自由	医療福祉専門漢字	②	
66	講師	高木祐介	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
67	講師	高橋(央戸)菜穂美	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
68	助教	佐竹洋之	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
69	助教	小川裕介	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
70	助教	吉永隆	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
71	助教	中島理奈	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
72	助教	今井俊一	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
73	助教	楊徳剛	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
74	助教	向井秀幸	R2.3	必修	器官別統合講義Ⅴ (腎泌尿器系)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
75	助教	松倉満	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
76	助教	森田知孝	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
77	助教	齋藤傑	R2.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.3 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
78	助教	高松裕一郎	R元.11	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R元.11 自己都合退職したため(2)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
79	教授	渡邊治雄	R2.7	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	R2.7 自己都合退職したため(3)
				必修	国際医療保健学Ⅱ (応用)	①	
				必修	国際医療保健学Ⅲ (発展)	①	
80	教授	佐伯直勝	R2.6	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.6 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅷ (脳神経・精神系)	①	
81	教授	石黒洋	R2.9	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.9 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	腫瘍と臨床(放射線 治療・緩和)	①	
82	教授	加藤厚	R3.3	必修	器官別統合講義Ⅲ (消化器系)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	腫瘍と臨床(放射線 治療・緩和)	①	
83	教授	石川成美	R2.9	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.9 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
84	教授	布山裕一	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
85	教授	重政朝彦	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
86	教授	目黒知己	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
87	教授	國友隆二	R2.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.12 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
88	教授	金澤文治	R2.7	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.7 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅸ (感覚器系)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
89	教授	北嘉昭	R3.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
90	准教授	Imran Raza Jawaid	R2.6	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R2.6 契約満了退職したため(3)
				必修	英語Ⅰ(入門)	①	
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				必修	医学英語	①	
				必修	医療入門・正常解剖演習	①	
91	准教授	左村和宏	R2.9	必修	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	①	R2.9 自己都合退職したため(3)
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	①	
92	准教授	本告成淳	R2.9	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.9 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
93	准教授	高橋美和子	R2.5	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R2.5 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
94	准教授	門田 行史	R2.11	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.11 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
95	講師	Martin, Barnabas Jon	R3.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
				必修	医学英語	①	
96	講師	鳥海正博	R2.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
97	講師	Muzembo Basilua Andre	R2.9	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	R2.9 自己都合退職したため(3)
				必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
				必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	
98	講師	坪井優	R2.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.12 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
99	講師	Munkhtuya Tumurkhuu	R3.3	必修	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
100	講師	DEHAVEN, SHAWN MICHAEL	R3.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
101	講師	山下力	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
102	講師	中川良	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
103	講師	市来 智子	R3.4	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.4 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	①	
104	助教	Khatiwada Januka	R3.3	自由	臨床診断入門	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
				自由	海外医療体験	①	R3.3 契約満了退職したため(3)

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
105	助教	Tamerlan Babayev	R3.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				必修	医学英語	①	
				必修	医療入門・正常解剖演習	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
106	助教	Vitalii Lythnev	R3.3	自由	海外医療体験	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
107	助教	森清人	R3.4	必修	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	①	R3.4 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
108	助教	Gu Rui 顾蕊	R3.1	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.1 自己都合退職したため(3)
109	助教	山田祐	R3.3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	①	
110	助教	関広幸	R3.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
111	助教	上田竜大	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
112	助教	柘植俊介	R2.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R2.12 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
113	助教	Darimaa Ganbat	R3.3	必修	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
114	助教	Byambastseren Jambaljav	R3.3	必修	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	①	R3.3 契約満了退職したため(3)
115	助教	福井慶介	R3.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
116	助教	小林真麻	R3.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R2.8 自己都合退職したため(3)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
117	助教	Katrina Fanjul	R3.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R3.3 自己都合退職したため(3)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
				自由	海外医療体験	①	
118	教授	田中 宏一	R4.3	必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	①	
				必修	発生・出産	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
必修	臨床診断入門	①					

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
119	教授	河村 和弘	R4.3	必修	発生・出産	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
120	教授	岡部 輝雄	R3.6	必修	器官別統合講義Ⅰ	①	R3.6 自己都合退職したため(4)
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
121	教授	寺田 二郎	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	①	
122	教授	旗 義仁	R3.7	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.7 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
123	教授	國弘 幸伸	R3.7	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R3.7 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
124	教授	先崎 秀明	R3.12	必修	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	①	R3.12 自己都合退職したため(4)
				必修	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	
				必修	総合臨床医学	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
125	准教授	高本 偉碩	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
126	准教授	木原 真紀	R3.10	必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	R3.10 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	発生・出産	①	
				必修	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	①	
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
127	講師	遠山 哲夫	R3.12	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.12 自己都合退職したため(4)
				必修	総合臨床医学	①	
128	講師	山添 真治	R3.12	必修	臨床診断入門	①	R3.12 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
129	講師	碓井 真吾	R3.9	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.9 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	①	
130	講師	半田 聡	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	
				必修	器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系)	①	
131	講師	大倉 直樹	R4.3	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
132	講師	井原 基公	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	発生・出産	①	
133	講師	伴 由布子	R3.7	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.7 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	①	

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
134	講師	乙成 淳	R3.5	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.5 自己都合退職したため(4)
135	講師	Florescu Mihail Cosmin	R4.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
136	助教	河原井 麗正	R3.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.12 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	発生・出産 器官別統合講義Ⅵ (婦人科系(乳腺含む))	①	
137	助教	村上 文祥	R3.12	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.12 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
138	助教	Choomplang Nattadech	R3.6	自由	海外医療体験	①	R3.6 自己都合退職したため(4)
139	助教	細田 豊	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
				必修	胎児・小児の成長と 疾患(成育と臨床)	①	
140	助教	黒木 聖子	R3.9	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	R3.9 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
141	助教	山木 謙太郎	R3.5	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R3.5 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
142	助教	Mary Raina Angeli Abad	R3.7	必修	医療入門・正常解剖 演習	①	R3.7 自己都合退職したため(4)
				必修	医療面接・身体診察 Ⅰ(入門)	①	
				必修	医療面接・身体診察 Ⅱ(応用)	①	
				必修	医学英語	①	
				必修	医療プロフェッショ ナリズムⅠ(入門)	①	
				必修	医療プロフェッショ ナリズムⅡ(応用)	①	
				必修	医療プロフェッショ ナリズムⅢ(発展)	①	
				自由	海外医療体験	①	
				必修	英語Ⅰ(入門)	①	
				必修	英語Ⅱ(応用)	①	
143	助教	平澤 康孝	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
144	助教	木下 拓	R4.3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
145	助教	塚田 洋樹	R3.6	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.6 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
146	助教	井坂 由莉	R4.3	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
147	助教	内藤 千絵	R3.7	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	R3.7 自己都合退職したため(4)
				必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
				必修	胎児・小児の成長と 疾患(成育と臨床)	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
148	助教	木村 俊郎	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
149	助教	Hasan Arif UI	R4.3	必修	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)						
150	助教	Vo Kim Cat tuyen	R4.3	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)						
				必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①							
				必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①							
151	助教	Takada-Latchford Jason Paul	R4.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)						
				必修	英語Ⅱ(応用)	①							
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①							
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①							
				必修	医学英語	①							
152	助教	Chu, Johnny Tim	R4.3	必修	英語Ⅰ(入門)	①	R4.3 自己都合退職したため(4)						
				必修	英語Ⅱ(応用)	①							
				自由	英語コミュニケーションA(入門)	①							
				自由	英語コミュニケーションB(実践)	①							
				必修	医学英語	①							
合計(F)					後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
152	人	必修	47	科目	必修	45	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	18	科目	自由	5	科目	自由	13	科目	自由	0	科目
		計	67	科目	計	51	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
238	人	必修	85	科目	必修	77	科目	必修	5	科目	必修	3	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	22	科目	自由	9	科目	自由	13	科目	自由	0	科目
		計	109	科目	計	87	科目	計	19	科目	計	3	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{238}{307} = 77.52 \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

39 人

- (注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	石川三衛	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R3.3 定年退職したため（3）			
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
2	教授	縄野繁	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R3.3 定年退職したため（3）			
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
3	教授	西山誠	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	R3.3 定年退職したため（3）			
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
4	講師	井之川睦美	必修	英語Ⅰ（入門）	①	R3.3 定年退職したため（3）			
			必修	英語Ⅱ（応用）	①				
			自由	英語コミュニケーションA(入門)	①				
			自由	英語コミュニケーションB(実践)	①				
5	講師	Kazi Selim Anwar	必修	感染症	①	R3.3 定年退職したため（3）			
6	教授	小山 一憲	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R4.3 定年退職したため（4）			
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
7	教授	内海 裕也	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R4.3 定年退職したため（4）			
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
			必修	器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	①				
8	教授	加藤 宏之	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R4.3 定年退職したため（4）			
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
			必修	器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	①				
9	教授	菅野 洋	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	R3.6 定年退職したため（4）			
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①				
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①				
			必修	器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）	①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
9	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	2 科目	自由	2 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

主要な科目を担当する教員2名が自己都合による辞任となった。担当科目は既に審査済の教員で分担して担当可能であり教育上の問題はないが、後任の補充を引き続き対応する。また、英語科目の担当教員3名が辞任となったが、令和3年度4月に4名のネイティブスピーカーの英語教員を補充しており、教育上の問題はない。

何れの教員についても、学生には年度開始時のオリエンテーションにて周知対応した。

その他の教員については、臨床実習科目を担当する教員であり、各臨床実習施設において分担して対応できることが確認できており、問題ない。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>認 可 時 (平成29年)</p>	<p>「臨床実習Ⅳ」の国内での実習については、学生の希望に応じた診療科への配属がなされるよう可能な限り配慮すること。また、海外での実習については、実習先が提供するプログラムの内容や指導体制について、実習調整ディレクターが中心となってあらかじめ調整し、教育の質を確保した上で実施すること。なお、海外での実習先はアジア諸国を中心に調整が進められているが、欧米諸国をはじめとしたより多様な実習先を確保するよう引き続き調整し、学生により多くの選択肢を提供することが望ましい。</p>	<p>選択制の臨床実習となる「臨床実習Ⅳ」については、学生の希望に応じた配属ができるよう、学生が提出した希望順位に応じて割り付けを行う予定である。受け入れ先としては、令和2年に成田市に開院予定の附属病院も含めた5つの本学附属病院、および臨床実習の受け入れ意思を既に表明している本学の臨床医学研究センター・グループ外の医療機関等だけでなく、さらに受け入れ先の拡大に努め、十分な枠を確保したいと考えている。このうち附属病院等については、平成29年度から臨床実習受け入れについて打ち合わせを始めることについて、平成29年4月末に開催した第1回医学部教授連絡会議で附属病院等で勤務する教授に伝えたとところである。今後の予定としては、平成29年度中に各附属病院等との打ち合わせを開始し、令和元年度中に、令和2年度から始まる臨床実習のプログラムを決定する計画である。</p> <p>令和4年度に始まる「臨床実習Ⅳ」の海外臨床実習については、申請時に受け入れの意思表示済み一部の大学医学部等について、平成29年度留学生特別選抜のため現地を訪問した際、先方の連絡担当者を決定した。欧米諸国については、麻酔科に日本の大学医学部から6年生の臨床実習の受け入れ実績があるドイツの医学部において、担当の准教授に受け入れ意思があることを確認した。さらに米国の複数の医学部において、臨床実習への学生受け入れについて調査を行った。今後の予定として、申請時に受け入れの意思表示済み一部の大学医学部等については、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に打ち合わせを開始し、プログラムについて検討を開始するとともに、実習調整ディレクター等の人員配置を行う。今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先については、平成30年度には調査を終了、先方の担当者との打ち合わせを開始し、令和元年度にはMOUを締結した上で実習プログラムの検討を開始し、令和2年度中に実習プログラムを決定、令和3年度に学生の希望調査を行う計画である。(29)</p>	<p>履行済</p> <p>(次頁へつづく)</p>

		<p>留意事項</p>	<p>まず、米国の複数の医学部における臨床実習への学生受け入れ調査の結果、AAMC（米国医科大学協会）が運営する交換留学プログラム参加の前提として、世界医学教育連盟（WFME：World Federation for Medical Education）と国際医学教育研究推進財団（FAIMER：Foundation for Advancement of International Medical Education and Research）が連携して運営している「世界医学部一覧（World Directory of Medical Schools）」への登録を申請し平成30年1月に登録された（https://search.wdoms.org/home/SchoolDetail/F0005055）。</p> <p>次に、申請時に受け入れの意思表示済みの大学医学部等について、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に準備を開始するとしていた点については、本授業科目が他キャンパスとの合同授業のため、海外臨床実習準備担当の教員を派遣できなかった。しかし、平成29年8月にマレーシアからマネジメント&サイエンス大学の幹部一行が来校した際に、相手方の臨床実習担当教員（副学部長）を特定し、平成30年4月に開催した国際医学教育シンポジウムの際にも、該当する大学の学長達との懇談で、海外臨床実習の準備を開始することを確認した。一方、実習調整ディレクター等の人事配置については、医学教育統括センターに海外臨床実習の準備を担当するFocus Groupを設置し多くの外国人教員を配置した。</p> <p>さらに、今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先について、平成31年度にMOUを締結するとしていた点については、ニュージーランドのオタゴ大学（平成29年4月）、ロシアのモスクワ第一大学（平成29年10月）、フィンランドのヘルシンキ大学（平成30年2月）、ポーランドのプロツワフ医科大学（平成30年3月）等の欧米諸国をはじめとした機関との間でMOUを締結し、学生により多くの選択肢を提供できるよう、より多様な実習先を確保できるよう調整を行っている。</p> <p>以上、平成29年度に記載した計画は概ね予定どおりに履行しており、さらに一部では予定を上回る履行状況となっている。（30）</p>	<p>（前頁からのつづき）</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>履行済</p> <p>（次頁へつづく）</p>
--	--	-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

		<p>令和4年に初回実施予定の「臨床実習Ⅳ」の国内実習については、それに先立ち令和2、3年に実施予定の「臨床実習Ⅰ～Ⅲ」の準備として、令和2年4月に開院予定の成田病院を含む5つの附属病院に加え、九州の本学臨床実習医学研究センターも「臨床実習Ⅰ」の配属先として検討中であり、実現すれば「臨床実習Ⅳ」の診療科の受入学生数の拡大が図れ、その結果学生の希望に応じた選択制の実習が拡充できる見込みである。</p> <p>一方、海外臨床実習の準備状況は、昨年度の履行状況報告で述べた外国人教員を多数含む海外臨床実習を担当する教員のFocus Groupにて月1回程度の割合にて定期会議を実施している。主な活動内容は、学生の主体性・自律性を重視した成人学習理論を応用するため、現時点での学生の海外臨床実習に関する希望調査を実施した。海外臨床実習を希望する地域、国、診療科、予算等を初期調査した。今後は初期調査をもとに教員のサポート体制等を計画し、3年次、4年次、5年次と各学年での海外臨床実習に向けた渡航準備プランを話し合いながら進めていく予定である。また米国医学部協会（AAMC）が主催する交換留学プログラムである Visiting Student Learning Opportunities Program (VSL0)への会員へ応募を検討し準備を開始した。</p> <p>最後に欧米諸国の実習先については、フィンランドのヘルシンキ大学（平成30年2月にMOU締結）およびポーランドのプロツワフ医科大学（平成30年3月にMOU締結）に平成30年9月に訪問し、臨床実習の受け入れについて交渉を開始した。また、平成31年3月にロシアのモスクワ第一大学、およびヘルシンキ大学の訪問団が本学成田キャンパスを視察に訪れた際にも、臨床実習の受け入れについて交渉した。また、ポーランドのプロツワフ医科大学については、令和元年度の全学で実施している授業科目「海外保健福祉事情」の海外研修を受け入れいただけることとなり、参加者募集を行っている。</p> <p>以上、欧米諸国をはじめとした機関についても、学生により多くの選択肢を提供できるよう、より多様な実習先を確保するよう調整を行っている。</p> <p>以上、平成29年度に記載した計画は概ね予定どおりに履行しており、さらに一部では予定を上回る履行状況となっている。（元）</p>	<p>（前頁からのつづき）</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>（次頁へつづく）</p>
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

留意事項

履行済

		留意事項	<p>「臨床実習Ⅰ～Ⅲ」の準備として、令和2年3月16日に開院した成田病院を含む6つの附属病院に加え、本学の臨床実習医学研究センターである九州の高木病院および福岡山王病院も「臨床実習Ⅰ」の配属先となり、「臨床実習Ⅳ」でも、学生の希望に応じた選択の幅がさらに拡充された。</p> <p>平成31年4月に、3年次となった平成29年度入学者に、海外臨床実習の希望地域、国、診療科、予算等に関する希望調査を実施した。この結果を基に、令和2年3月に英語による履歴書の書き方を外国人教員が個別に指導した。4月以降、学生自身が海外の本学提携施設、及びそれ以外の施設に関する情報収集を開始し、申請先を選定の上、令和3年度に、希望施設への申請手続きを開始する予定である。</p> <p>また、米国医科大学協会(AAMC)が主宰する交換留学プログラムVisiting Student Learning Opportunities Program (VSL0)に、会員施設として申請し正式に承認された。最終手続き終了後、学生はVSL0の全世界252の会員施設の実習内容の情報にアクセス可能となり、幅広い選択肢を提供できる(https://students-residents.aamc.org/attending-medical-school/article/vslo-host-participating-institutions/)。</p> <p>令和元年8月に、欧米諸国の実習先の1つとして交流推進中のポーランドのプロツワフ医科大学の医学生3名を2週間にわたり、本学国際医療福祉大学病院に見学生として受け入れた。また、プロツワフ医科大学は、全学で実施している授業科目「海外保健福祉事情」の令和元年度海外研修の受け入れ先として一旦決定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて研修中止となった。このように、欧米諸国をはじめとした機関についても、学生により多くの選択肢を提供でき、より多様な実習先を確保する調整を続けている。</p> <p>以上、平成29年度の計画は概ね予定どおりで、一部予定を上回る履行状況である。(2)</p>	履行済	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>(次頁へつづく)</p>
--	--	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----	-------------------------------------------------------------------

		<p>令和2年度に引き続き、4年次臨床実習Ⅰを、5つの附属病院および本学の臨床医学研究センターである高木病院、福岡山王病院で、新たに5年次臨床実習Ⅱ、および臨床実習Ⅲを本学成田病院で実施し、6年次臨床実習Ⅳの国内実習先として、学生の希望に応じた診療科の選択の幅を維持した。</p> <p>また、海外での実習については、学長、副学長および医学教育統括センター長を中心として検討を重ねた。コロナ禍の海外実習という事で、学生の安全を第一に考慮し、提携校での海外実習は外務省渡航レベル1又は2の地域のみでの実習とした。その結果唯一レベル2であったベトナムでの実習のみとなり、学生、保護者に海外実習にまつわるリスクを十分に説明した上で両者が渡航に同意した約70名の学生をベトナムに派遣する事となった。一方約45名はキャンパスに残り、提携校とオンラインで随時繋げながら、4週間で10症例を用いたバーチャル海外実習Case-Based Learning を行う事となった。</p> <p>奨学金留学生はそれぞれ母国にて、そして約10名の学生は個人で実習先を開拓してアメリカ及びヨーロッパでの実習を、韓国からの私費留学生は韓国での実習を行う予定である。海外実習調整ディレクターとして医学教育統括センター教員が現地で直接引率することで、教育の質および危機・健康管理体制を確保することとした。</p> <p>以上、平成29年度の計画は概ね予定どおりで、一部予定を上回る履行状況である。(4)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p>
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------

留意事項

履行済

	<p>人体の生理機能を理解するためにシミュレータを利用すると説明しているが、生物実験を体験したことのない学生であっても基礎医学に関する知識や技能を十分に修得できるように、生理学、生化学及び分子生物学など、基礎医学に関する実習を充実すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>すでに1年次1学期における生物学において、生物学未履修者を中心とした学生に対して、顕微鏡を用いた鶏胚の発生の観察を行った。また、1年次2学期には必修の基礎医学総論の5科目で様々な実習を導入予定である。例えば、生化学では生細胞から溶解液を調整し、比色法を用いてタンパク質の定量とさらに酵素活性の定量をおこなう。この過程を通じ、生化学の基本的な手技を習得するとともに、標準曲線の作成、酵素の誘導や特異的発現の観察を通じて対照実験について学ぶ。分子生物学では生体組織からの核酸の抽出、増幅、同定という一連の作業を体験する。この過程でピペットの使い方から核酸の調整法、酵素の取り扱い方、PCR法、ゲル電気泳動など分子生物学の基礎的な手技を習得する。免疫学では Enzyme-Linked ImmunoSorbent Assay (ELISA) を用いてサイトカイン濃度を測定すると共に抗体の抗原特異性を観察する。(29)</p> <p>計画通りに実施した。来年度以降も引き続き実施予定である。(30)</p>	<p>履行済</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

	<p>全ての留学生が将来母国のリーダーとして活躍できるよう、母国の政府機関等の推薦を受けていない私費留学生も含め、卒後の進路についての支援体制を充実すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>母国の政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生(平成29年度はベトナム、モンゴル、インドネシア、ミャンマー、カンボジアの5か国計13人)及び私費の留学生(平成29年度は韓国、中国、台湾、ミャンマー、米国の5か国・地域計7人)の全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国において医療貢献を行い、ひいては指導者として活躍することができるよう組織的な支援を行っていく。例として、在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」を通じた本学留学生と母国等の医療機関との橋渡しや、本学が有する海外大学・医療機関等のネットワークを用いて、卒業後に医師としてのキャリア形成ができるようキャリア学習や帰国支援など本学から協力を要請していく、等の活動が含まれる。</p> <p>また、奨学金を支給する留学生については、医師免許取得後、奨学金支給期間の1.5倍程度の期間(以下、義務年限)、本学が指定する日本及び母国の医療機関において医師として勤務することとしているが、義務年限修了後の進路については、留学生と推薦元が相談の上決定することになる。本学は、各国の人的、組織的なネットワークによる支援及び交流を継続的に行う。</p> <p>全ての外国人卒業生が母国において保健医療の各分野でのリーダーとして活躍しながら、我が国の医学や医療制度を学び続けられるよう継続的に支援していく中で、こうした卒業生が本学の留学生の開拓、卒業後のキャリア形成における各国の人的拠点となり、本学の留学生に対する医学教育、卒後支援に持続可能なサイクルを生み出す体制を構築していく。(29)</p>	<p>履行中</p> <p>(次頁へつづく)</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------

		留意事項	<p>定員140名の内、留学生枠を20名設けているが、この中でアジア6か国の提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ、本学が奨学金を支給する留学生については、平成29年度の5か国13人から平成30年度は6か国16人へと出身国が多様化し、人数も増加した。一方、私費の留学生は、平成29年度の5か国・地域7人から、平成30年度は3か国4人であった。</p> <p>在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」は、卒後のキャリア形成に重要な実習経験となるが、設置時に実習の受け入れを承諾していた海外の提携大学、医療機関を含め、派遣先の整備を具体的に進めるため、前述のとおり、外国人教員を多数配置するチームを設置した。</p> <p>また、本学卒業生が母国で臨床医として活躍するための環境づくりもその狙いの一つとして長期的に取り組むため、今年度から国際的視点からの医学教育に焦点を絞った「IUHW国際医学教育シンポジウム」を平成30年4月に開催した。(30)令和元年度に入学した3期生のうち、アジア提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ、本学が奨学金を支給する留学生は6か国16名、私費留学生は2か国4名であった。本学卒業生が母国で活躍するための支援体制充実に向け、奨学金留学生リクルート試験（筆記および面接）で現地へ赴いた際、提携大学や大学病院の幹部との面談を通して情報交換を密に行い将来展望を確認した。又提携大学から本学に教員として赴任している教員は、母国からの留学生への日本における勉学の支援のみならず、母国に帰国後の進路指導を行なっている。更に平成30年4月に本学で行われた第1回IUHW国際医学教育シンポジウムにおいては、提携大学から学長、学部長、教育担当者などを本学に招き、留学生との交流と本学の医学教育の実際の視察に基づき、卒業後の留学生進路支援の場ともなった。一方私費留学生については、卒後の母国での進路も含め定期的に個別の面談を通して卒後の進路支援をしている（元）</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>引き続き、全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国医療界のリーダーとして活躍できるよう、キャリア支援の一環としても、海外臨床実習の受け入れ体制づくりを進めるほか、「IUHW国際医学教育シンポジウム」の定期開催を通じて、本学の医学教育の国際通用性について、参加するアジアの推薦大学や関係機関が認知、理解を深めるよう促し、環境作りを進める。</p> <p>(次頁へつづく)</p>
--	--	------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

履行中

		<p>留意事項</p>	<p>令和2年に入学した4期生のうち、アジア提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生は5カ国17名、私費留学生は3つの国、地域から3名であった。卒後の進路についての支援体制も含め、留学生への更なる支援の為、令和2年からは、各学年20名ずつの留学生を4グループに分け、それぞれのグループに2名外国人教員（若干日本人教員も含む）をサポート教員として割り当てた。令和2年4月に本学で予定していた第2回IUHW国際医学教育シンポジウムでは、提携大学から学長、学部長、教育担当者などを本学に招き、奨学金留学生の進路支援について協議予定であったが、COVID-19の為延期となった。（2）</p> <p>令和4年度から始まる6年生海外臨床実習準備の為、実習の受け入れを承諾している海外の提携大学、医療機関とオンライン会議を定期的に始めており、これらの会議では留学生の卒後の進路についての支援体制についても意見交換を行っている。（3）</p>	<p>（前頁からのつづき）</p> <p>令和元年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p>履行済</p>
			<p>令和3年度に入学した5期生のうち、アジア提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生は5カ国13名、私費留学生は4つの国、地域から6名であった。COVID-19世界パンデミックの為、本学関係者が現地に赴き選抜試験を行うことは出来なかったが、現地の提携先大学、日本大使館、政府などの支援を受け、現地にて数学・科学（生物・化学・物理から2科目）・英語の筆記試験を従来通り実施し、筆記試験合格者にはオンラインにて選抜面接試験を実施した。</p> <p>また前項でも記載のとおり、留学生には、臨床実習Ⅳの海外臨床実習において渡航可能な場合本人の希望に応じて出身国での実習を認めており、卒後の選択肢に柔軟性が持たされるよう配慮している。（4）</p>	

	<p>医学教育統括センターは、本学の教育目標を達成するために重要な位置付けであると考えられることから、以下の点に留意し、その役割を十分に果たせるよう適切に運営すること。</p> <p>(1)同センターに係る規程等を整備し、コース・ディレクター等センターに配置される職員の役割、責任体制、指揮命令系統等を明確にすること。</p> <p>(2)専任教員25名及び兼任教員15名に加え、事務職員や技術職員等を十分に配置し、多岐にわたる業務を円滑に実施する体制を整えること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>(1)「国際医療福祉大学医学教育統括センター規程」を別紙2の通り整備し、同センターが学長直属の組織であることを明記した。その業務を統括する医学教育統括センター長の役割を明記したほか、コース・ディレクター等の役割、責任体制等を明確にした。</p> <p>15のコースのコース・ディレクターは担当教員から授業計画の提示を受け、指導・助言をする。授業ごとに行われる担当科目の授業アンケートに目を通し、評価に問題があった場合は担当教員と具体的な改善策を話し合うほか、次回の授業を見学して授業評価が向上するまで細やかな支援を行う。(29)</p> <p>整備した規程に基づいてコース・ディレクター等による細やかな支援体制を定着させた。(30)</p> <p>(2)医学教育統括センターに専従の3人の事務職員を配置したほか、学務課の教務係・学生係および国際交流センターの事務職員が日常的に業務を支援する体制をとっている。ICT活用など技術面では、本学の情報システム部長であり教育システムの責任者を務めている准教授がe-learningの整備・運用を担当し、講義資料のオンライン提供や出欠管理、授業アンケート等を管理している。さらに、医療情報学が専門の医学教育統括センターの教授が学生などに関して得られたデータの集計・分析を担当している。(29)</p> <p>医学教育統括センターの体制を強化し、事務職員は専従で4人に加え、兼務4人を配置している。システム担当は准教授以外に技術職員2人が常駐し、e-learningの運用などを管理している。(30)</p>	<p>履行済</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------

	<p>運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>校地から1,400mのところにある5,600㎡余りの運動場に平成29年4月、テニスコート3面と駐車場、トイレ、シャワー室、ロッカールームが完成し、成田看護学部・成田保健医療学部と共用で利用を開始した。医学部のカリキュラムに体育の科目はないが、今後課外活動などの際に必要な応じマイクロスバスなど大学の公用車により学生の利用の便を図る。クラブ活動は成田キャンパスの3学部一体で行うこととし、顧問の教員の活動や外部の施設を利用する場合の補助などを通じ、引き続き大学として課外活動を支援していく。(29)</p> <p>医学部の学生による課外活動はきわめて活発で、学生委員会を通じて大学として学生の課外活動に配慮し、支援している。(30)</p>	<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (令和元年)</p>	<p>多くの専任教員が就任辞退又は辞任していることから、原因分析とその結果に基づく改善策適切に講じることにより、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>教員の就任承諾を求めるにあたっては、卒業生を出すまで教育を全うすることを説明し、本人から承諾書を受領している。 就任辞退者（未就任）及び辞任している教員160名のうち、その後に着任している者が2名いることから、実質的には158名となっている。158名のうち外国人は22名で、その理由は母国における家族や勤務環境の変化に伴い来日できない、もしくは帰国せざるを得ないことが理由となっている。残り136名の日本人については、申請時には予想できなかった、もしくは着任後に発生した事情によるものとなっている。本人や家族の病气、妊娠等の個人的な事情の変化や、地域医療に与える影響からやむを得ず現勤務先に残らざるを得なくなった等の理由であり、中には、国公私立医科大学の主任教授として昇格人事となった例もある。 本学としては、医療の世界は環境の変化が著しい領域であり、また全国の医科大学が苦勞しているのと同様に地域医療への影響を最小限に抑えながら人事政策を安定的に行うことが難しい側面があるものの、引き続き辞退（未就任）を避けるための努力を行っている。 具体的には、個人的な理由がほとんどであるため、着任済み及び就任予定の教員に対して事情の変化がないかの問合せを行い、もしそのような事情が判明すれば、面談等を速やかに実施するなどして辞任に至らないよう進めている。大学として取り組めることに限りがあるものの、今後も事前の情報収集に努めていく。 (2)</p>	<p>次の留意事項にて回答を集約いたします。</p> <p>履行済</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (令和2年)</p>	<p>継続して多くの専任教員が就任辞退又は辞任している状況が続いているが、原因分析や改善策が十分ではなく、安定的な教員組織の編制が可能か懸念が残る。教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編制のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討の上実施すること。</p>	<p>指摘事項 (是正)</p>	<p>本学では設置計画時より大学設置基準に定める専任教員数を上回る307名を擁しているが、開設後もより良い教育・研究体制を目指して教員の増員を図っており、令和3年5月1日時点での計画では368名としている。就任辞退・辞任者の後任補充はもとより、それを上回る増員を行っており、設置計画を十分に履行できる体制の維持はもちろんのこと、更に充実した体制を構築している。なお、令和2年3月31日時点での就任辞退・辞任者数は159名であったが、そのうちの131名は4年次（令和2年度）より始まる臨床実習を主として担当する臨床系の教員であり、教育への影響は必ずしも大きくないものと判断している。</p> <p>令和3年5月1日時点におけるこれまで就任承諾を得た全専任教員数582名のうち、就任辞退若しくは辞任した36.8%にあたる214名について就任辞退及び辞任の原因分析を行った結果、内訳は出身医局からの要請による人事による者が101名（教授11名、准教授17名、講師33名、助教40名）であり就任辞退・辞任者の47.2%であった。その他としては本人や家族の病気、他大学等への上位ポストへの移動といった理由による者が79名（教授38名、准教授13名、講師11名、助教17名）で36.9%、母国の事情等により来日できなかった若しくは帰国した者が18名（教授1名、講師11名、助教6名）で8.4%、その他教育研究環境等、大学の体制にも起因する理由による者が16名（教授5名、准教授2名、講師5名、助教4名）で7.5%であった。</p> <p>出身医局からの要請による人事による者が47.2%と約半数を占めているが、新設医学部故卒業生の任用が出来ないこと、及び千葉県内からの採用を控えていることから、複数の他大学医学部との連携は不可避であり、出身医局からの要請による人事には協力せざるを得ない面がある。また、本人及び周囲の事情の変化に伴う理由による者が36.9%となっており、設置計画時より5年以上が経過しており、大学としては遺憾であるが一定数の辞任者が出ることはある程度やむを得ない面もあると考えている。</p>	<p>履行済</p> <p>(次頁へつづく)</p>
------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------

		<p>指摘事項 (是正)</p>	<p>本学では、設置計画時より専任教員の採用に際しては個別の面接・面談を行い本人の意思を十分に確認したうえで手続きを進める等、就任辞退者及び辞任者が出ないよう取り組んでいる。また、令和元年度の指摘事項(改善)を受け、任用後の医学部長等による面談やFDの実施をより強化し、医学部の設置の趣旨に基づく教育課程や教員組織の編成の考え方、教育方法や履修指導方法の共有化を図るとともに、本学のビジョンとミッションを議論することにより教員の意見を吸い上げて医学部運営に反映し、教員の帰属意識の更なる向上に努めている。</p> <p>前述のとおり、令和3年5月1日時点における就任辞退・辞任率は36.8%であり、職位別の割合は教授23.4%、准教授36.8%、講師49.2%、助教48.6%であるが、設置計画時に就任承諾を得た教員数307名の同割合44.6%(教授27.2%、准教授44.9%、講師68.4%、助教76.7%)に対し、設置申請後に就任承諾を得た教員数275名では27.3%(教授15.6%、准教授23.7%、講師30.8%、助教35.8%)と大幅に改善されている。特に、下位の職位になるほどその傾向は顕著であり、本学の取組みの成果が表れているものと判断している。</p> <p>今後も引き続き以上の方策の取組みを一層進めていくとともに、関連する他大学の医学部に対して本学の状況をより理解いただくよう密接な協議を図り、より安定的な人員配置に努めていく。</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>履行済</p> <p>(次頁へつづく)</p>
--	--	----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

		<p>指摘事項 (是正)</p>	<p>令和4年度5月1日時点で新たに辞任した教員は、定年退職を除くと35名であり、令和3年度報告の38名から若干ではあるが減少している。理由別に分析すると自己都合が14名(40%)と最も多くこの中には家庭の事情などでやむを得ないと判断せざるを得ないものが含まれる。次点で多い辞任理由は医局人事による12名(34%)であり、他大学との連携を背景に不可避のものであった。それ以外の辞任理由は他大学ポストへの異動が6名(17%)、母国への帰任が3名(9%)という状況である。また、辞任教員の35名のうち約半数となる17名(48.5%)が助教で、このほとんどが臨床中心の教員であり、大学や地域病院など流動性の高い医師であることを考えるとやむを得ない事情もある。本学では令和3年報告時点から継続して、FDや医学部長による適時面談などを通じて教員の帰属意識の向上に努めており、完成年度以降もこれらの取り組みには更に力を入れ、安定した人員配置の実現に尽力する。なお、新規着任については36名(教授15名、准教授3名、講師8名、助教10名)と辞任教員数を超えた採用が出来ている。(4)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>履行済</p>
--	--	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学部 医学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件</p> <p>(1)C. 使用する教科書等の教材 「AccessMedicine（アクセスメディシン）」という電子教材集を採用する予定である。これらは紙の書籍に比べ頻繁にコンテンツの更新が行われるため、記載されている情報の信頼性は高く、PubMedなど医学文献データベース等の関連情報へのアクセスも容易で、利便性も極めて高いと評価されている。さらに、これ以外に必要な参考図書についてもeテキストとして閲覧・学習が可能な環境を整備する。 学内全域に無線LAN環境が整備され、学生は授業中や自主学习において、個人のタブレットやPCからこれらのコンテンツにいつでもアクセスでき、また、本医学部で選定された電子書籍プラットフォームについてはその費用を本学で負担し、学生へ負担を求めない予定である。</p> <p>(2)履修指導方法 1学年140人を35人ずつ4クラスに分け、各クラスに講師・助教等の若手教員を学生相談教員として配置し、学生の履修指導を行うとともに、生活面の相談に応じる。</p> <p>8. 入学者選抜の概要</p> <p>(2)入学者選抜の方法と募集人員</p> <p>①入試区分と募集人員</p> <p>入試区分として以下の三つの方法を採用し、それぞれ以下の募集人員とする。</p> <p>募集人員 140人 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試：100人 ・大学入試センター試験利用入試：20人 ・留学生特別選抜入試：20人 <p>施設・設備</p>	<p>当初導入を予定していた「AccessMedicine（アクセスメディシン）」に加え、「ClinicalKey」という電子教材集を採用した。個別に書籍で購入する場合に比べ学生にとっての実質的な負担は大幅に小さくなり、また、「ClinicalKey」の導入により参照できる電子書籍やジャーナルが飛躍的に増大したため、教育の質の向上に大きく寄与している。 新型コロナウイルス感染拡大の影響下で、改正著作権法第35条の緊急的かつ特例的措置に加え、多くの出版社等がオンライン教育におけるコンテンツの無償利用を周知しており、本学も対応している。</p> <p>臨床前1年生から3年生まで全ての学年で、再び7-8名に1-2名の相談教員制度を継続している。加えて、留学生に関しては、別途留学生4-5名に対して1-2名の外国人相談教員（一部日本人教員）をつけ、手厚いサポートをしている。4年生、5年生の臨床実習中の学生サポートは、実習先病院臨床教員が当たる。</p> <p>開設初年度における入試区分ごとの志願者数および入学者数等の状況を鑑みて、平成30年度より入学者選抜では以下のように募集人員の微修正を行った。</p> <p>募集人員 140人 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試：105人 ・大学入試センター試験利用入試：15人 ・留学生特別選抜入試：20人 ・帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試：若干名 <p>本学医学部のアドミッション・ポリシーに適合した「国際的に活躍することを志向する優秀な学生」の受け入れをさらに促進するため、国際的なバックグラウンドをもつ多様な学生の選抜を意図した「帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試」の入試区分を新設した。</p> <p>選抜方法としては、英語、数学、理科（物理・化学・生物から2科目選択）、小論文に加え、丁寧な個人面接を行うことで、他の入試区分同様、学力のみならず人物面も重視して選抜を行った。</p> <p>医学部附属である国際医療福祉大学成田病院を令和2年3月に開設した。今後は臨床実習の場としてはもちろん、院内に設置した教育研修センター（延床面積約1万800㎡）を活用し、臨床教育の拠点として整備していく予定である。</p> <p>WA棟（Ⅱ期棟）9階の一部を改修して同時通訳機能を有する講堂兼会議室を整備し、国際交流のための施設の充実を図った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
学則に基づき大学としてFD委員会を置き、成田キャンパスには「成田キャンパスFD委員会」を設置している。
(別紙1「国際医療福祉大学FD委員会規程」)
- b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)
令和3年度には医学部、成田看護学部、成田保健療学部合同で13人の委員によるFD委員会を11回開催した。
- c 委員会の審議事項等
成田キャンパスFD委員会は、研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施などを審議する。

② 実施状況

1. 大学全体としての取り組み
令和3年度には5回、全学6キャンパスを遠隔接続しての研修会を開催し、9月には「大学における教育プログラム評価について～大学教育の転換期を見据える～」を東京赤坂キャンパスが主催した。
毎年3月には「学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式・報告X」をテーマとし、学生からの評価が高い授業の事例を共有、各教員の授業改善の参考としている。
2. 成田キャンパスとしての取り組み
令和3年度3月に「SCOPE (シミュレーションセンター) の概要と活用法」「おいでよ学生相談室公津の杜」という2つのテーマで成田キャンパスFD研修会を開催した。
SDとしては、職員の採用時や半年後に新入職員の研修を行っているほか、役職への昇格時に事務管理やコンプライアンスなどをテーマに研修を実施している。
3. 医学部独自の取り組み
令和3年度には、医学部独自のFDとして、以下のテーマにて計4本の動画を作成、公開した。
 - ・第1回：初めての国家試験に向けて
 - ・第2回：講義の方法 ～その基礎と実践～ 基礎編 ～講義の作り方～
 - ・第3回：講義の方法 ～その基礎と実践～ 実践編 ～より魅力的な講義を目指して
先生方のミニレクチャー part1、part2

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
開学時より実施している。授業向上を目指すアンケートは基本的に毎授業ごとに、カリキュラム向上を目指すアンケートは科目終了時に実施した。令和2年度では、全学共通の科目アンケートをこれまでのマークシートによる回答からオンラインでの回答に変更した。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
無記名の授業アンケート結果は、授業担当教員が授業終了直後から閲覧可能となっており、自らの授業振り返りに役立てている。科目終了時に行われる全学共通科目アンケートは、キャンパスごとに分析された後、科目責任者、各部門責任者に結果が報告され、授業改善に向けての貴重なデータとなっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 学部・学科等の特色について

○本学医学部の特色

設置の趣旨に記載された通りに行われている。本学の特徴である充実した英語教育を受けた学生は、入学後9ヶ月後に行われるTOEFL ITP試験にてどの学年も20点～30点向上し、CEFRの準上級者レベルと言われるB2に平均点が到達している。加えて英語による基礎医学、臨床医学の授業が1、2年生に対して行われている。英語での2年間の教育にもかかわらず、3年生に日本語で受験するCBT IRTスコアはほぼ全国平均（2020年度受験本学平均532、全国平均536）となっている。90週の参加型臨床実習も順調に進んでおり、AAMCの13EPA(Core Entrustable Professional Activities)を用いて、必要な知識、思考法、技能・態度を段階的に学ぶことができたかを評価した所、1年間の参加型臨床実習を終えた4年次の最後には13項目中9項目において90%の学生が学んだとの評価を受けている。

○大学院医学研究科公衆衛生学専攻の設置

医学専攻博士課程とともに医学研究科を構成する公衆衛生学専攻修士課程として設置申請が認可され、平成30年4月に開学した。令和2年3月に留学生2名を含む1期生12名が修了した。令和3年3月に留学生1名を含む2期生13名が修了した。令和4年3月に3期生20名が修了した。

○ゲノム医学研究所・高度生殖医療リサーチセンター・感染症国際研究センターなど

医学部Ⅱ期棟(WA棟)の竣工により、基礎医学研究実験センター・ゲノム医学研究所、感染症国際研究センター、リサーチパーク等が本格稼働を開始している。成田病院の稼働により、臨床医学分野に所属する教員の医学研究への取り組みが活発化してきている。医学研究に興味を持つ学生に対して時間割の見直しを図り、放課後や休暇期間など課外の時間において各自の希望に基づいて研究活動への参加がしやすい体制を整えた。更に医学部教員が提供する研究・セミナー活動をリスト化して公表しており、学生が自発的にこれらの活動に参加を開始した。昨年度は延べで100名以上の学生が参加し、成果として学会発表を行う学生も出ている。

2. 教育課程の編成について

○教育課程の編成

1コマ60分授業で設置の趣旨どおり授業を開始している。授業科目については、日本語で実施する旨申請した、総合教育科目の人間系・社会系・全地球的な課題の授業科目のうち2科目について英語を多用する授業に変更し、さらに英語を多用する自由科目を2科目追加した。英語を多用する人間系・社会系・全地球的な課題の授業は、留学生だけでなく日本人学生も受講している。また、平成29年度に総合教育科目「社会系」に、英語で実施する「現代日本考-政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ-」、および平成30年度に「全地球的な課題」に、「経済成長をめぐる世界の諸問題」を追加した。これらを踏まえ、設置の趣旨を上回る教育課程の編成が実現していると考えている。

また、留学生への配慮として、日本語で実施している授業科目については、予習課題や授業資料、授業中の説明を英語で追加したり、一部英語による補習を行ったりしている。英語教育については、入学直後のオリエンテーションでTOEFL ITPを実施し、その結果で「英語Ⅰ(入門)・Ⅱ(応用)」を能力別に4クラスに分け、授業を実施している。

「海外医療体験」(自由科目)は、我が国の医療事情と比較検討して、我が国を含めて将来の望ましい姿を議論し理解することを目的としている実習科目で、初年度13人が海外で実習を行った。入学まで海外と交流したりする機会の少なかった学生にとっては、早い段階で海外に目を向ける格好の機会となっており、本学の開設の趣旨でもある国際的な医療人材の育成においても有用な科目であると考えている。しかし、2018年度入学生から2年次での履修としたところ、履修者は各年数名ずつと大幅に減少した。その理由は、この科目以外にも授業外で魅力的な海外研修プログラムがあり、毎年多数の学生が参加していること、東日本医科大学体育大会への参加者が増えたこと、2年次は英語による専門科目が佳境を迎えており、1年次よりも学業が多忙であることなど、複合的な要因で履修者は各年数名ずつと大幅に減少した。さらに令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施を見送っている。6年次の海外臨床実習が必修であるため、この自由科目への参加者が減少すること自体は大勢に影響はないと考えられるが、他学部学生との交流の機会でもあり、さらに魅力的なプログラムを目指したい。

○医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係

医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係については、平成28年度改訂版が公表されたため、本学カリキュラムとの対応関係を確認し、適用される平成30年度以降の学生の教育に反映させた。カリキュラムマップについては、各授業科目と、建学の精神、アドミッション・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーとの関連、また、英語を多用する授業の実施や授業科目相互の関連を、より明確にする「履修系統図」を作成し、学生に示したほか、授業科目のシラバスには、ディプロマ・ポリシーに加えて、卒業時コンピテンシーとの関連を明示した。さらに、卒業時コンピテンシーを学生が段階的に修得する過程を示すマイルストーン、およびマイルストーンと各学年の授業科目との関連を示すロードマップを作成し周知した。平成29、30、31年度入学者が共用試験CBT、OSCEを受験し、臨床実習前のカリキュラムについて、全国の医学部との比較が可能となった。

○学力不振者への対応

医学教育統括センターにおいて、出席状況、授業内で実施しているレポート、試験結果等について情報を収集し、科目担当者、学生相談教員、学年主任、学部執行部教員が連携して学力不振者に対応をしている。相談教員は、定期試験不合格者に対して、クラブ活動、アルバイト等も含めて生活一般に関するヒアリングを学生から行い必要なサポートや指導を行なった。科目を超えての学力不振者、遅刻や学習態度に問題が続く学生に対しては学生、年間を通して保護者と教員で3者面接を実施した。いずれの面談においても学生の自己評価をまず共有することで教育効果があったと考える。2019年度は学外の教育機関、令和2、3年度は本学の平成29年度入学者（1期生）が共用試験CBTの再試験受験者に対する学修支援を行った。

○留学生への対応

日本語を未修得の留学生への対応として、来日後医学部入学までの平均5か月余りの期間、留学生別科の日本語授業を開講した。これに加え、希望者に対しては、生物学などの自然科学系の事前学習を履行した。1年次1学期の講義に関して、日本語能力が十分なレベルに達していない留学生が一部いることに配慮し、日本語で行われる科目について以下の対応を行っている。

- ・ 講義内容の概要・要点について英語版と日本語版の資料を授業前に作成する
- ・ 講義中に英語で随時補足を行う
- ・ 講義時間外で随時質問を受け付ける
- ・ 講義時間外で英語による補習を行う
- ・ 試験は日本語と英語で出題し、解答は英語でも可とする。

また、物理学のように国によって高校で履修する範囲や内容に大きな差のある科目については、講義開始前に学力試験を実施し、レベルの把握をした上で講義を行っている。大半の留学生については継続的に日本語教育を行い、日本語能力が十分なレベルに達しつつある。

○医学教育統括センター

平成30年度からは医学教育統括センター長の下に、副センター長が任命され、センター業務の運営体制を強化した。令和3年度には副センター長は4名となり、業務の運営体制を更に強化した。令和2年度の医学教育統括センターの事務職員は専従で7人、技術職員1名の計7名を配置し、教員・技術職員と一体となって授業や会議等の運営に当たった。医学教育統括センターは各学年から3名ずつのカリキュラム学生委員を含むカリキュラム委員会、臨床実習先病院長・実習調整ディレクター・実習ディレクターを含む臨床実習運営連絡協議会、そして成績管理・卒業判定委員会をそれぞれ年に3回以上開催し、医学教育統括センターの業務であるカリキュラムの策定・評価・改善に関すること、臨床実習の運営に関すること、及び成績管理に関することを審議、決定した。加えて毎週水曜日の医学教育統括センター運営会議では、教育現場のタイムリーな情報共有、問題把握に基づき、上記以外のセンター業務であるコースの運営に関すること、学生相談に関すること、臨床実習前のCBTやOSCEに関することなどを包括的に審議、決定した。

3. 施設、設備等の整備計画

Ⅱ期棟を平成29年12月15日に引き渡しを受けた。Ⅱ期棟に配置すべき学習設備・機器を順次整備しているⅡ期棟にはTBL10室とSGD室22室があり、Ⅰ期棟とあわせて計画を達成した。また医学図書館を平成31年4月1日に開館し運用を開始した。図書の本数は学年進行に従って整備している。令和4年5月1日現在の医学図書館の蔵書冊数(冊子)は図書15,428冊、雑誌(冊子)269タイトル、電子ジャーナル16,240タイトルとなっている。学術雑誌は当初の計画を大きく上回って昨年整備、購読したものを本年度も継続購読として学生の勉学の助けとしている。ただし、視聴覚資料については個別のコンテンツとして導入せず、e-learningシステムの充実を図った。教科書は、昨年整備した「AccessMedicine」、「ClinicalKey」を引き続き活用している。昨年度に引き続いて、教科書・参考書の電子化、ICTを活用した学習・教育環境の充実をはかっている。学生は、学内全域はもとより、VPN接続により自宅からのアクセスも可能である。また、より実践的な学習環境とすることから、専門図書のみならず専門学術雑誌の充実をはかってきている。Wi-Fi設備もⅡ期棟各室に配備し、Ⅰ期棟と合わせ館内どこでもアクセスできるようにした。e-learningシステムに関しては、配信サーバーを増設し、e-learningシステムの本体であるmoodleのプラグインを新たに開発して機能拡充を行い、アクティブ・ラーニング活用の支援強化をはかった。

4. 入学者選抜について

令和4年度は、募集人数105人の一般入試に、3,009人が志願し2,938人が受験した。一次選考で選抜した635人に対してアドミッション・ポリシーに合致した入学者を選抜するために、書類選考および一人あたり30分の面接試験を2回実施した。これらの学力だけでは測ることができない人物も加味した二次選考により、278人の正規合格者と316人の補欠候補者を選抜した。一方、募集人数15人のセンター試験利用入試には、829人が志願し809人が受験した。一次選考で選抜した186人に対して、一般入試と同様の二次選考により、31人の正規合格者と21人の補欠候補者を選抜した。また、平成30年度に新設した帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試に66人が志願し、63人が受験した。一次選考で選抜した14人に対して、小論文試験および面接試験等からなる二次選考により、5人の正規合格者と1人の補欠候補者を選抜した。さらに、募集人数20人の留学生特別選抜入試には、110人が志願し103人が受験した。一次選考で選抜した28人に対して、小論文試験および面接試験等からなる二次選考により、23人の正規合格者と1人の補欠候補者を選抜した。以上、一般入試とセンター試験利用入試および帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試から117人、留学生特別選抜入試から23人の入学者を選抜した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は平成30年5月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページに掲載のほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配布し本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、無事に認証された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。